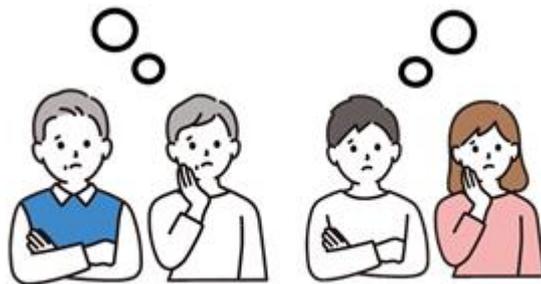


令和3年度
江戸川区ひきこもり実態調査の結果報告書

あの人、困ってるかも。でも…

ひきこもり

ってどこに相談するの？



令和4年3月30日

江戸川区

目次

序章 はじめにP.	1
第1節 はじめにP.	2
第1章 調査の概要P.	3
第1節 調査概要P.	4
第2章 調査結果P.	8
第1節 調査票を回答した方P.	9
第2節 ひきこもり当事者の概要P.	10
第3節 ひきこもり当事者の声P.	20
1 日常生活の不安		P. 20
2 求めているもの		P. 22
3 相談相手		P. 24
4 相談した場所		P. 26
5 近所付き合い		P. 28
6 交流の状況		P. 30
7 外出の状況		P. 32
8 文化活動		P. 34
9 スポーツ活動		P. 36
第4節 ひきこもり当事者の家族の声P.	38
1 日常生活での不安		P. 38
2 相談相手		P. 40
3 ひきこもり当事者に必要と考えるもの		P. 42
4 近所付き合い		P. 44
5 相談した場所		P. 46
第5節 ひきこもり当事者と家族の違いP.	48
第6節 まとめP.	49
第3章 資料編P.	50
第1節 調査回答総数P.	51
第2節 調査票P.	59

序章 はじめに

第1節 はじめに

近年、ひきこもりの長期高齢化・8050問題が進む中、ひきこもりの状態にある人は、内閣府調査によると15歳から39歳までのうちの54.1万人（平成27年度調査）、40歳から64歳までのうちの61.3万人（平成30年度調査）と推計され、全国にひきこもり状態にある人が115万人を超えると推計されています。

本区においては、ひきこもりがかねてより問題視されていたこともあり、令和元年度にひきこもりの状況を把握するため、民生・児童委員、介護支援事業者、障害者施設、地域包括支援センター、区役所でひきこもりの相談を受けている部署、ケースワーカーなどの機関・個人に協力をお願いして、実態調査を実施しました。

この調査によりひきこもり当事者は681人把握でき、その属性や当事者の声も一定程度把握することができましたが、内閣府の調査から推計した区内に1万人のひきこもり状態の人がいるという結果からはかなり乖離しています。

今回、令和3年度の実態調査は、ひきこもりで悩んでいる方を特定し、より多くの方を個別支援につなげることを目的に18万余の対象世帯にアンケート調査票を送付して実施しました。

その結果、10万余の世帯から回答があり、回答率は、57.1%にのぼり、多くの方のご協力により区内に7,919人のひきこもり当事者を把握することができました。

届いたアンケート調査票を見て、勇気をもって「相談させてください」と電話をくれた方もおり、54名の方がすでに直接支援に結び付いています。

誰もが生きづらさを抱え孤立に陥る可能性を持つ社会の中で、ひきこもりに対する地域社会の意識はまだ低く、ひきこもり当事者や家族だけに責任があるとして、自分事として捉えていない社会にも問題があると思われます。このため、世間の偏見の目からひきこもり当事者や家族だけで悩みを抱え込んでしまう状況があります。

ひきこもり当事者や家族が安心して受け止めてもらえる場所、理解してもらえる場所が増えることで、ひきこもり当事者や家族の孤立や長期化を防ぐことにも繋がります。

困難な状況の中で立ちすくむひきこもり当事者や家族の思いを尊重し、生活のペースを配慮しつつも、行政や関係機関による、きっかけづくりや支援の手を差し伸べる必要性を強く感じたところです。

これから個別支援に移りますが、本調査で得られた情報を支援策に反映し、より多くのひきこもり当事者と家族を支援につなげ、誰もが安心して地域で暮らせるように取り組んでまいります。

この調査の実施に際し、ご自身の状況をお伝えしていただいた当事者、家族の皆様等、多くの方にご協力いただきました。誠にありがとうございました。

※厚生労働省はひきこもりの定義を「仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人とほとんど交流せずに6か月以上続けて自宅にひきこもっている状態」としています。本調査においては、「仕事や学校等に行かず、家族以外の人との交流をほとんどしない方」としています。厚生労働省の定義から期間の要件を除いているのでご注意ください。

第 1 章 調査の概要

第1節 調査概要

1 調査名

江戸川区からの調査のお願い

2 調査対象

15歳以上の方で以下に該当する方を含む世帯

(14歳以下は、学校が不登校情報を把握しているため調査対象外とした。)

- ・給与収入で課税されていない方
- ・江戸川区の介護・障害等の行政サービスを利用していない方

3 調査基準日

令和3年5月1日

4 調査対象世帯数

180,503 世帯

調査世帯選定詳細

	実数合計	江戸川郵便局地区	小岩郵便局地区	葛西郵便局地区
1. 区人口	694,522	225,000	209,225	260,297
2. 区へつながっている人数				
(1) 介護サービス受給者	22,208	8,083	7,709	6,416
(2) 生活保護受給者	18,470	6,139	6,207	6,124
(3) 14歳以下	84,177	27,458	24,497	34,468
(4) 障害サービス受給者	3,618	1,342	1,088	1,188
(5) 見守り名簿	18,051	6,852	6,144	5,055
(6) 給与所得課税者	308,888	98,137	90,694	120,057
(7) ひきこもり支援者	86	29	31	26
小計	455,498	148,040	136,370	173,334
3. 追加除外対象者(令和3年5月2日以降に転出をした方等)				
(1) 追加除外対象者	6,633	1,990	1,949	2,694
小計(2+3)	462,131	150,030	138,319	176,028
4. 調査対象人数				
(1) 差額(1-3)	232,391	74,970	70,906	84,269
(2) 調査対象実数	246,847	80,763	76,425	89,659
5. 対象世帯数	180,503	58,608	55,470	66,425

5 調査方法

調査対象世帯の世帯主あてに調査用紙を郵送し回答を求めた。

また、回答が無かった世帯に対して訪問し回答の促しを行った。

6 調査期間 令和3年7月14日～令和4年2月28日

・郵送調査（180,503件）

	江戸川郵便局地区	小岩郵便局地区	葛西郵便局地区
郵送日	令和3年7月14日	令和3年7月26日	令和3年8月16日
回答締め切り日	令和3年8月16日	令和3年8月27日	令和3年9月17日

・訪問調査（100,373件）

	江戸川郵便局地区	小岩郵便局地区	葛西郵便局地区
訪問開始日	令和3年10月4日	令和3年11月11日	令和3年12月20日
訪問終了日	令和3年11月19日	令和3年12月28日	令和4年2月14日

7 回答数

・回収数 103,648件（回収率 57.42%）

回答方法	調査方法	件数	備考
郵送回答	郵送調査	59,959件	無効回答 110件含む
	訪問調査	4,980件	
インターネット回答	郵送調査	20,171件	無効回答 105件含む
	訪問調査	7,935件	
電話回答	郵送調査	222件	
	訪問調査	2,239件	
現地回答	訪問調査	8,142件	

・有効回答数 103,196件（有効回答率 57.17%）

回答方法	調査方法	件数	備考
郵送回答	郵送調査	59,849件	
	訪問調査	4,822件	
インターネット回答	郵送調査	20,066件	
	訪問調査	7,856件	
電話回答	郵送調査	222件	
	訪問調査	2,239件	
現地回答	訪問調査	8,142件	

・未回答数 77,307件（未回答率 42.83%）

区のサービス	給与所得による課税	世帯数（件数）	単身世帯数	複数世帯数
なし	なし	35,634件	28,891件	6,743件
なし	あり	23,737件	0件	23,737件
あり	なし	4,634件	0件	4,634件
あり	あり	13,302件	0件	13,302件

※区のサービス・給与所得による課税を世帯の中で一人でもいれば「あり」で集計した。

8 ひきこもり「あり」の回答数およびひきこもり当事者の人数

ひきこもり当事者を抱える世帯数は 7,604 世帯、ひきこもり当事者は 7,919 人いることが今回の調査で判明した。

- ひきこもり「あり」で回答した件数 7,604 件（発送数に対する割合 4.21%）

回答方法	調査方法	件数	備考
郵送回答	郵送調査	4,920 件	
	訪問調査	396 件	
インターネット回答	郵送調査	1,668 件	
	訪問調査	499 件	
電話回答	郵送調査	7 件	
	訪問調査	36 件	
現地回答	訪問調査	78 件	

- ひきこもり当事者の人数 7,919 人（発送数に対する割合 4.39%）

回答方法	調査方法	件数	備考
郵送回答	郵送調査	4,995 人	
	訪問調査	435 人	
インターネット回答	郵送調査	1,835 人	
	訪問調査	533 人	
電話回答	郵送調査	7 人	
	訪問調査	36 人	
現地回答	訪問調査	78 人	

- 区が把握している、ひきこもり当事者の人数 9,096 人

把握方法	件数	備考
令和3年度実態調査	7,919 人	
不登校	1,113 人	教育委員会にて把握
ひきこもり支援者数	64 人	(ひきこもり支援者 86 人) - (令和3年度実態調査回答者 22 人)

その他、P.4の調査世帯選定詳細に記載のある 2. 区につながっている人数 (1) (2) (4) (5) の中に、ひきこもり当事者がいると思われる。

今後、関係機関と連携し個別支援を行っていく。

第2章 調査結果

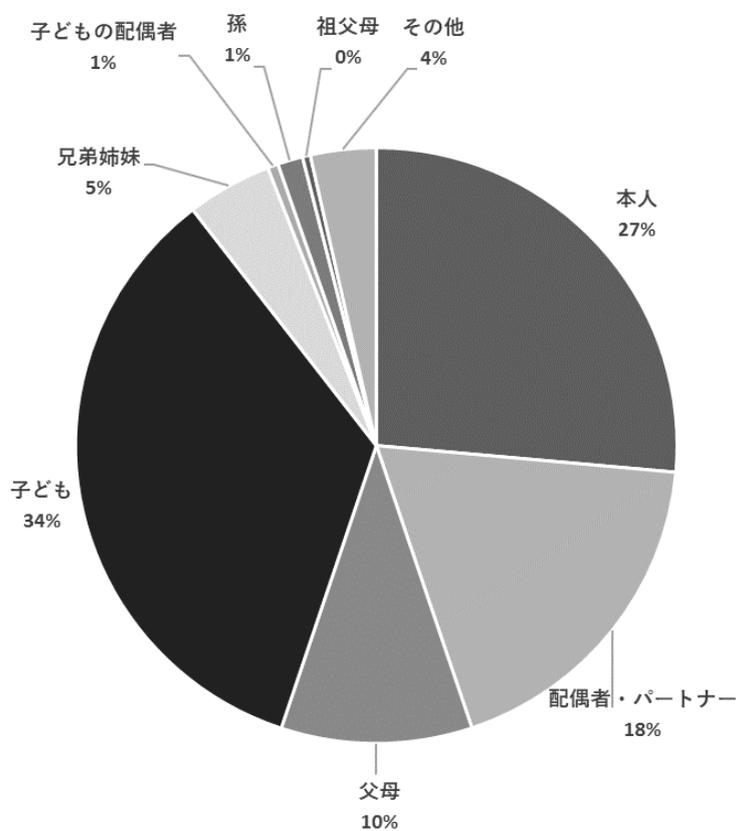
【ひきこもり「あり」で回答した 7,604 件の集計】

※調査用紙に一部未回答の項目があった場合においても、回答のあった項目については有効な回答として取り扱っている。そのため、各質問項目によって回答者数が異なっている場合がある。なお、それぞれの未回答者数は記載していない。

第1節 調査票を回答した方（回答者からみたひきこもり当事者の続柄）

- ・ひきこもり当事者からの回答は26.4%のみであった。

NO	項目	郵送調査	訪問調査	回答数	割合
1	本人	1,785	208	1,993	26.4%
2	配偶者・パートナー	1,253	136	1,389	18.4%
3	父母	672	103	775	10.3%
4	子ども	2,294	302	2,596	34.4%
5	兄弟姉妹	305	40	345	4.6%
6	子どもの配偶者	40	3	43	0.6%
7	孫	97	5	102	1.4%
8	祖父母	30	2	32	0.4%
9	その他	236	30	266	3.5%
合計		6,712	829	7,541	100.0%



第2節 ひきこもり当事者の概要

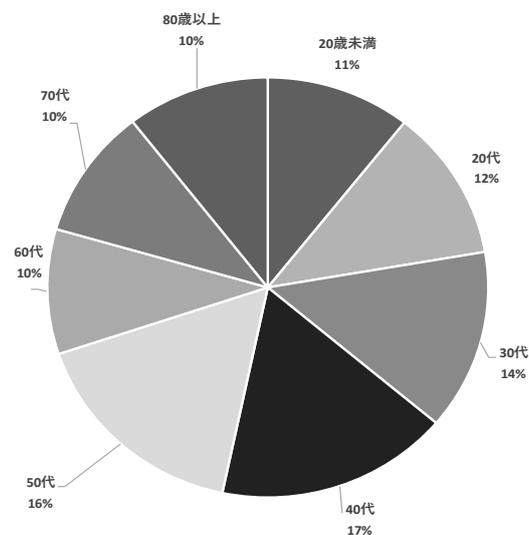
主な調査項目で最も多かった回答	
当事者の年齢	40代
当事者の性別	女
同居の家族	有り
ひきこもり状態の期間	1年～3年未満
ひきこもり状態になるきっかけ	長期に療養を要する病気にかかった（「その他」を除く）

項目 1	項目 2	件数	割合
当事者の年齢	20歳未満	742	10.6%
	20代	813	11.7%
	30代	968	13.9%
	40代	1,196	17.1%
	50代	1,155	16.6%
	60代	671	9.6%
	70代	698	10.0%
	80歳以上	733	10.5%
性別	男	3,461	48.3%
	女	3,684	51.4%
同居の有無	同居（一人暮らし以外）	6,718	90.2%
	一人暮らし	732	9.8%
ひきこもり状態の期間	6か月未満	525	7.5%
	6か月～1年未満	610	8.7%
	1年～3年未満	2,013	28.7%
	3年～5年未満	878	12.5%
	5年～7年未満	591	8.4%
	7年～10年未満	592	8.4%
	10年以上	1,799	25.7%
ひきこもり状態になったきっかけ	学生時代にいじめがあった	563	7%
	受験に失敗した	145	2%
	学校（部活動含む）に馴染めなかった	753	10%
	就職活動がうまくいかなかった	842	11%
	友人や家族との人間関係がうまくいかなかった	791	10%
	職場に馴染めなかった	1,059	14%
	事故や加齢などにより要介護状態になった	397	5%
	長期に療養を要する病気にかかった	1,541	20%
	その他	3,505	46%

1 年齢

- ひきこもり当事者の 17.1%が 40代で最も多かった。

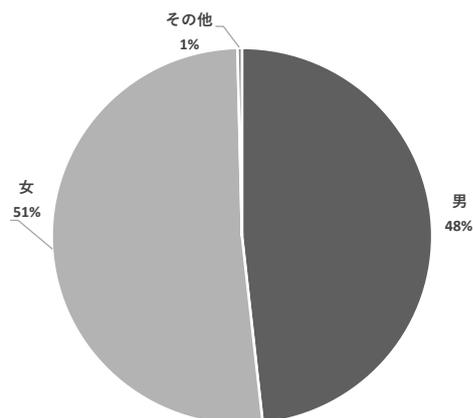
NO	項目	郵送調査	訪問調査	回答数	割合
1	20歳未満	642	100	742	10.6%
2	20代	703	110	813	11.7%
3	30代	854	114	968	13.9%
4	40代	1,057	139	1,196	17.1%
5	50代	1,021	134	1,155	16.6%
6	60代	614	57	671	9.6%
7	70代	644	54	698	10.0%
8	80歳以上	652	81	733	10.5%
合計		6,187	789	6,976	100.0%



2 性別

- ひきこもり当事者の 51%が女性であった。

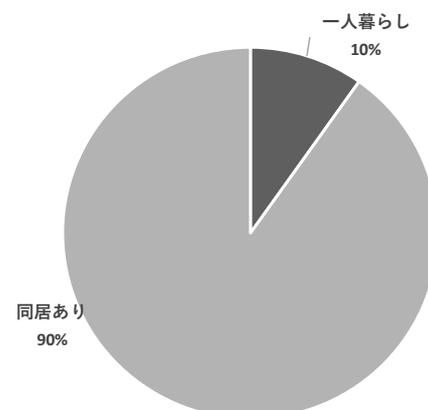
NO	項目	郵送調査	訪問調査	回答数	割合
1	男	3,098	363	3,461	48.3%
2	女	3,241	443	3,684	51.4%
3	その他	20	7	27	0.4%
合計		6,359	813	7,172	100.0%



3 同居の有無

- ひきこもり当事者の90%以上が家族等と同居をしている。

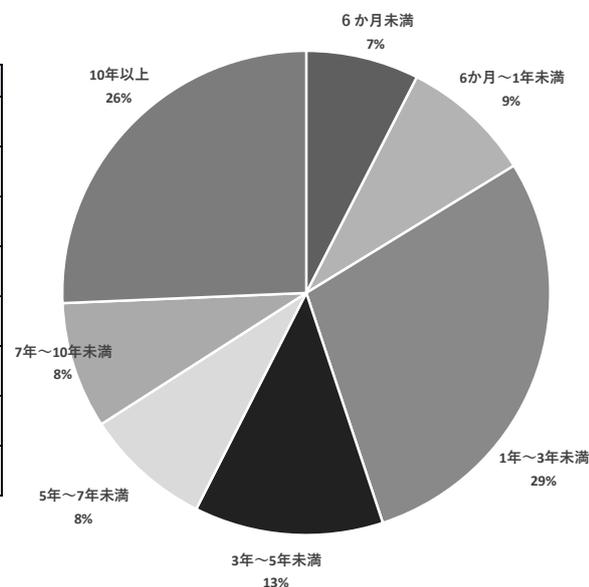
NO	項目	郵送調査	訪問調査	回答数	割合
1	一人暮らし	657	75	732	9.8%
2	同居あり	5,907	811	6,718	90.2%
合計		6,564	886	7,450	100.0%



4 ひきこもり期間

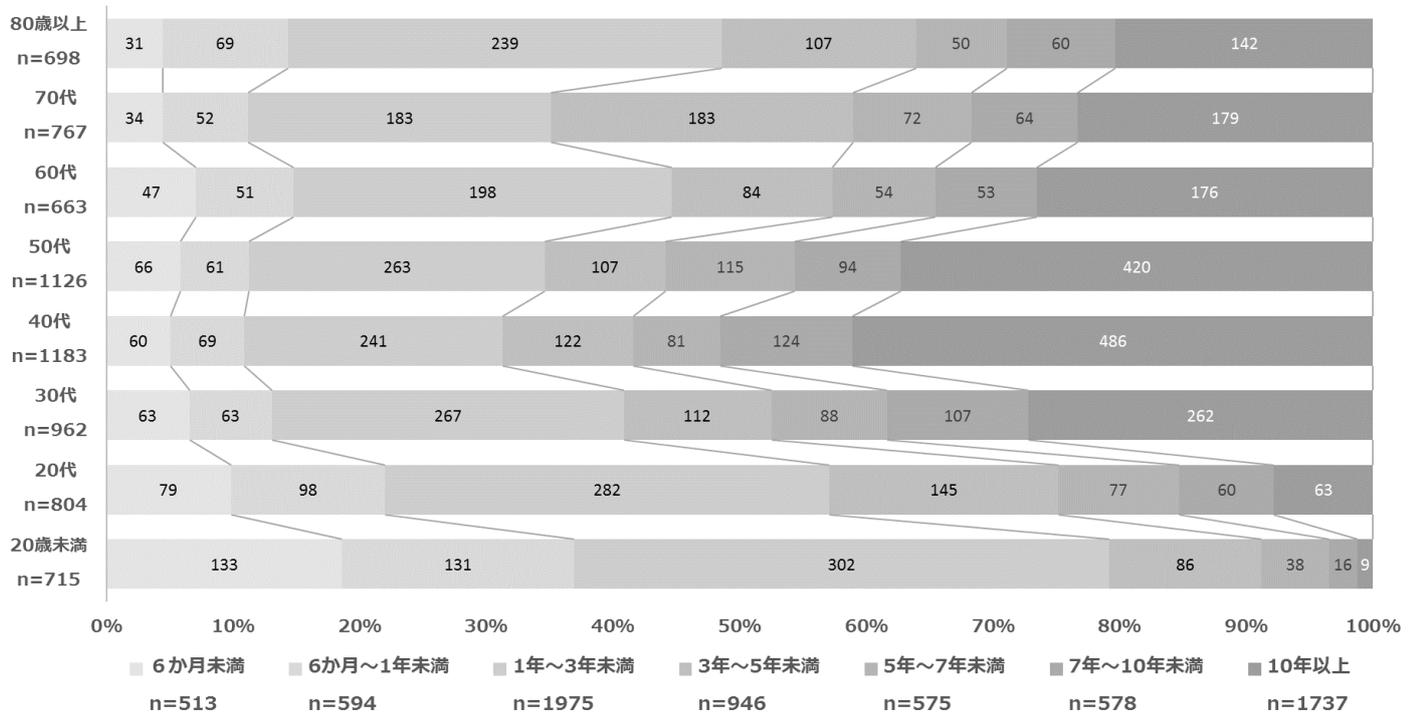
- ひきこもり状態になってからの期間が一番多いのは1年～3年未満であり、次いで10年以上であった。早期にひきこもり支援を行わないと長期化する可能性があることがうかがえる。

NO	項目	郵送調査	訪問調査	回答数	割合
1	6か月未満	458	67	525	7.5%
2	6か月～1年未満	543	67	610	8.7%
3	1年～3年未満	1,776	237	2,013	28.7%
4	3年～5年未満	776	102	878	12.5%
5	5年～7年未満	523	68	591	8.4%
6	7年～10年未満	511	81	592	8.4%
7	10年以上	1,615	184	1,799	25.7%
合計		6,202	806	7,008	100.0%



5 【クロス集計】「期間」と「年齢」

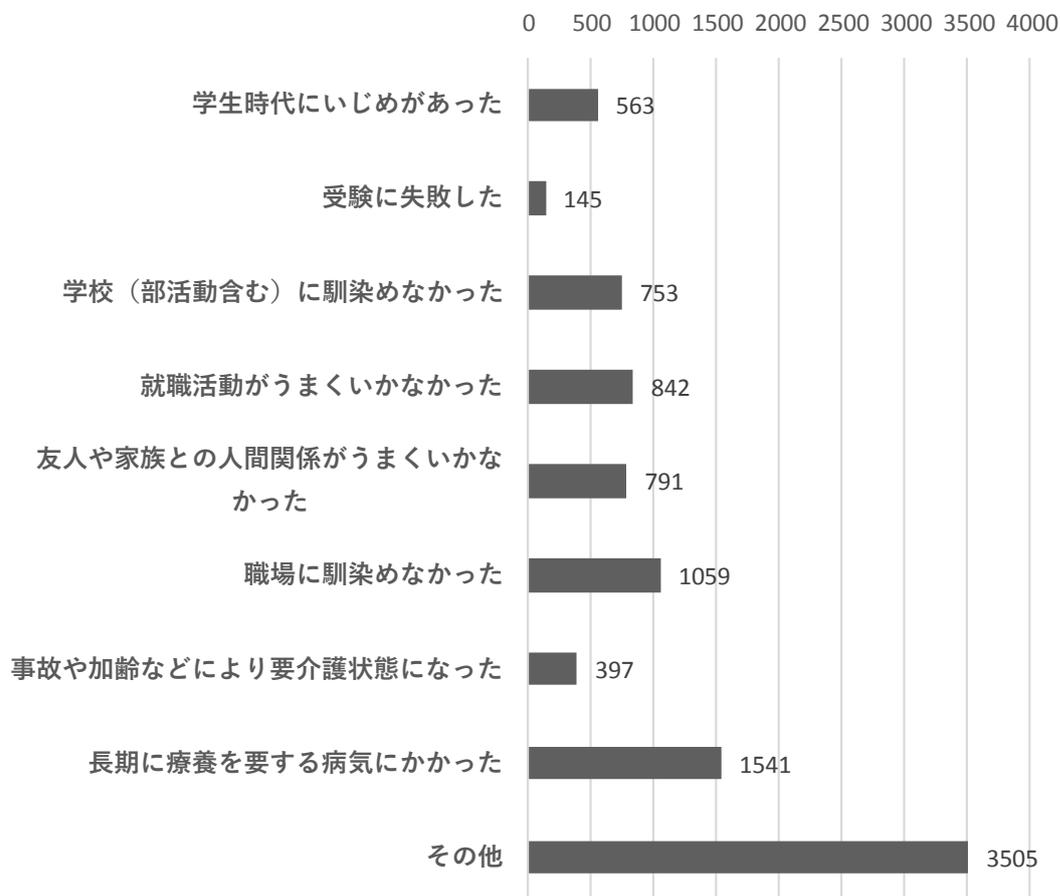
- 20歳未満・20代・30代では1～3年、40代・50代は10年以上が一番多い。
- 若い年代はひきこもり期間が短く、また当事者の年齢が進むにつれひきこもり期間が長くなる傾向がうかがえる。



6 ひきこもるきっかけ

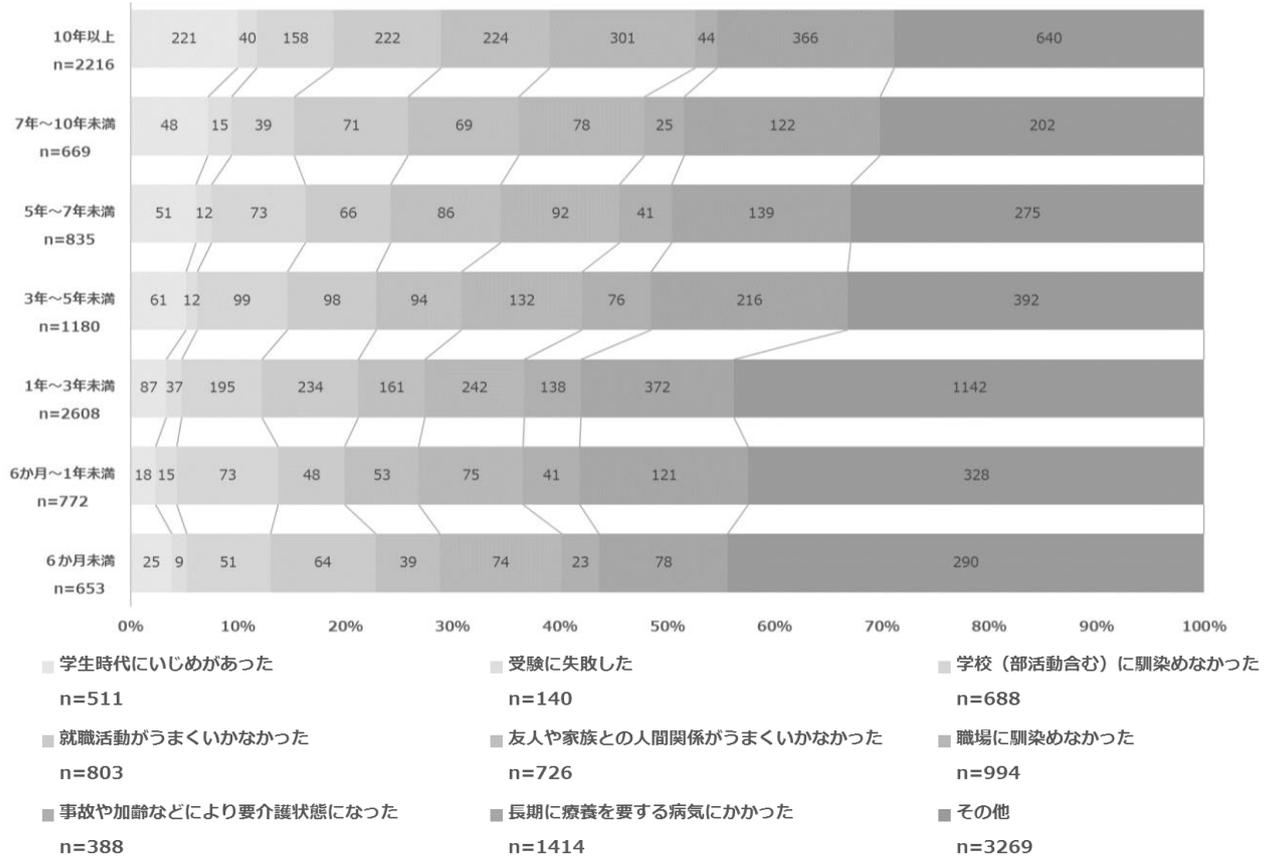
- ・ 選べる項目の中では「長年に療養を要する病気にかかった」が20%と最も多い。
- ・ 「その他」が46%あり、きっかけがはっきりとしないこと、または当事者にしか分からないきっかけがあることがうかがえる。

NO	項目	郵送調査	訪問調査	回答数	割合
1	学生時代にいじめがあった	501	62	563	7%
2	受験に失敗した	131	14	145	2%
3	学校（部活動含む）に馴染めなかった	644	109	753	10%
4	就職活動がうまくいかなかった	752	90	842	11%
5	友人や家族との人間関係がうまくいかなかった	703	88	791	10%
6	職場に馴染めなかった	939	120	1,059	14%
7	事故や加齢などにより要介護状態になった	358	39	397	5%
8	長年に療養を要する病気にかかった	1,342	199	1,541	20%
9	その他	3,113	392	3,505	46%
回答者数		8,483	1,113	7,604	



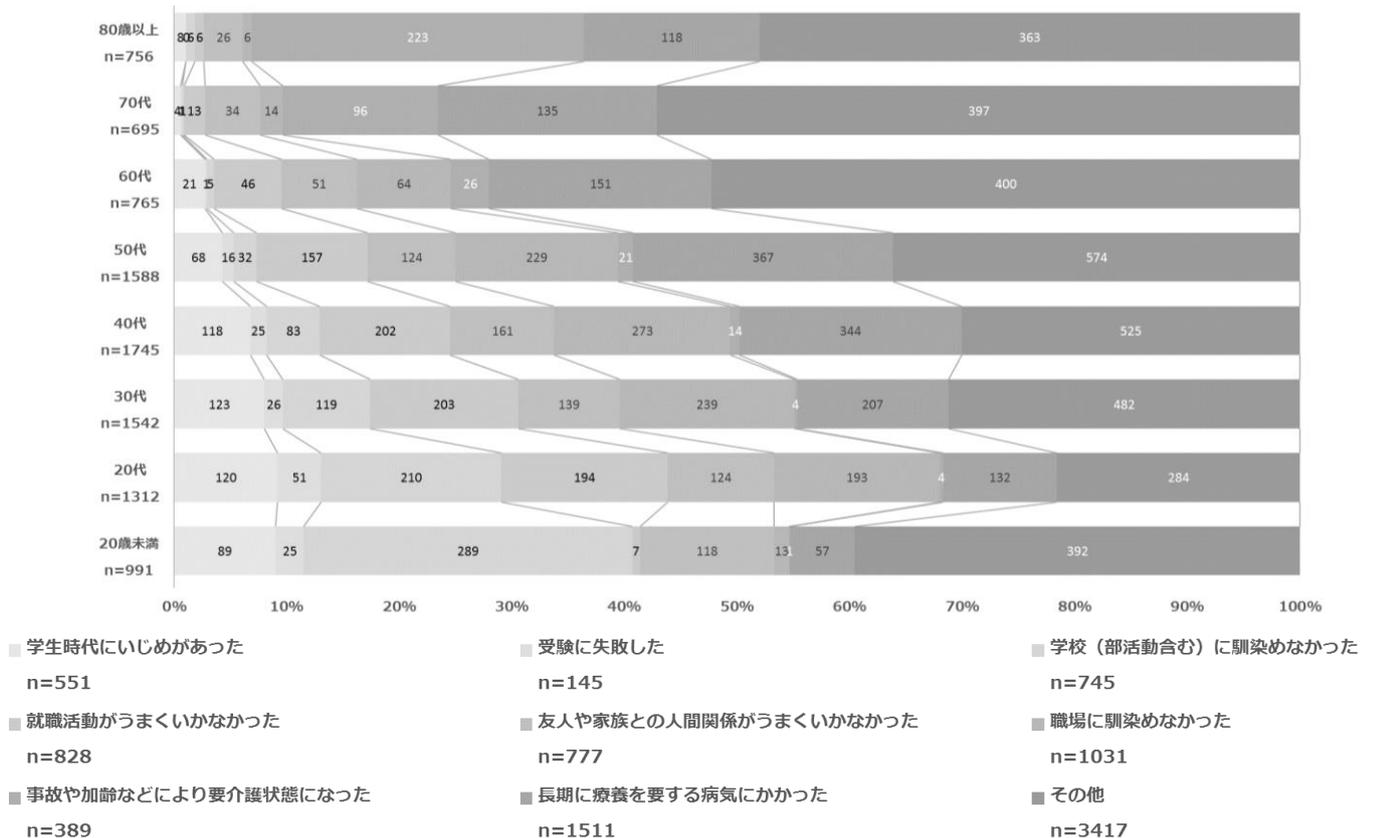
7 【クロス集計】「きっかけ」と「期間」

- ひきこもり期間に関らず、ひきこもり当事者それぞれによって要因が異なる。



8 【クロス集計】「きっかけ」と「年齢」

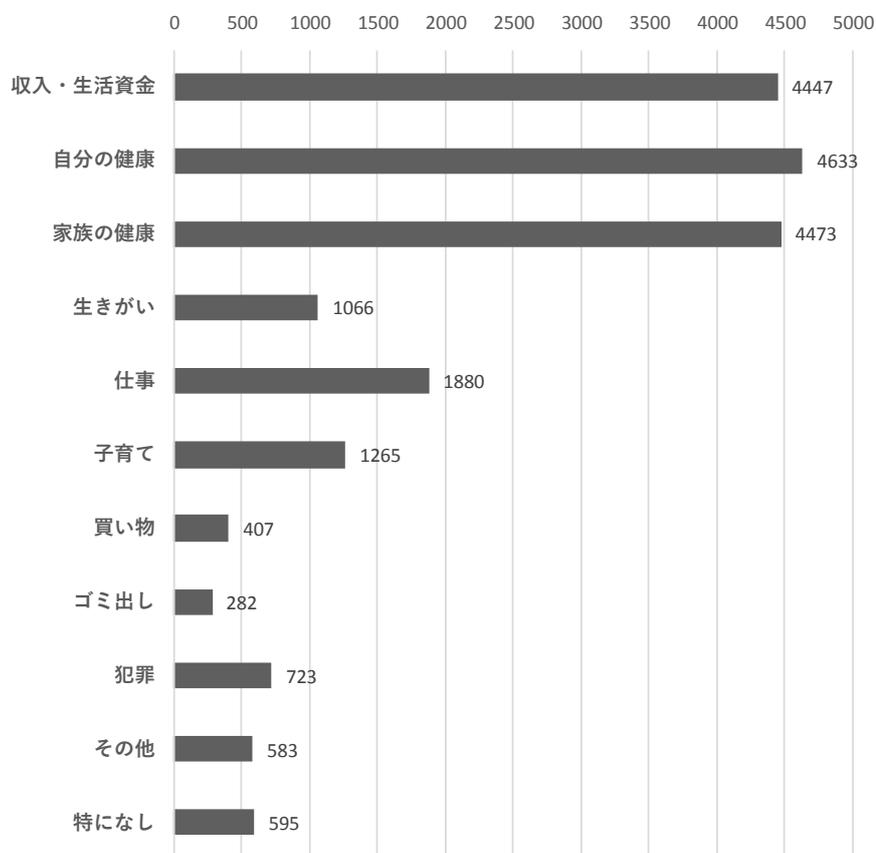
- 年齢に関らず「その他」が一番多く、ひきこもり当事者それぞれによって要因が異なる。



9 困りごと

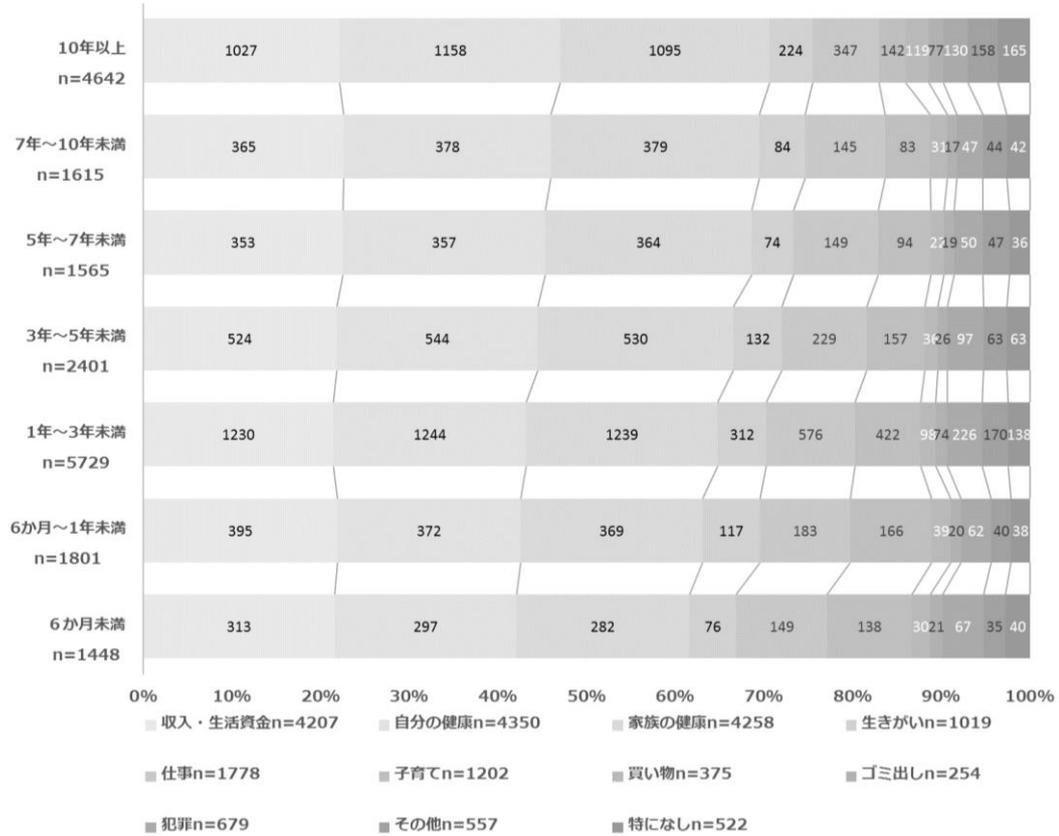
・「自分の健康」「収入・生活資金」「家族の健康」の3項目が多くを占める割合となった。

NO	項目	郵送調査	訪問調査	回答数	割合
1	収入・生活資金	3,964	483	4,447	58%
2	自分の健康	4,124	509	4,633	61%
3	家族の健康	4,005	468	4,473	59%
4	生きがい	957	109	1,066	14%
5	仕事	1,664	216	1,880	25%
6	子育て	1,107	158	1,265	17%
7	買い物	364	43	407	5%
8	ゴミ出し	250	32	282	4%
9	犯罪	650	73	723	10%
10	その他	508	75	583	8%
11	特になし	490	105	595	8%
回答者数		18,083	2,271	7,604	



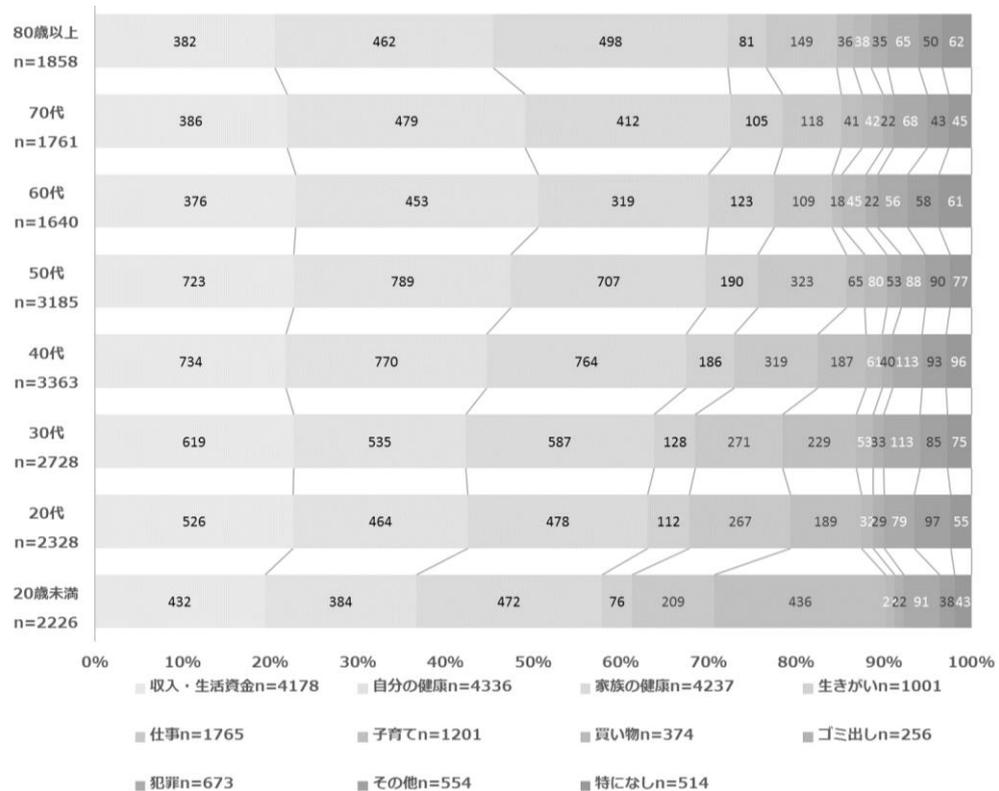
10 【クロス集計】「困りごと」と「期間」

・ひきこもり期間に関らず、「収入・生活資金」「自分の健康」「家族の健康」が多くの割合を占める。



11 【クロス集計】「困りごと」と「年齢」

・年齢に関らず「収入・生活資金」「自分の健康」「家族の健康」が多くの割合を占める。



13 「きっかけ」と「困りごと」の選択個数

- 1個の「きっかけ」でひきこる要因になるが、ひきこもり当事者および家族は1つではない複数の「困りごと」を抱えていることがうかがえる。

「きっかけ」

項目	回答数	割合
0個	793	10%
1個	4,870	64%
2個	1,285	17%
3個	401	5%
4個以上	215	3%
回答数	7,604	

「困りごと」

項目	回答数	割合
0個	54	1%
1個	1,757	23%
2個	1,917	25%
3個	1,871	25%
4個以上	1,965	26%
回答数	7,604	

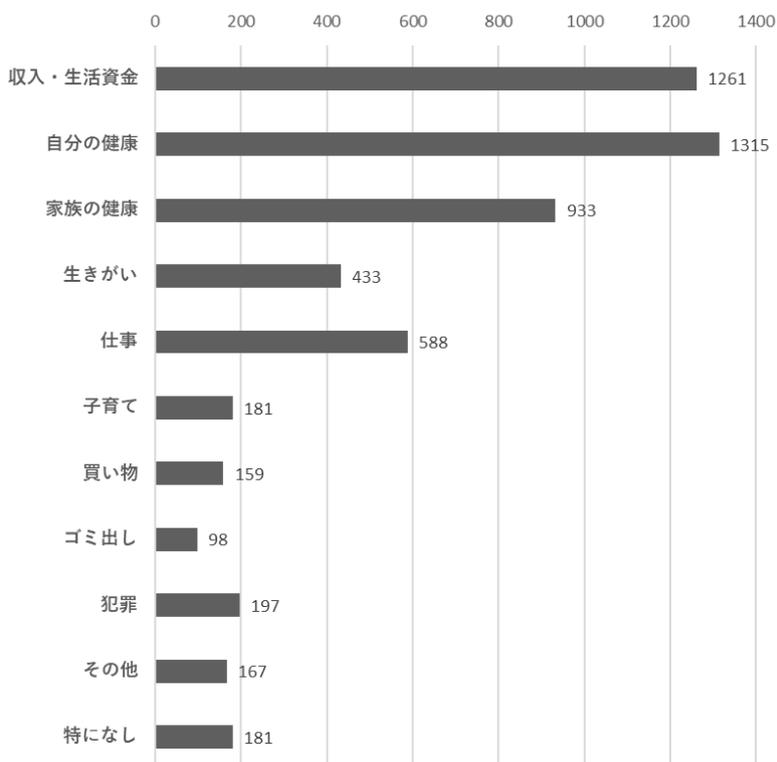
第3節 ひきこもり当事者の声

本調査の中から、ひきこもり当事者自身の回答のみを抜粋し、当事者の声に耳を傾ける

1-1 日常生活の不安

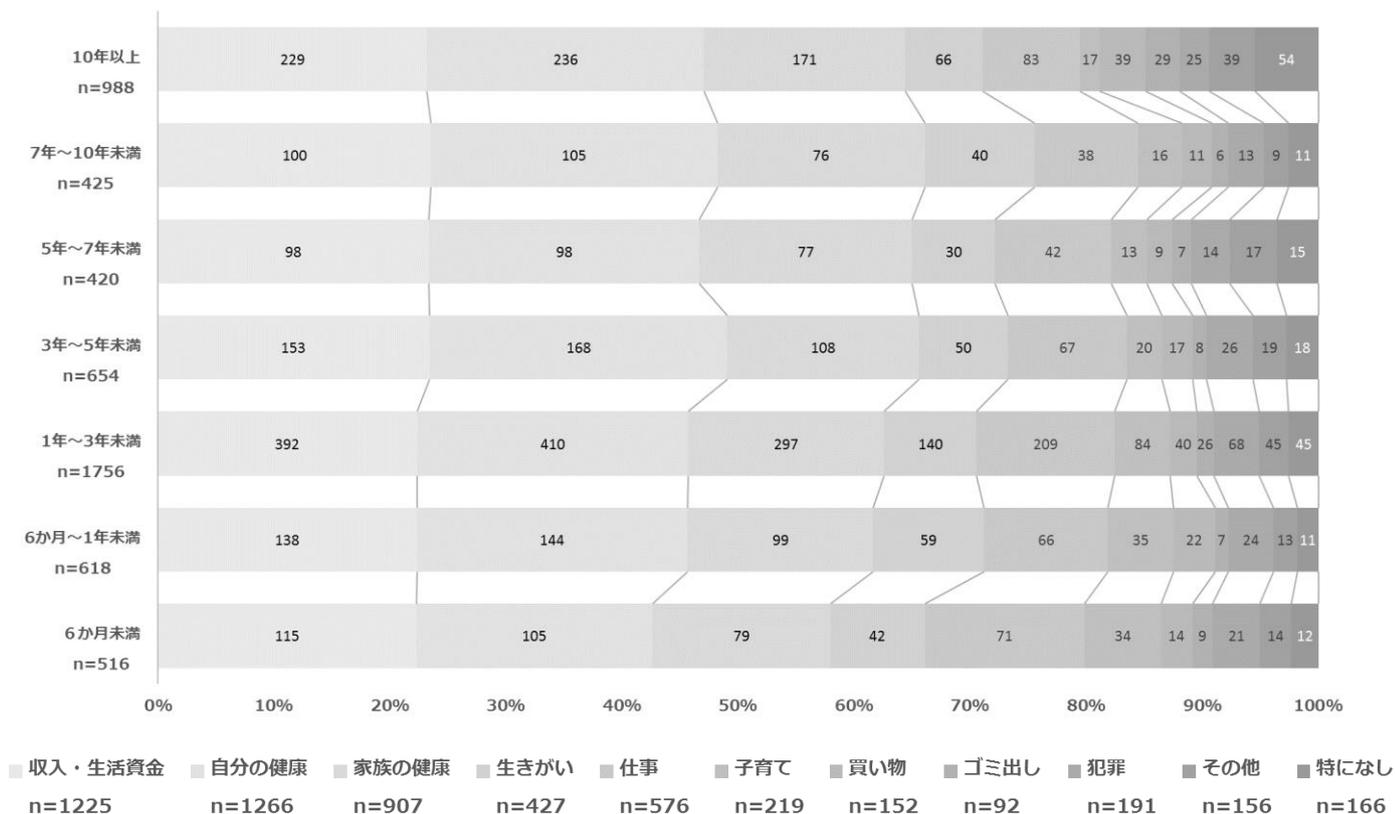
- 60%以上が「収入・生活資金」「自分の健康」に不安を抱えている。
- 47%が「家族の健康」に不安を抱えており、家族の体調の変化が当事者にとって影響を及ぼす事項であることがうかがえる。

NO	項目	郵送調査	訪問調査	回答数	割合
1	収入・生活資金	1,144	117	1,261	63%
2	自分の健康	1,188	127	1,315	66%
3	家族の健康	854	79	933	47%
4	生きがい	392	41	433	22%
5	仕事	519	69	588	30%
6	子育て	148	33	181	9%
7	買い物	141	18	159	8%
8	ゴミ出し	89	9	98	5%
9	犯罪	181	16	197	10%
10	その他	145	22	167	8%
11	特になし	148	33	181	9%
回答者数		4,949	564	1,993	



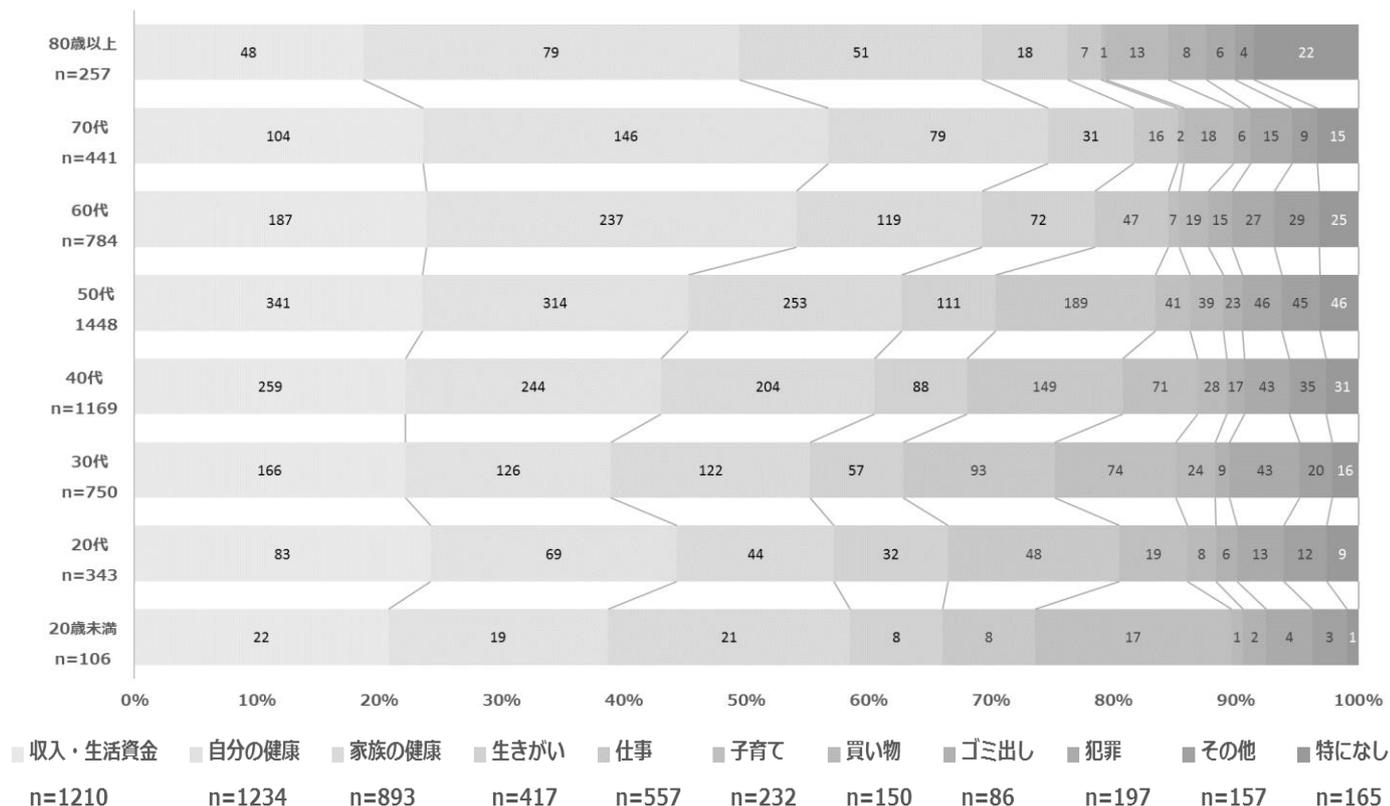
1-2 【クロス集計】「日常生活の不安」と「期間」

・期間に関わらず「収入・生活資金」「自分の健康」「家族の健康」に不安を抱えていることがうかがえる。



1-3 【クロス集計】「日常生活の不安」と「年齢」

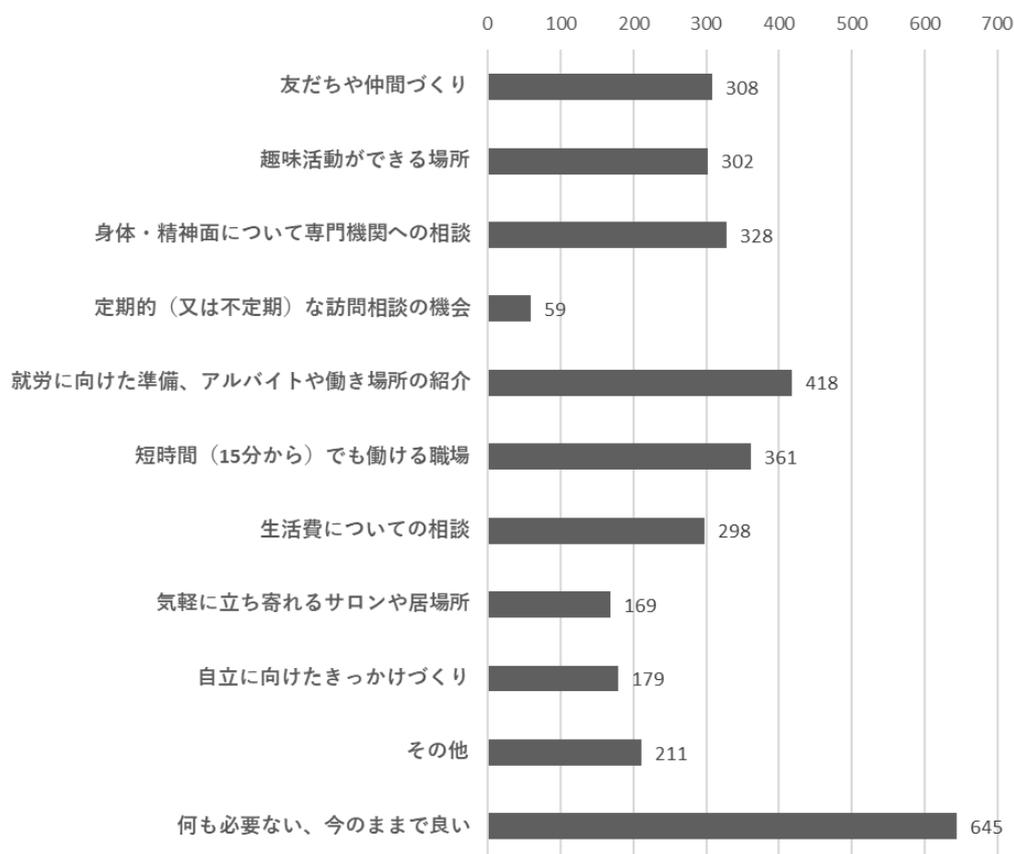
・全年代に共通して50%以上が「収入・生活資金」「自分の健康」「家族の健康」に不安を抱えている



2-1 ひきこもり当事者が求めているもの

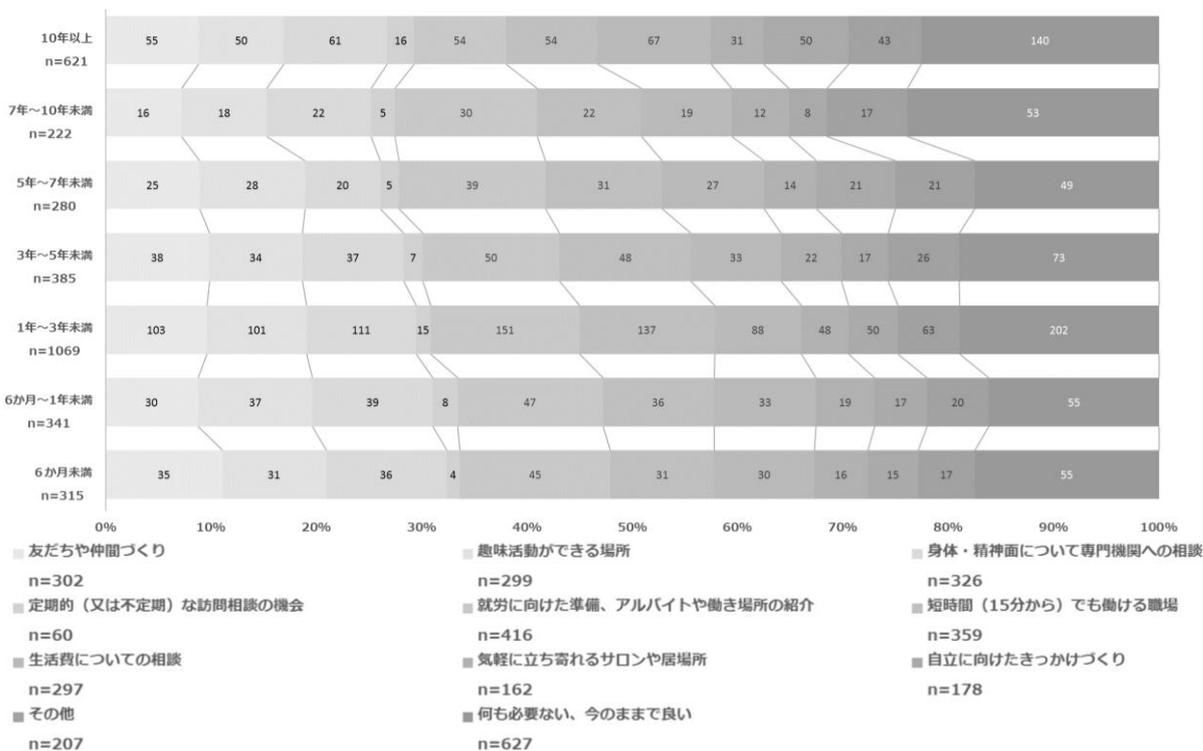
- ・「就労に向けた準備、アルバイトや働き場所の紹介」「短時間（15分から）でも働ける職場」の就労に関する回答が39%と最も多かった。
- ・「定期的（又は不定期）な訪問相談の機会」は3%と最も少なかった。

NO	項目	郵送調査	訪問調査	回答数	割合
1	友だちや仲間づくり	280	28	308	15%
2	趣味活動ができる場所	271	31	302	15%
3	身体・精神面について専門機関への相談	295	33	328	16%
4	定期的（又は不定期）な訪問相談の機会	52	7	59	3%
5	就労に向けた準備、アルバイトや働き場所の紹介	381	37	418	21%
6	短時間（15分から）でも働ける職場	327	34	361	18%
7	生活費についての相談	275	23	298	15%
8	気軽に立ち寄れるサロンや居場所	156	13	169	8%
9	自立に向けたきっかけづくり	162	17	179	9%
10	その他	195	16	211	11%
11	何も必要ない、今のままで良い	561	84	645	32%
回答者数		2,955	323	1,993	



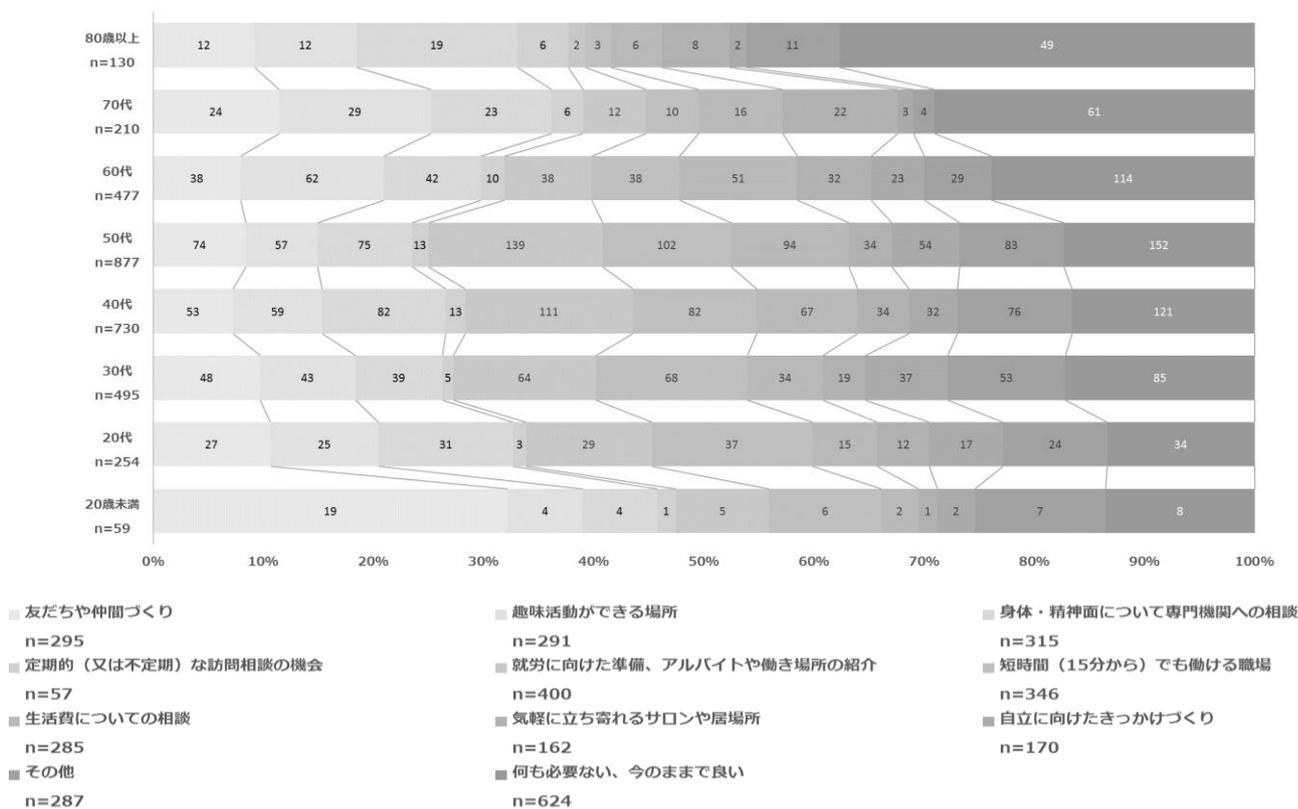
2-2 【クロス集計】「求めているもの」と「期間」

- ひきこもり期間に関係なく、ひきこもり当事者が「求めているもの」の割合は変わらない。



2-3 【クロス集計】「求めているもの」と「年齢」

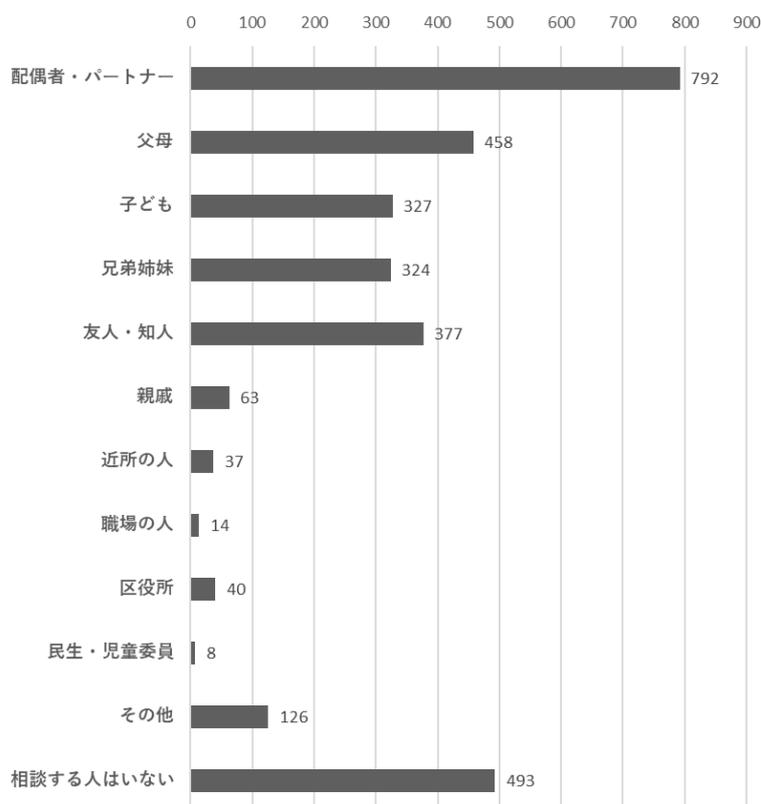
- ひきこもり当事者の年代が上がるにつれて「何も必要ない、今のままで良い」の割合が高くなる傾向にある。
- 20歳未満は友だちや仲間づくりを求める声が一番多い。
- 40代と50代は「就労に向けた準備、アルバイトや働き場所の紹介」を求める声が多い。



3-1 ひきこもり当事者の相談相手

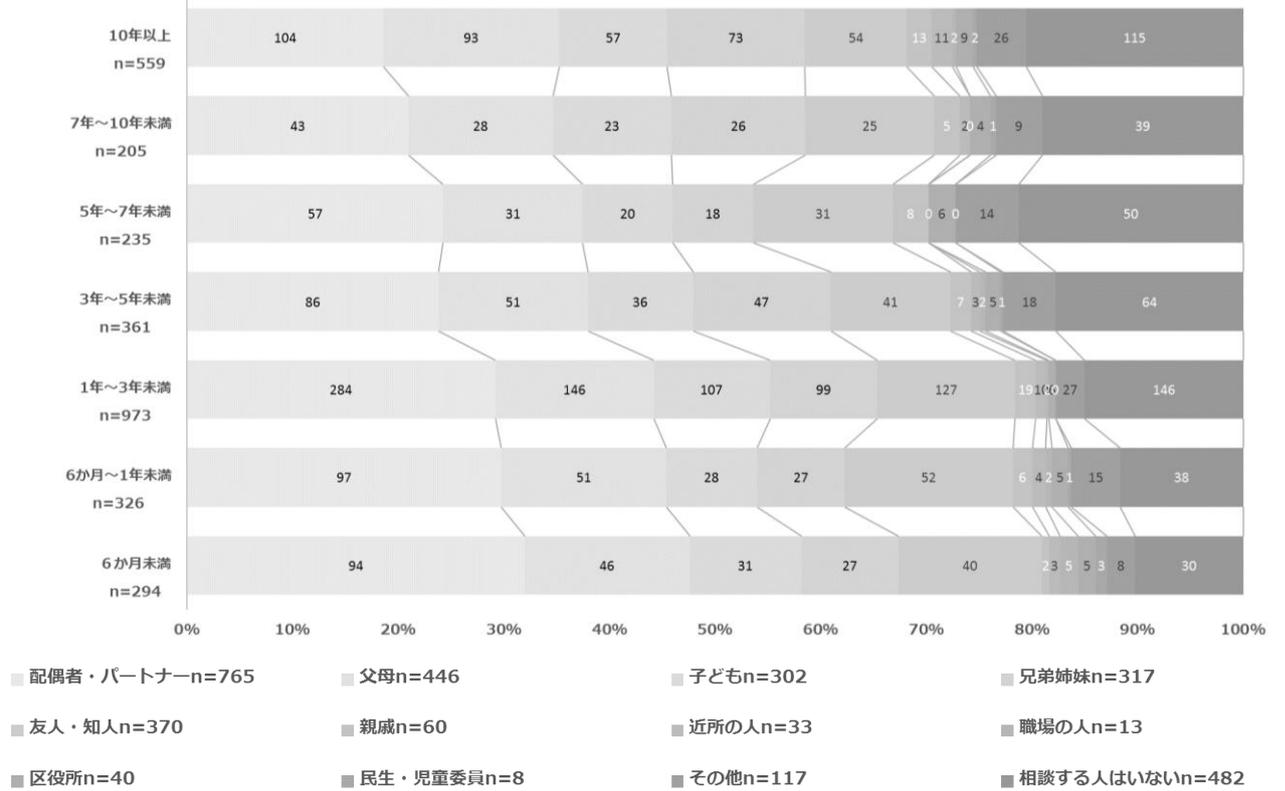
- ひきこもり当事者の40%は「配偶者・パートナー」へ相談をしており、婚姻関係の有無に関わらず、ひきこもり当事者となる可能性があることがうかがえる。
- 「相談する人はいない」を選択している方は25%と2番目に高かった。

NO	項目	郵送調査	訪問調査	回答数	割合
1	配偶者・パートナー	707	85	792	40%
2	父母	404	54	458	23%
3	子ども	301	26	327	16%
4	兄弟姉妹	294	30	324	16%
5	友人・知人	328	49	377	19%
6	親戚	57	6	63	3%
7	近所の人	36	1	37	2%
8	職場の人	14	0	14	1%
9	区役所	36	4	40	2%
10	民生・児童委員	8	0	8	0%
11	その他	106	20	126	6%
12	相談する人はいない	444	49	493	25%
回答者数		2,735	324	1,993	



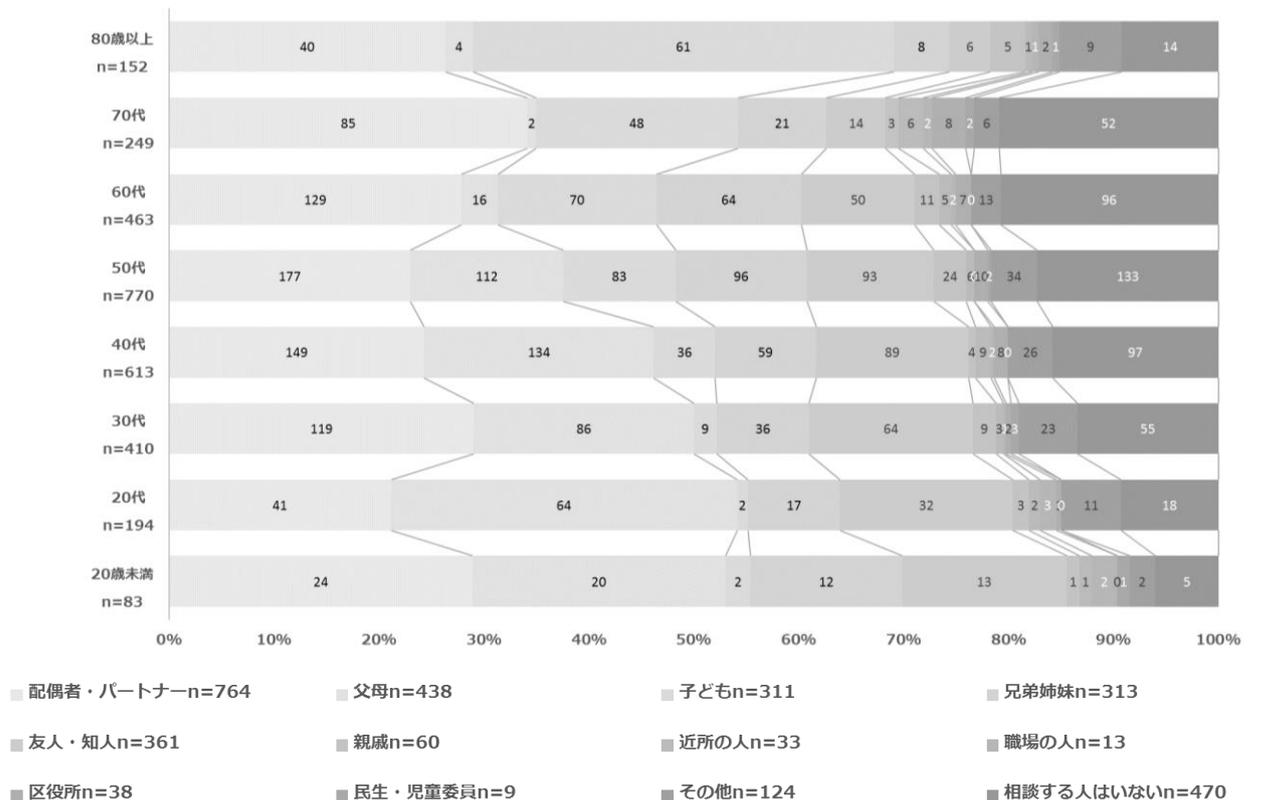
3-2 【クロス集計】「相談相手」と「期間」

・ひきこもり期間が長くなるにつれて「相談する人はいない」の割合が高くなる傾向にある。



3-3 【クロス集計】「相談相手」と「年齢」

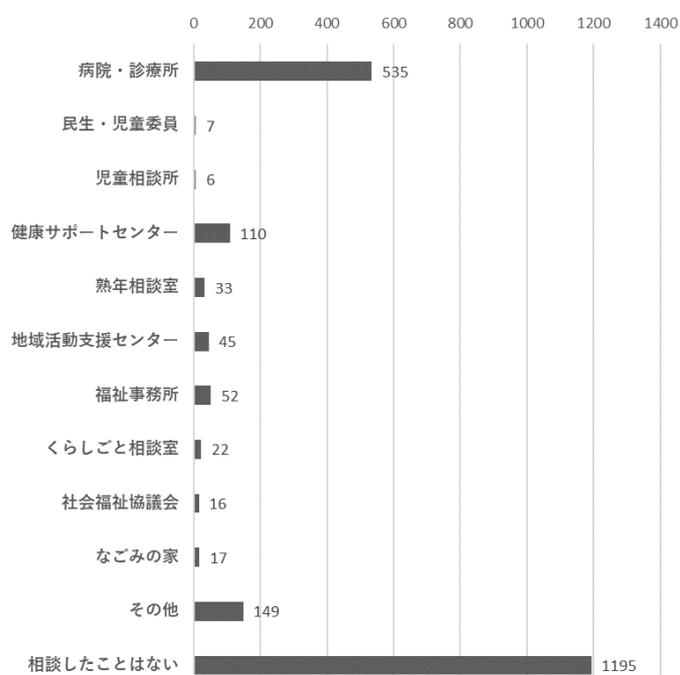
・配偶者・パートナーが主な相談相手だが、父母への相談は徐々に減り子どもへの相談が増える傾向がうかがえる。



4-1 ひきこもり当事者の相談した場所

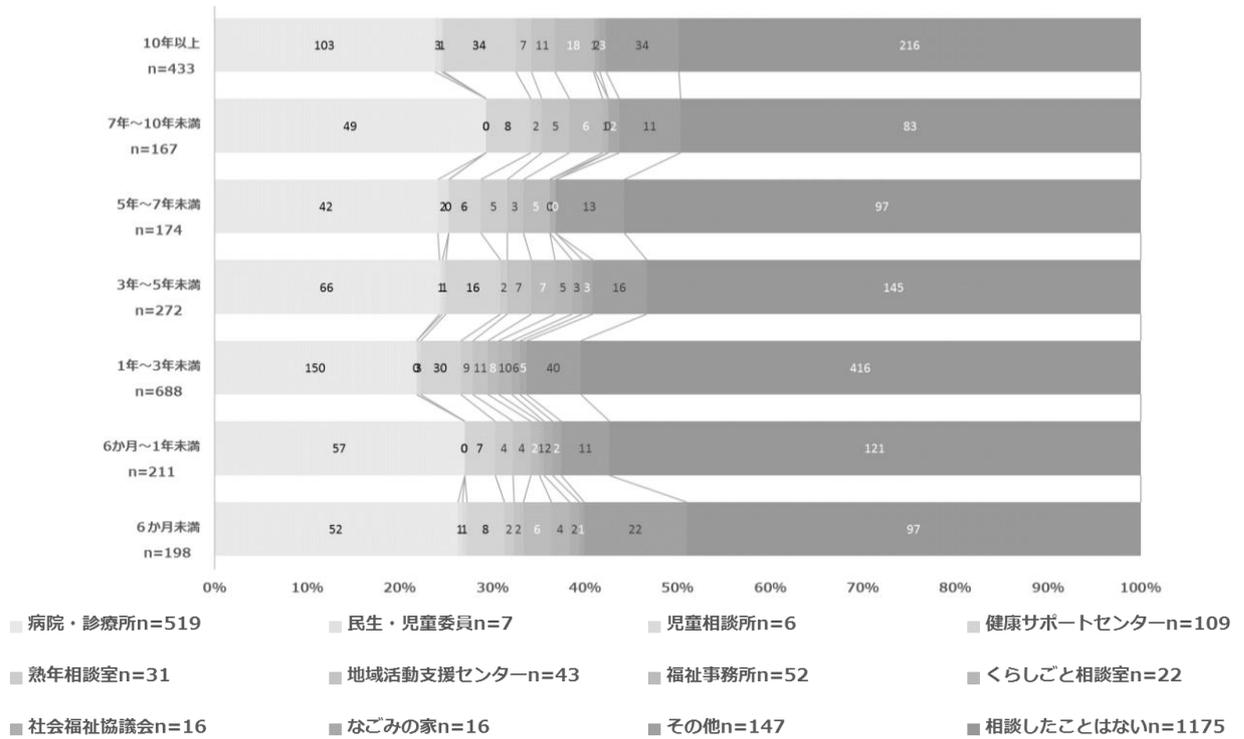
- 最も多い回答は「相談したことはない」であった。
- 病院・診療所は28%であったが、その他の相談機関は活用されていないことがうかがえる。

NO	項目	郵送調査	訪問調査	回答数	割合
1	病院・診療所	480	55	535	28%
2	民生・児童委員	6	1	7	0%
3	児童相談所	6	0	6	0%
4	健康サポートセンター	96	14	110	6%
5	熟年相談室	31	2	33	2%
6	地域活動支援センター	42	3	45	2%
7	福祉事務所	47	5	52	3%
8	くらしごと相談室	20	2	22	1%
9	社会福祉協議会	13	3	16	1%
10	なごみの家	17	0	17	1%
11	その他	137	12	149	8%
12	相談したことはない	1,066	129	1,195	62%
回答者数		1,961	226	1,933	



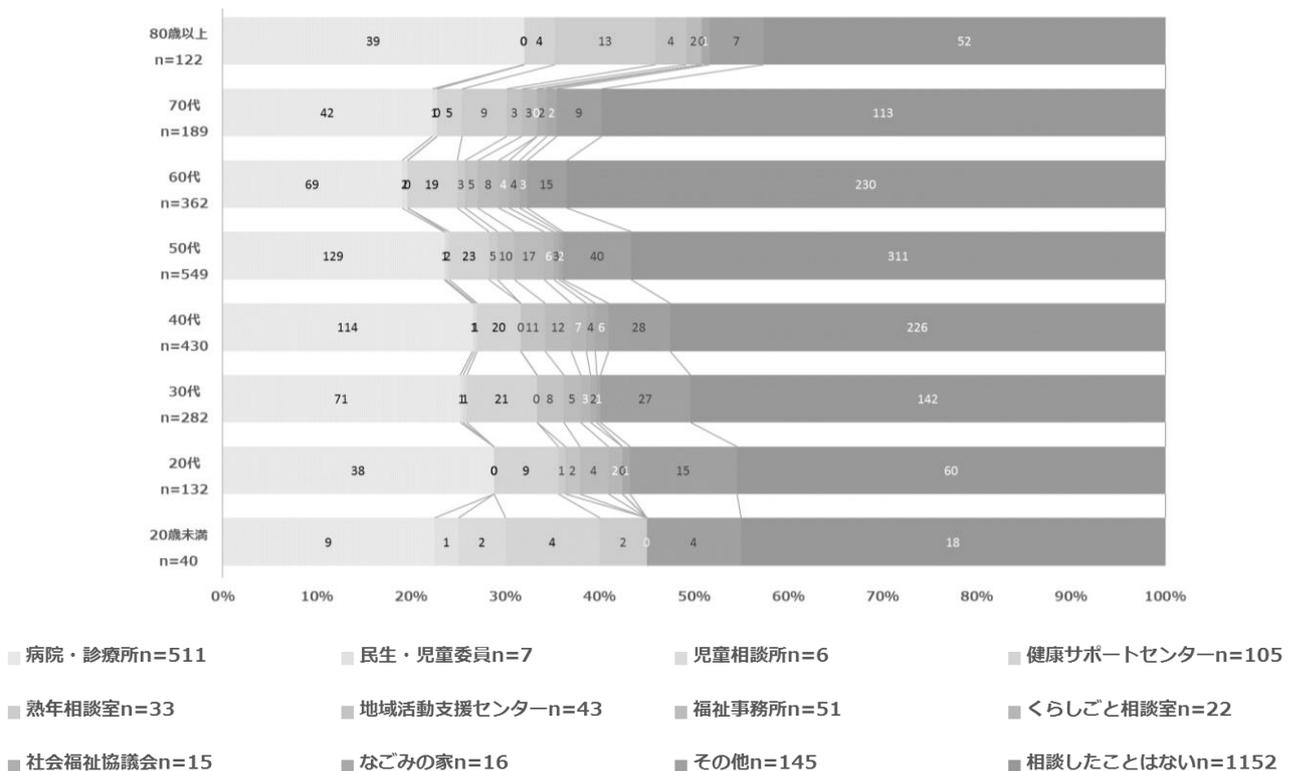
4-2 【クロス集計】「相談した場所」と「期間」

- 期間に関係なく最も多い回答は「相談したことはない」であった。
- 期間に関係なく2番目に多いのは「病院・診療所」の医療機関であった。



4-3 【クロス集計】「相談した場所」と「年齢」

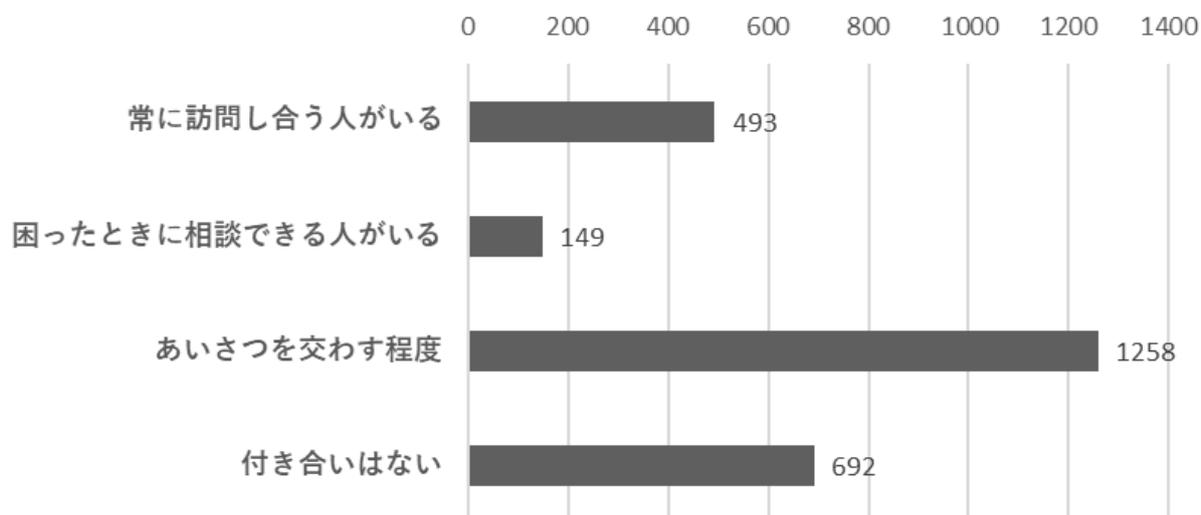
- 20歳未満から70代まで、年齢が高くなるにつれて、「相談したことはない」の割合が高くなる傾向がある。
- 80歳以上は病院・診療所につながっている割合が高くなる。



5-1 ひきこもり当事者の近所付き合い

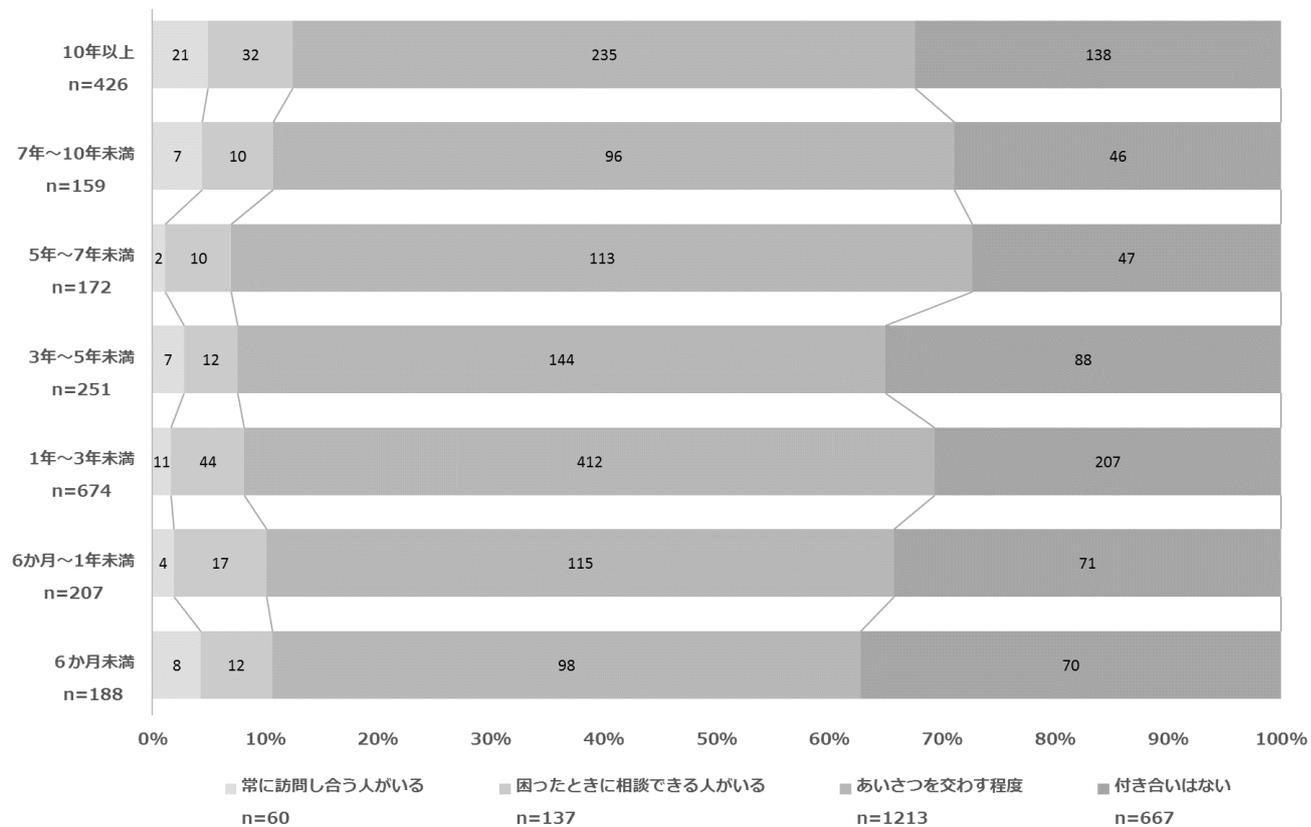
- ・「困ったときに相談できる人がいる」が7%と最も少なく、身近に相談相手がないことがうかがえる。

NO	項目	郵送調査	訪問調査	回答数	割合
1	常に訪問し合う人がいる	444	49	493	25%
2	困ったときに相談できる人がいる	136	13	149	7%
3	あいさつを交わす程度	1,120	138	1,258	63%
4	付き合いはない	621	71	692	35%
回答者数		2,321	271	1,993	



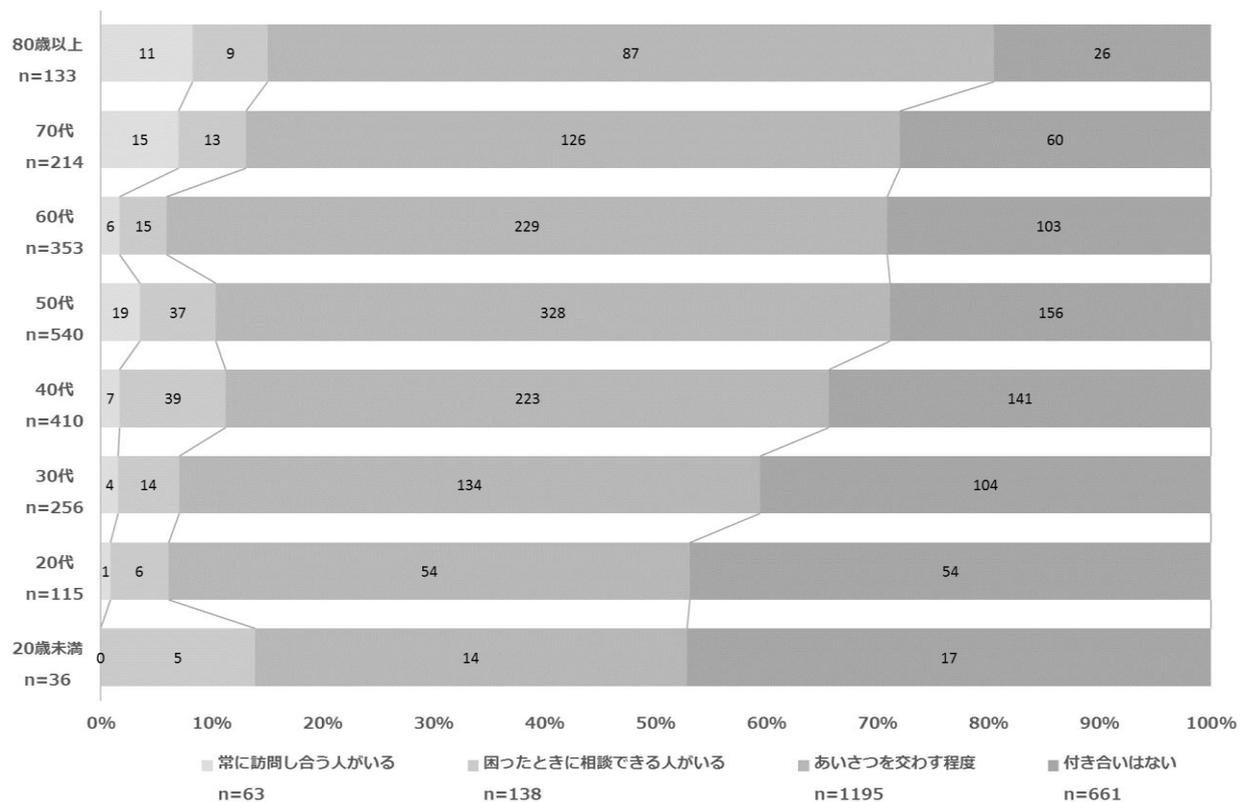
5-2 【クロス集計】「近所付き合い」と「期間」

- ひきこもり期間に関係なく、「あいさつを交わす程度」が1番多く、次いで「付き合いはない」という傾向は変わらない。



5-3 【クロス集計】「近所付き合い」と「年齢」

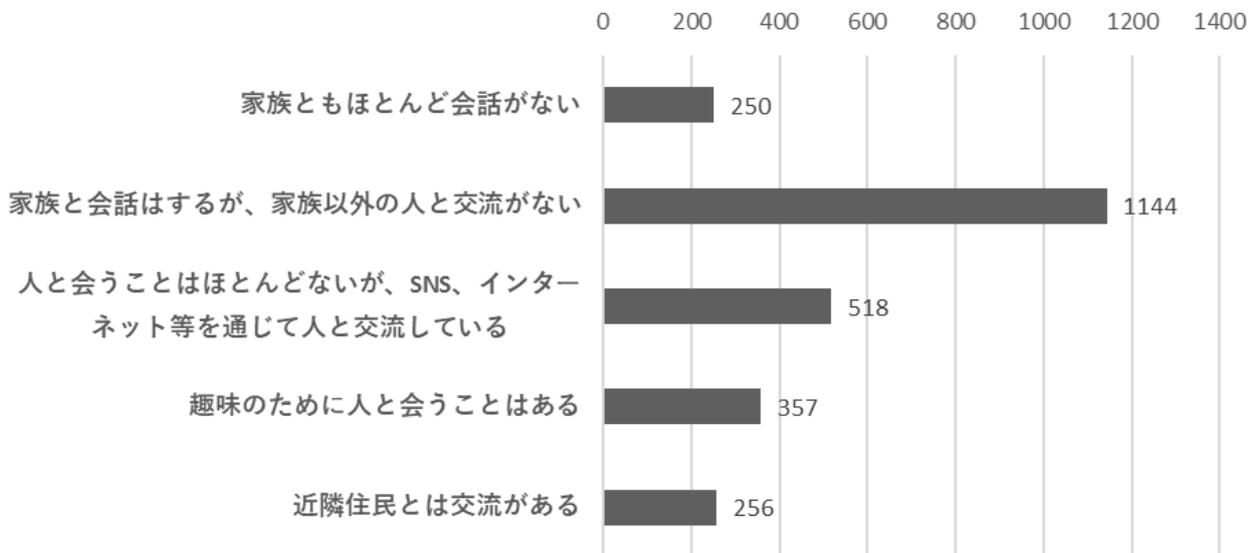
- 近所付き合いは年齢が若いほど、「付き合いがない」が増える傾向にあり、近所付き合いがなくなっていることがうかがえる。



6-1 ひきこもり当事者の交流の状況

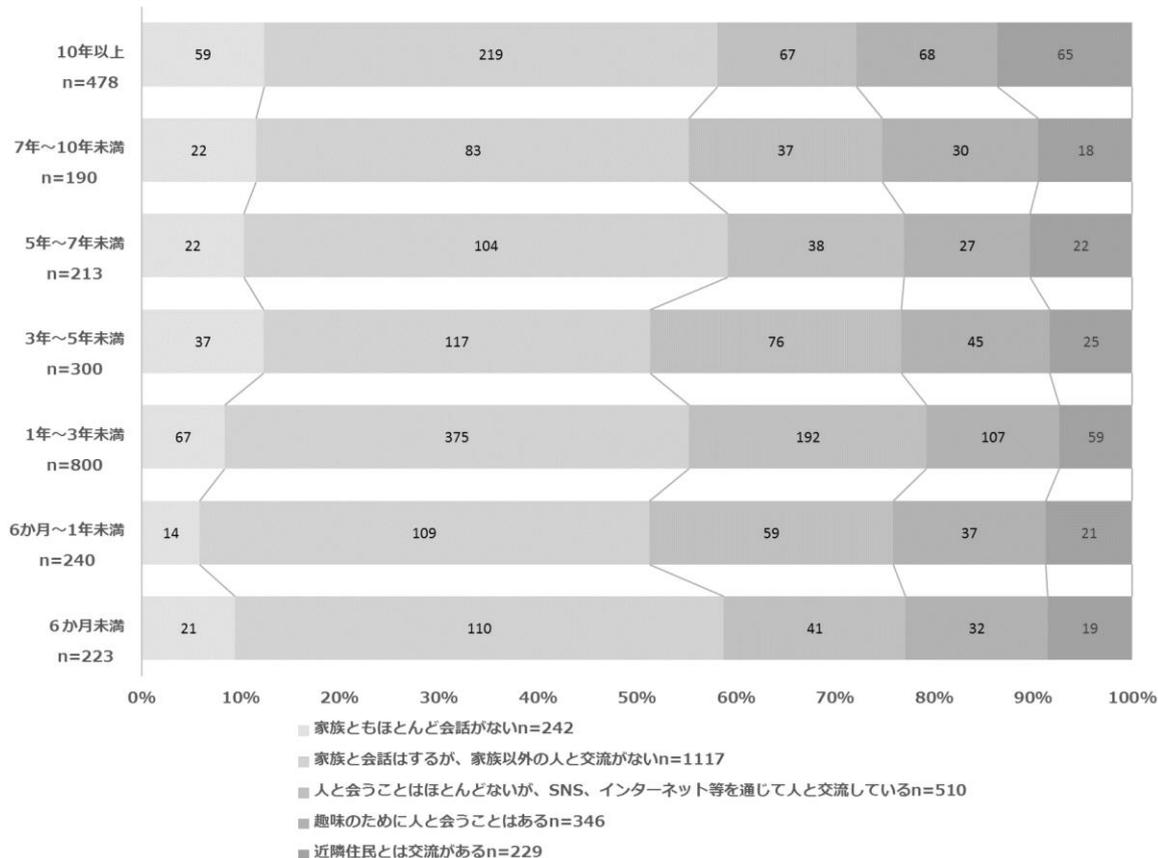
- ・「家族ともほとんど会話がなない」は 13%であり、多くのひきこもり当事者は家族との会話がある。
- ・「人と会うことはほとんどないが、SNS、インターネット等を通じて人と交流している」は 26%と、ひきこもり当事者の 4 人に 1 人がインターネット等を活用している。

NO	項目	郵送調査	訪問調査	回答数	割合
1	家族ともほとんど会話がなない	228	22	250	13%
2	家族と会話はするが、家族以外の人と交流がなない	1,021	123	1,144	57%
3	人と会うことはほとんどないが、SNS、インターネット等を通じて人と交流している	461	57	518	26%
4	趣味のために人と会うことはある	312	45	357	18%
5	近隣住民とは交流がある	235	21	256	13%
回答者数		2,257	268	1,993	



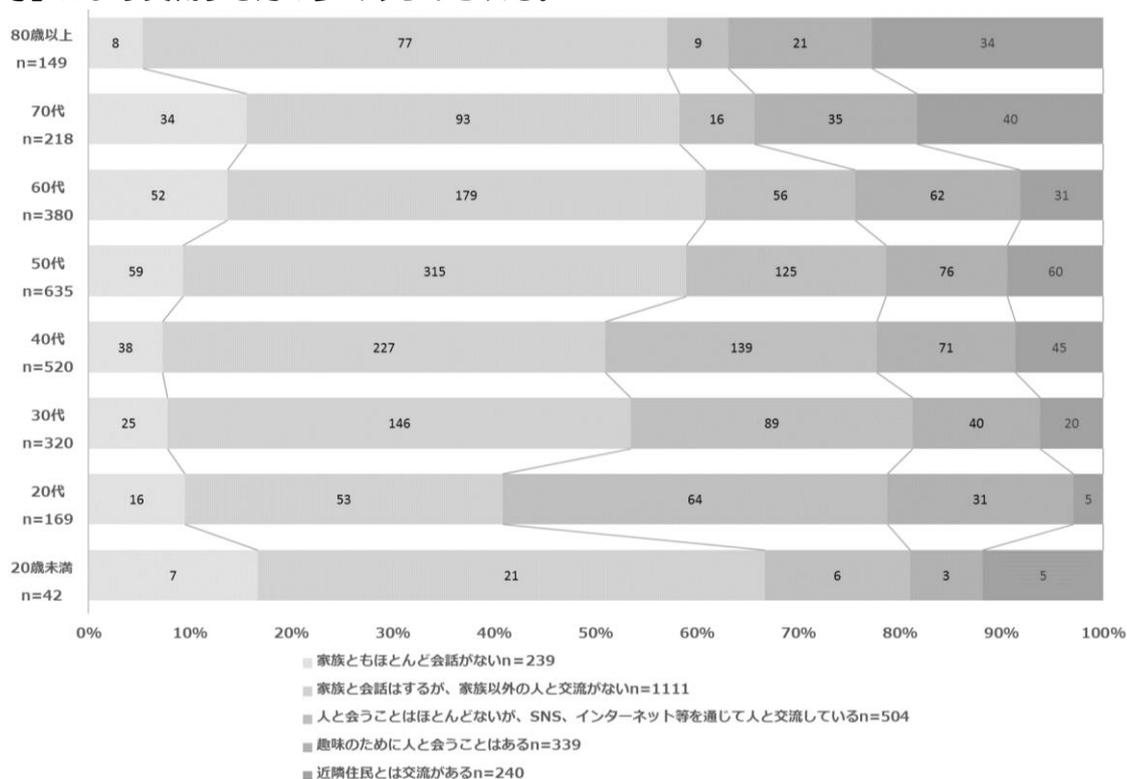
6-2 【クロス集計】「交流状況」と「期間」

- ひきこもり期間に関係なく「家族と会話はするが、家族以外の人と交流がない」が一番多く、また SNS インターネット等を利用して交流している方も期間に関わらず確認できる。



6-3 【クロス集計】「交流状況」と「年齢」

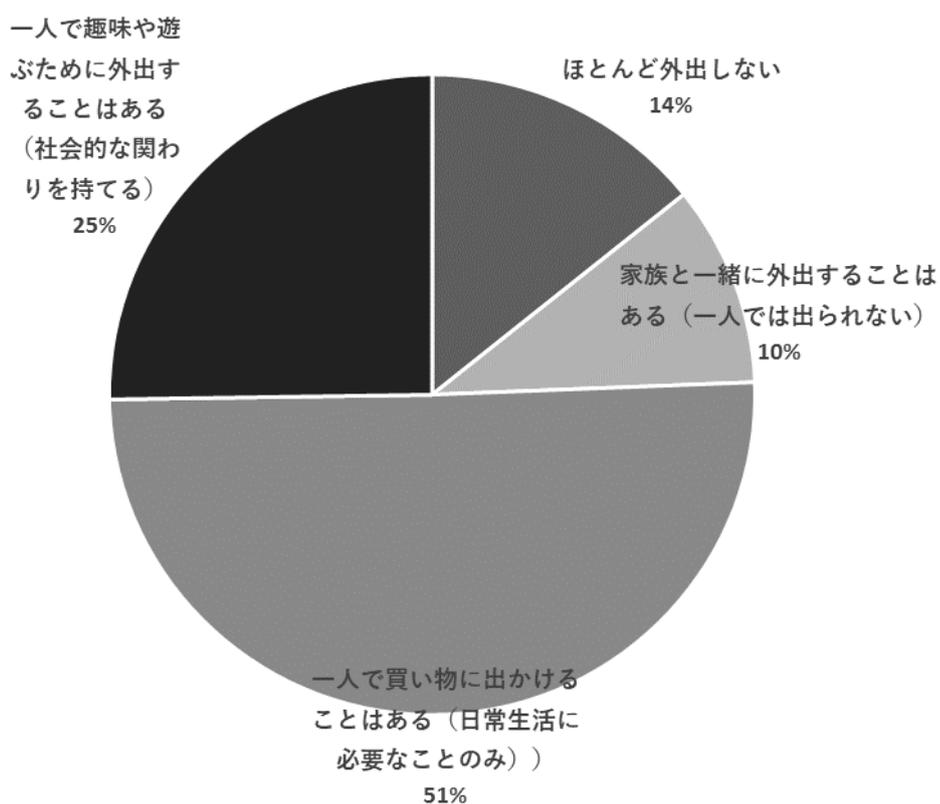
- 「家族と会話はするが、家族以外の人と交流がない」が最も多い回答だが、20代に限り「SNS、インターネット等」により交流する方が多くみられる。



7-1 ひきこもり当事者の外出の状況

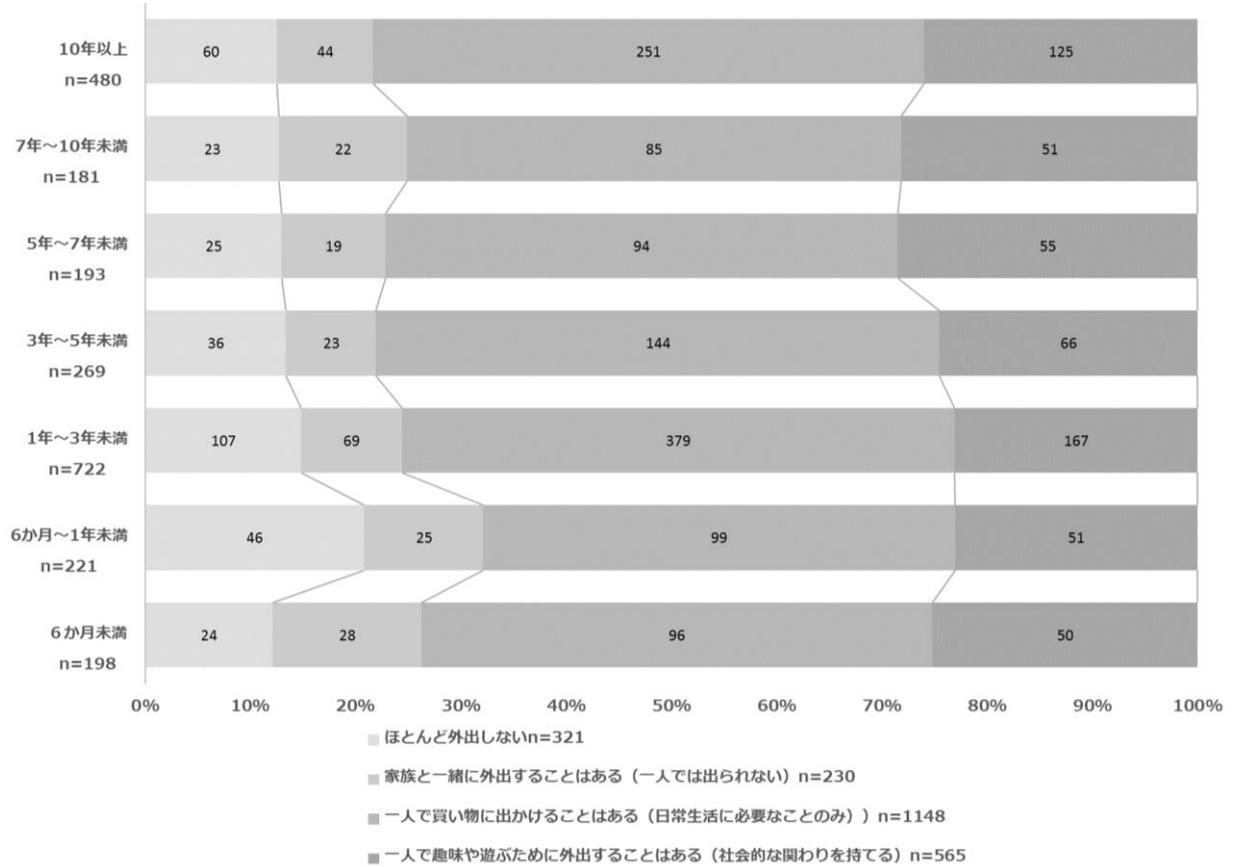
・ひきこもり当事者の約75%は一人で外出可能との傾向がわかる。

NO	項目	郵送調査	訪問調査	回答数	割合
1	ほとんど外出しない	304	30	334	14.2%
2	家族と一緒に外出することはある（一人では出られない）	216	22	238	10.1%
3	一人で買い物に出かけることはある（日常生活に必要なことのみ）	1,070	112	1,182	50.4%
4	一人で趣味や遊ぶために外出することはある（社会的な関わりを持てる）	529	63	592	25.2%
合計		2,119	227	2,346	100.0%



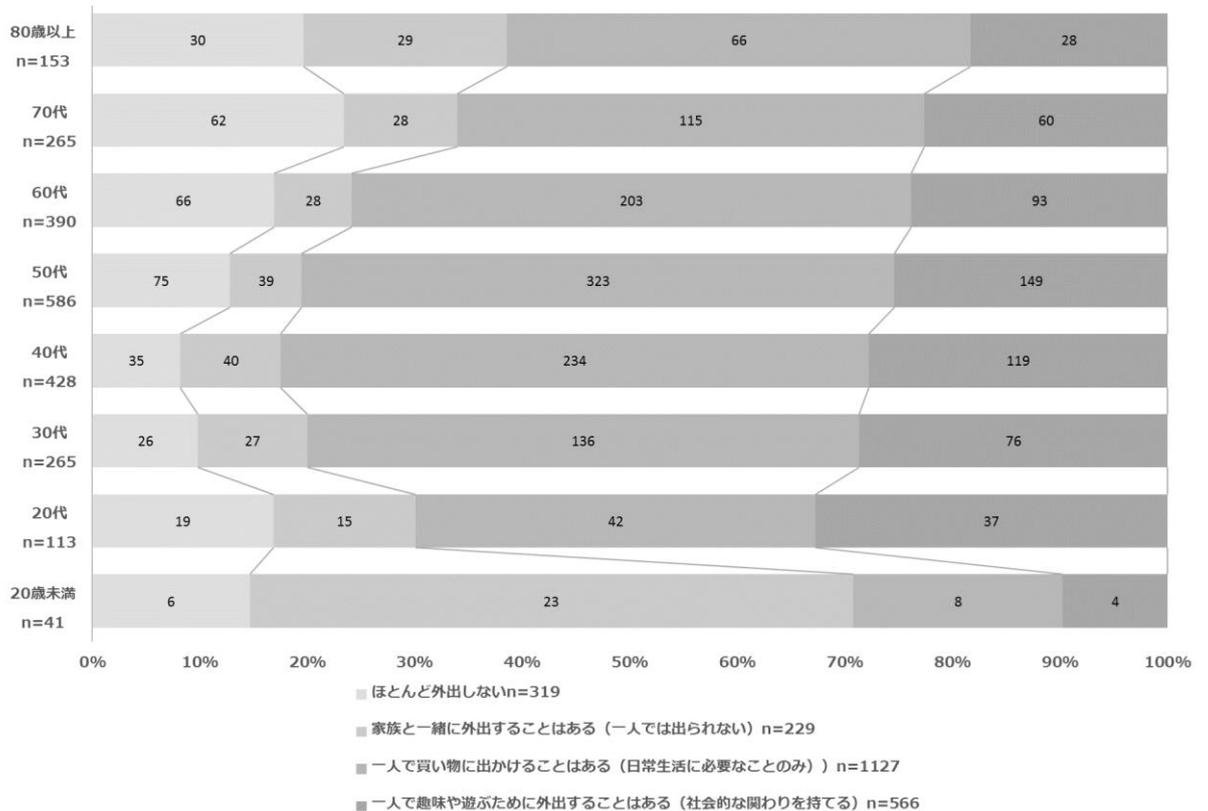
7-2 【クロス集計】「外出の状況」と「期間」

- ひきこもり期間に関係なく、日常生活に必要なものであれば買い物に出かけることが可能であることがうかがえる。



7-3 【クロス集計】「外出の状況」と「年齢」

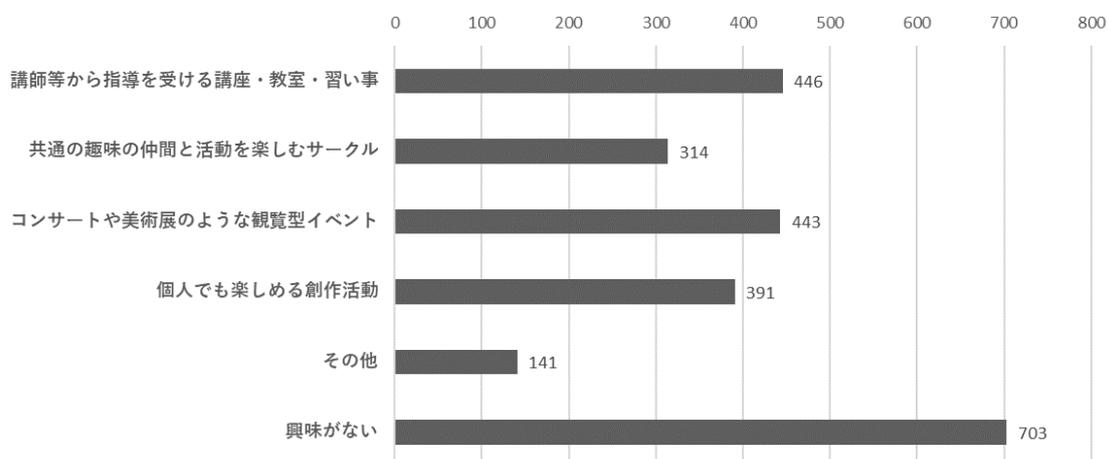
- 20歳未満の方は家族と一緒にでないとなると外出ができない傾向があることがうかがえる。



8-1 ひきこもり当事者の興味ある文化活動

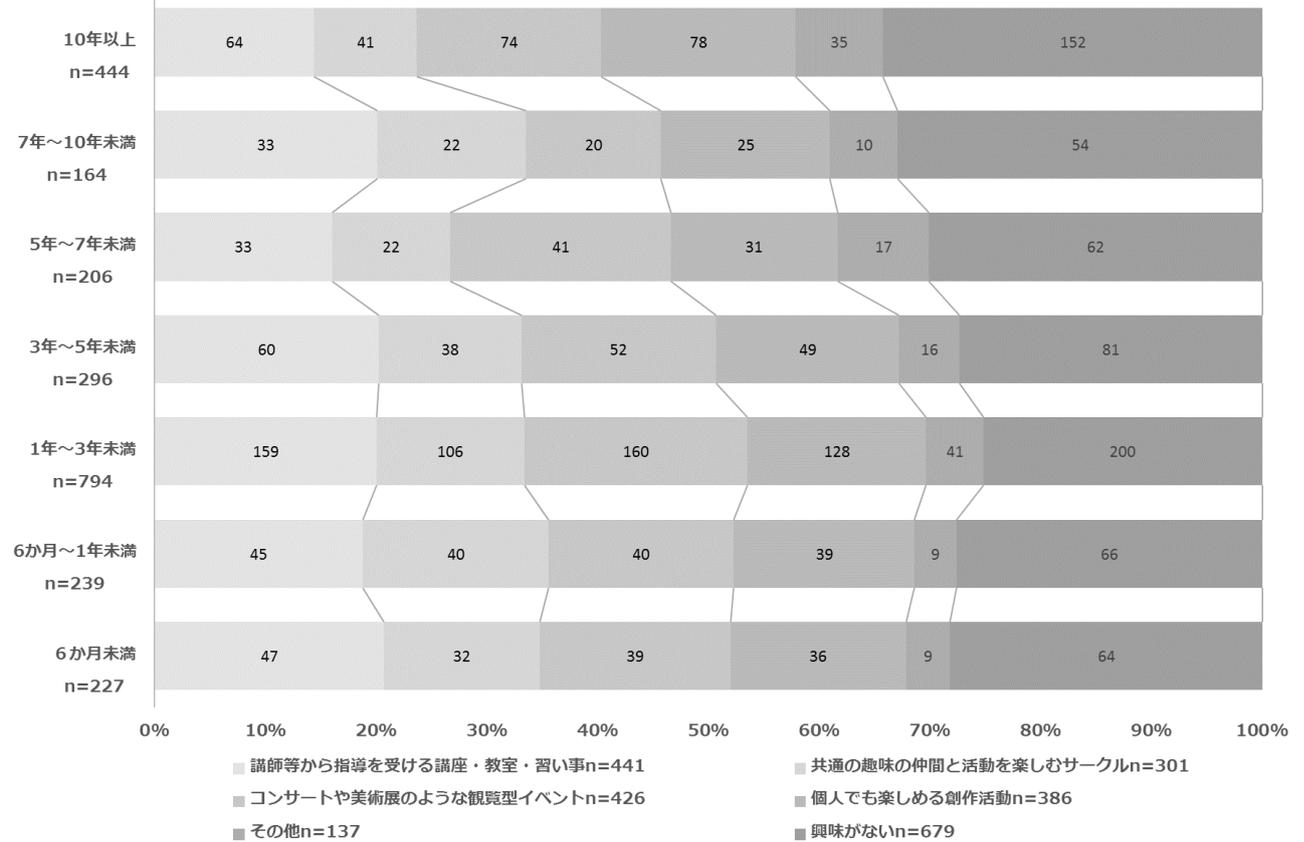
・最も多い回答は「興味がない」であった。

NO	項目	郵送調査	訪問調査	回答数	割合
1	講師等から指導を受ける講座・教室・習い事	398	48	446	22%
2	共通の趣味の仲間と活動を楽しむサークル	287	27	314	16%
3	コンサートや美術展のような観覧型イベント	382	61	443	22%
4	個人でも楽しめる創作活動	353	38	391	20%
5	その他	127	14	141	7%
6	興味がない	626	77	703	35%
回答者数		2,173	265	1,993	



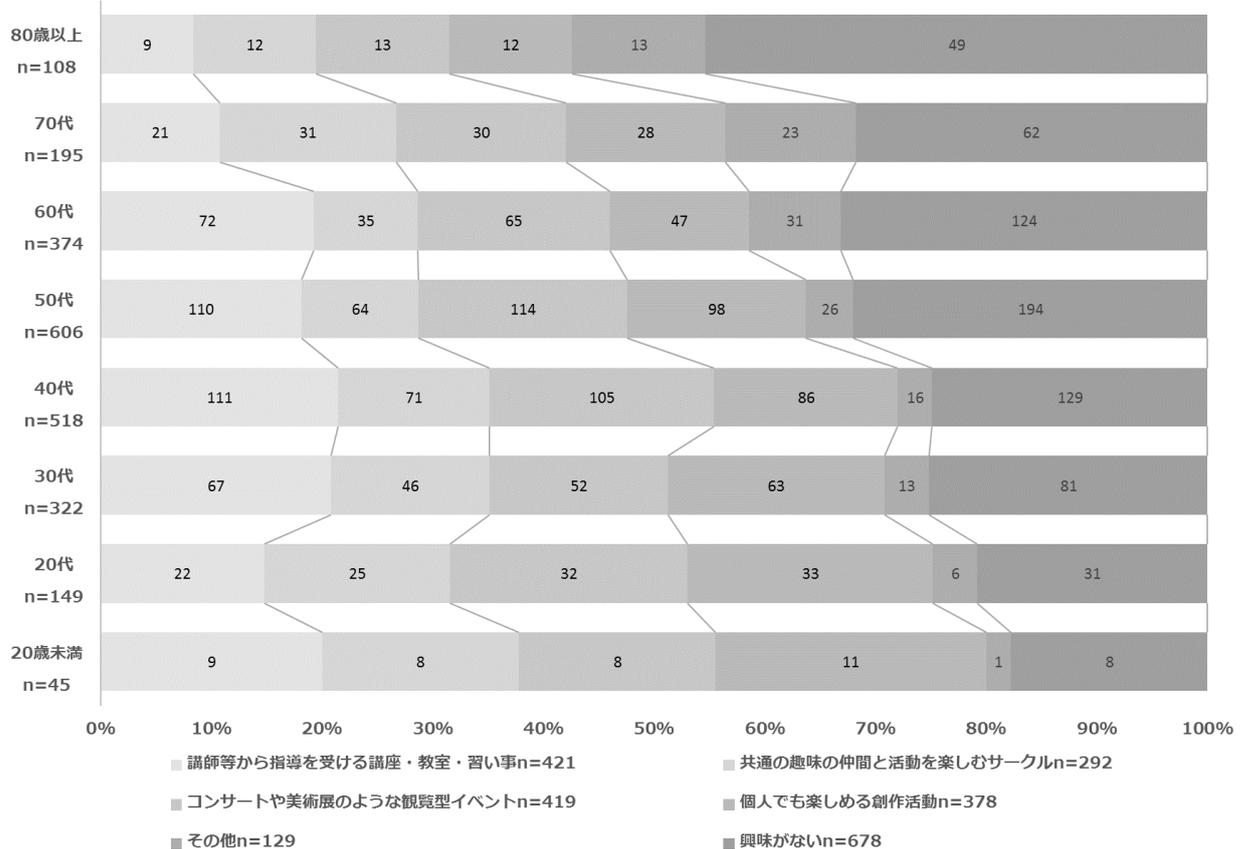
8-2 【クロス集計】「興味ある文化活動」と「期間」

・ひきこもり期間が長くなるにつれて「興味がない」の割合が高くなる傾向にある。



8-3 【クロス集計】「興味ある文化活動」と「年齢」

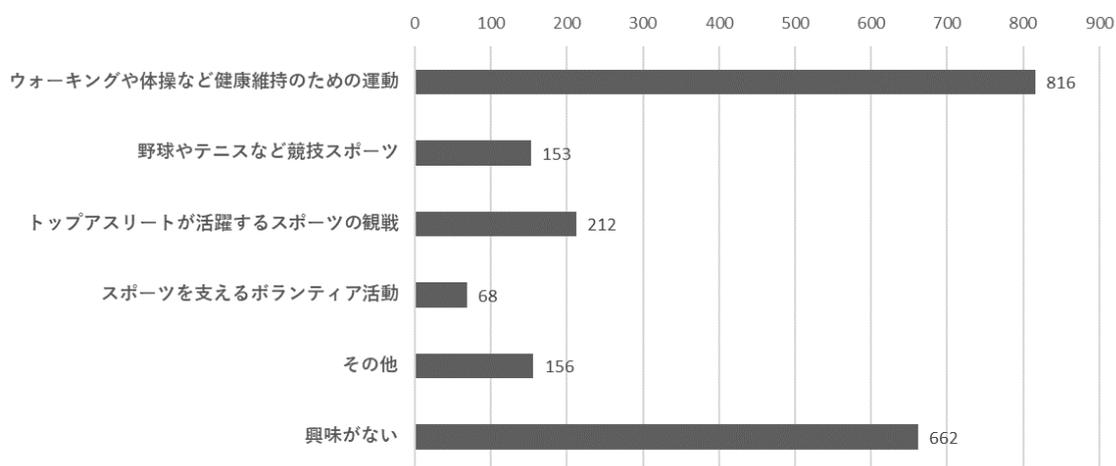
・年齢が高くなるにつれて「興味がない」の割合が高くなり、各文化活動の興味も年齢が高くなるにつれて減少傾向にある。



9-1 ひきこもり当事者の興味あるスポーツ活動

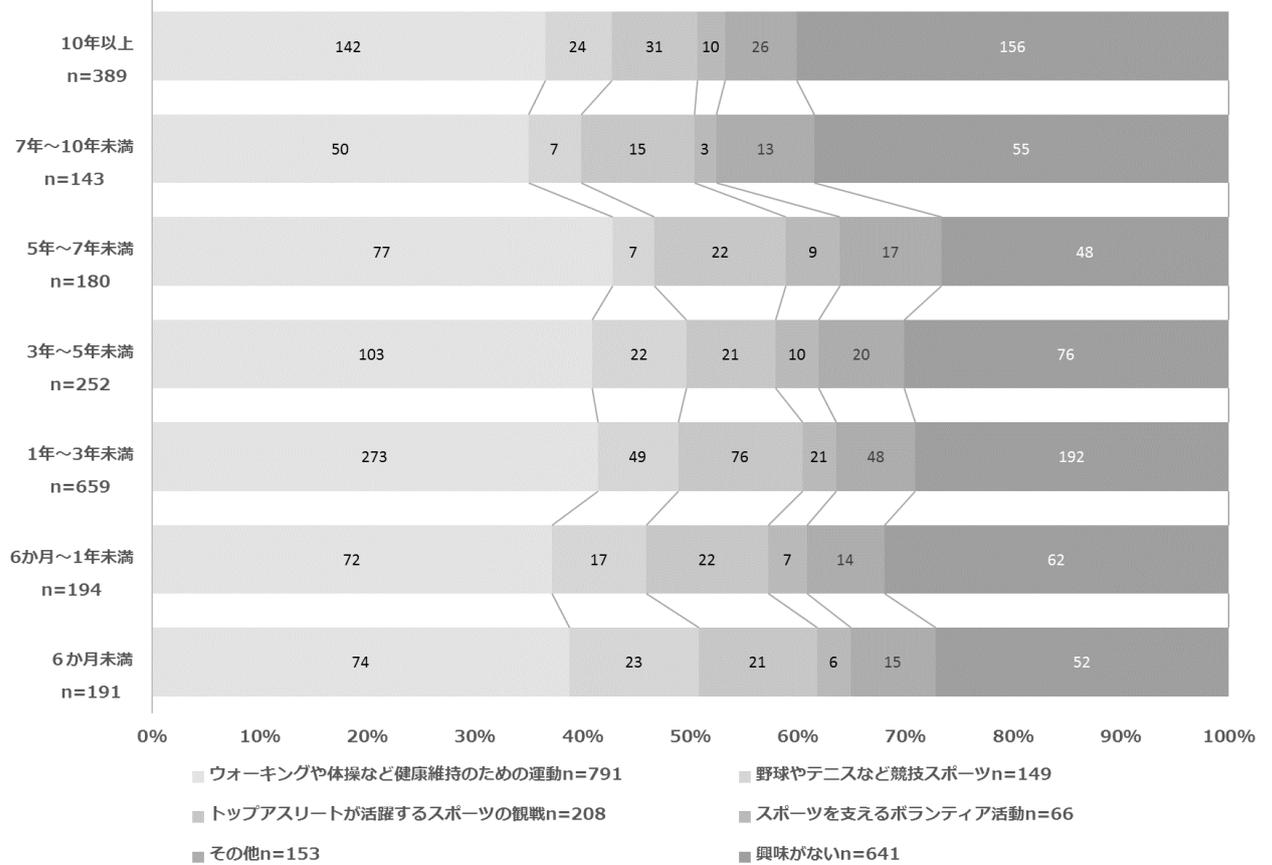
- ひきこもり当事者の41%はウォーキングや体操など健康維持に興味を持ち、健康管理に興味があることがうかがえる。

NO	項目	郵送調査	訪問調査	回答数	割合
1	ウォーキングや体操など健康維持のための運動	741	75	816	41%
2	野球やテニスなど競技スポーツ	143	10	153	8%
3	トップアスリートが活躍するスポーツの観戦	188	24	212	11%
4	スポーツを支えるボランティア活動	62	6	68	3%
5	その他	141	15	156	8%
6	興味がない	583	79	662	33%
回答者数		1,858	209	1,993	



9-2 【クロス集計】「興味あるスポーツ活動」と「期間」

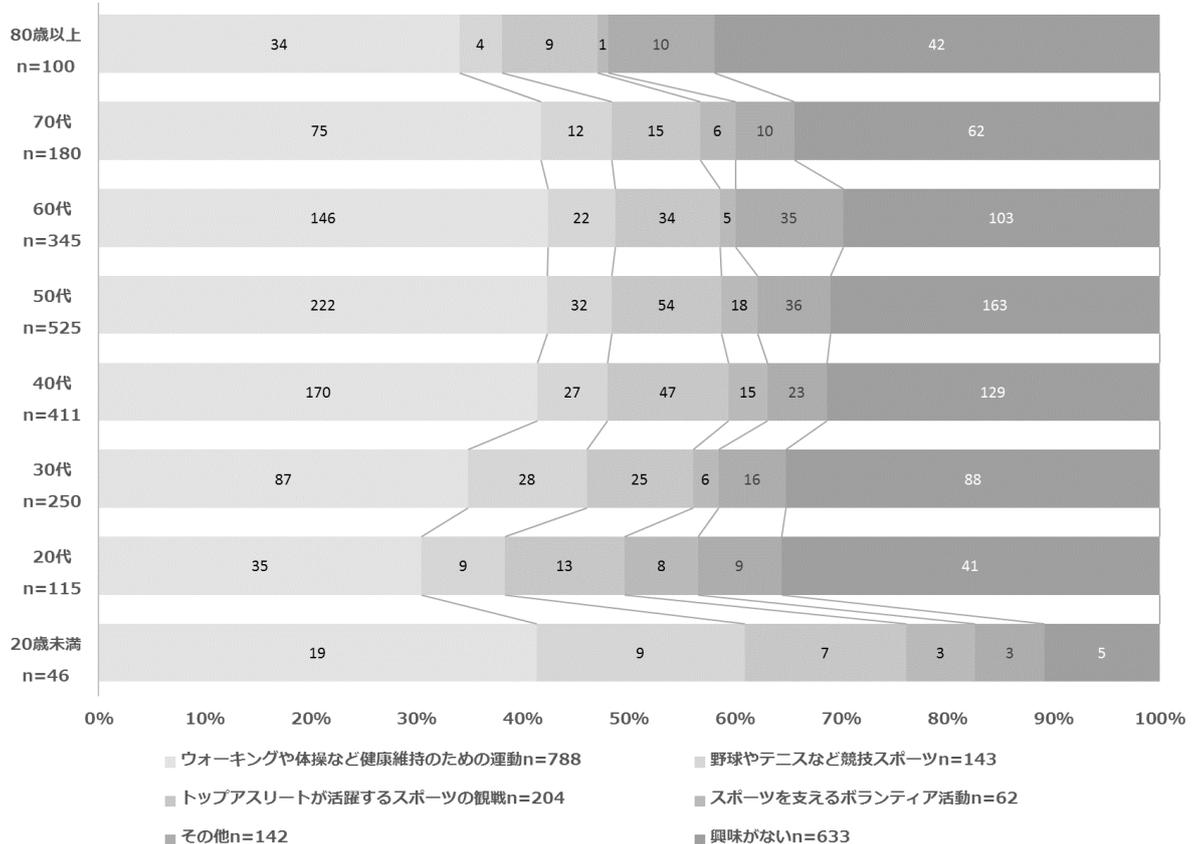
・ひきこもり期間に関係なく「ウォーキングや体操など健康維持のための運動」が多くの割合を占める。



9-3 【クロス集計】「興味あるスポーツ活動」と「年齢」

・ひきこもり期間に関係なく「ウォーキングや体操など健康維持のための運動」が多くの割合を占める。

・年齢が低いと「興味がない」の割合は低く、健康への不安感がないことがうかがえる。



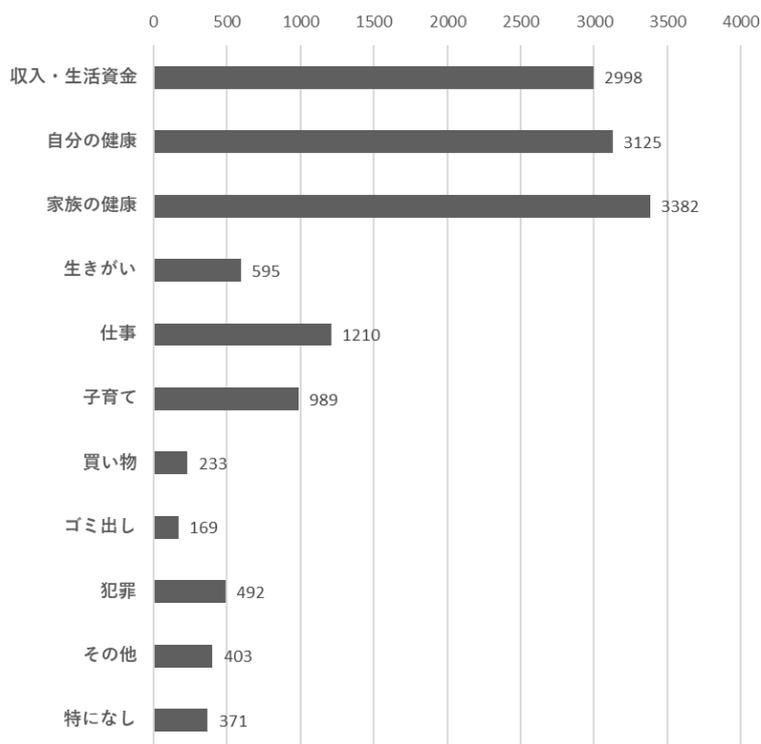
第4節 ひきこもり当事者の家族の声

本調査の中から、家族の回答のみを抜粋し、家族の声に耳をかたむける

1-1 日常生活での不安

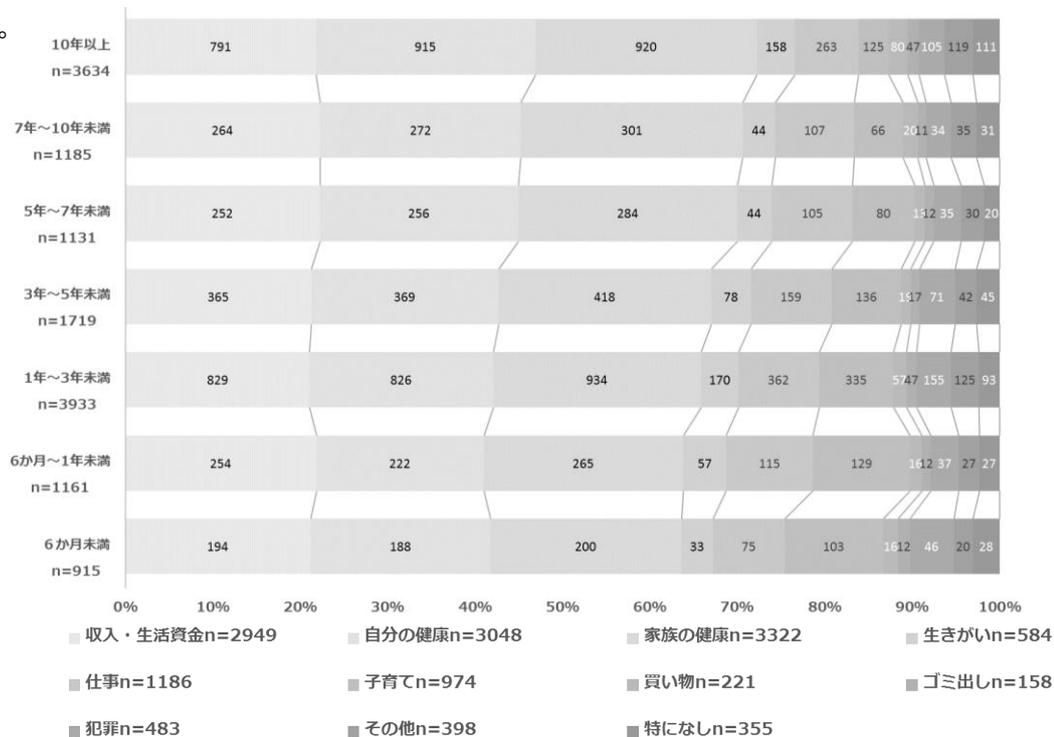
- 家族の最大の不安要素は「家族（ひきこもり当事者）の健康」であり、ひきこもり当事者の健康を不安視することがうかがえる。
- 次に「自分（ひきこもり当事者の家族）の健康」「収入・生活資金」の順番であった。

NO	項目	郵送調査	訪問調査	回答数	割合
1	収入・生活資金	2,677	321	2,998	53%
2	自分の健康	2,790	335	3,125	56%
3	家族の健康	3,025	357	3,382	60%
4	生きがい	534	61	595	11%
5	仕事	1,082	128	1,210	22%
6	子育て	861	128	989	18%
7	買い物	212	21	233	4%
8	ゴミ出し	149	20	169	3%
9	犯罪	442	50	492	9%
10	その他	353	50	403	7%
11	特になし	313	58	371	7%
回答者数		12,438	1,529	5,611	



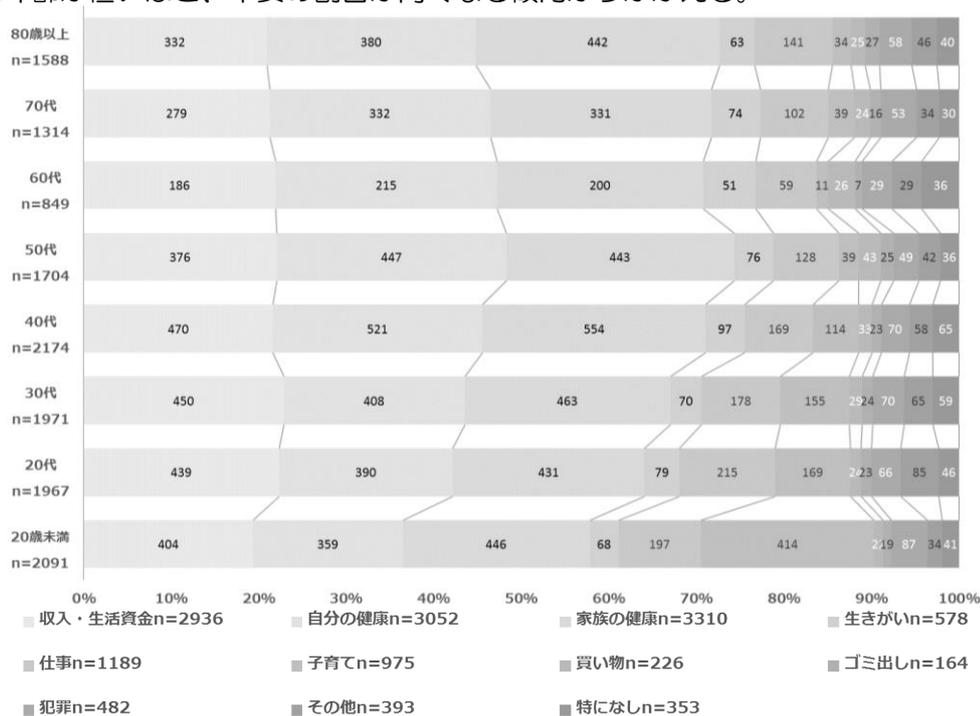
1-2 【クロス集計】「日常生活の不安」と「期間」

- ひきこもり期間に関係なく「収入・生活資金」「自分（ひきこもり当事者の家族）の健康」「家族（ひきこもり当事者）の健康」が多くの割合を占める。
- ひきこもり期間が長くなるにつれて「家族（ひきこもり当事者）の健康」の割合が多くなる傾向がうかがえる。



1-3 【クロス集計】「日常生活の不安」と「当事者の年齢」

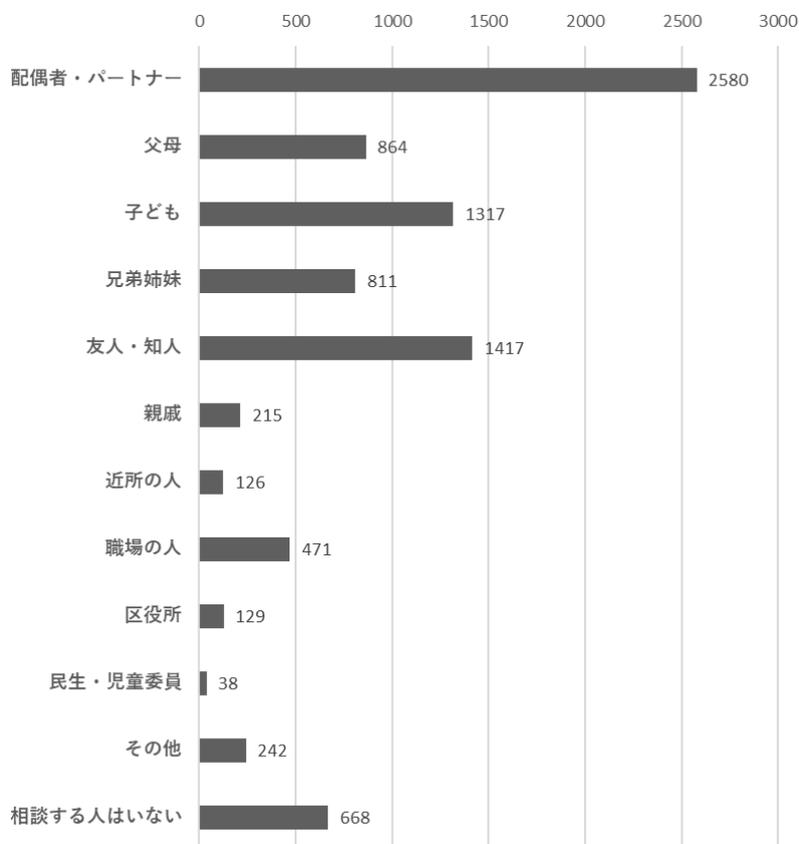
- 当事者の年齢に関係なく「収入・生活資金」「自分（ひきこもり当事者の家族）の健康」「家族（ひきこもり当事者）の健康」が多くの割合を占める。
- 当事者の年齢が高くなるにつれて「家族（ひきこもり当事者）の健康」の割合が多くなる傾向がうかがえる。
- 「子育て」は年齢が低いほど、不安の割合が高くなる傾向がうかがえる。



2-1 相談相手

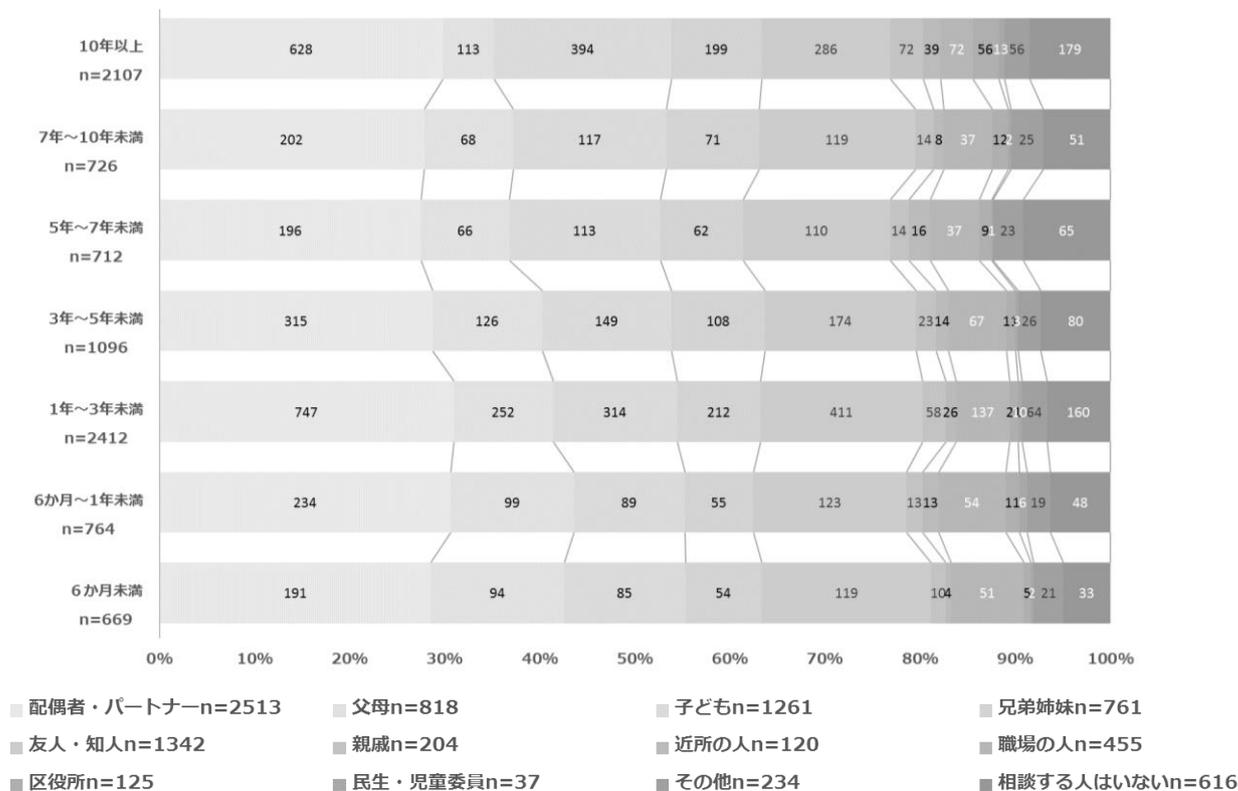
- ・「配偶者・パートナー」が46%で最も多い。
- ・「区役所」「民生・児童委員」の公的機関への相談は3%であった。

NO	項目	郵送調査	訪問調査	回答数	割合
1	配偶者・パートナー	2,273	307	2,580	46%
2	父母	745	119	864	15%
3	子ども	1,173	144	1,317	23%
4	兄弟姉妹	706	105	811	14%
5	友人・知人	1,234	183	1,417	25%
6	親戚	189	26	215	4%
7	近所の人	113	13	126	2%
8	職場の人	407	64	471	8%
9	区役所	119	10	129	2%
10	民生・児童委員	35	3	38	1%
11	その他	213	29	242	4%
12	相談する人はいない	598	70	668	12%
回答者数		7,805	1,073	5,611	



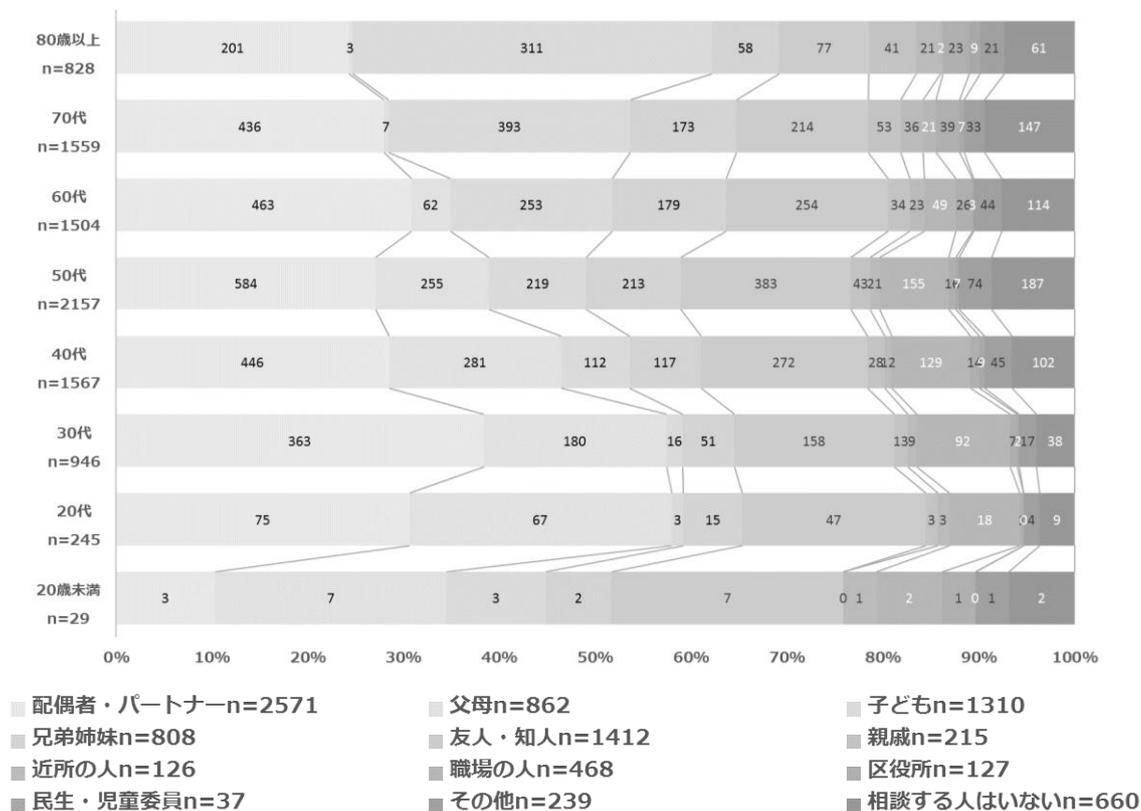
2-2 【クロス集計】「相談相手」と「期間」

- ひきこもり期間に関係なく「配偶者・パートナー」が多くの割合を占める。
- ひきこもり期間に関係なく相談相手の割合は変わらない。



2-3 【クロス集計】「相談相手」と「家族の年齢」

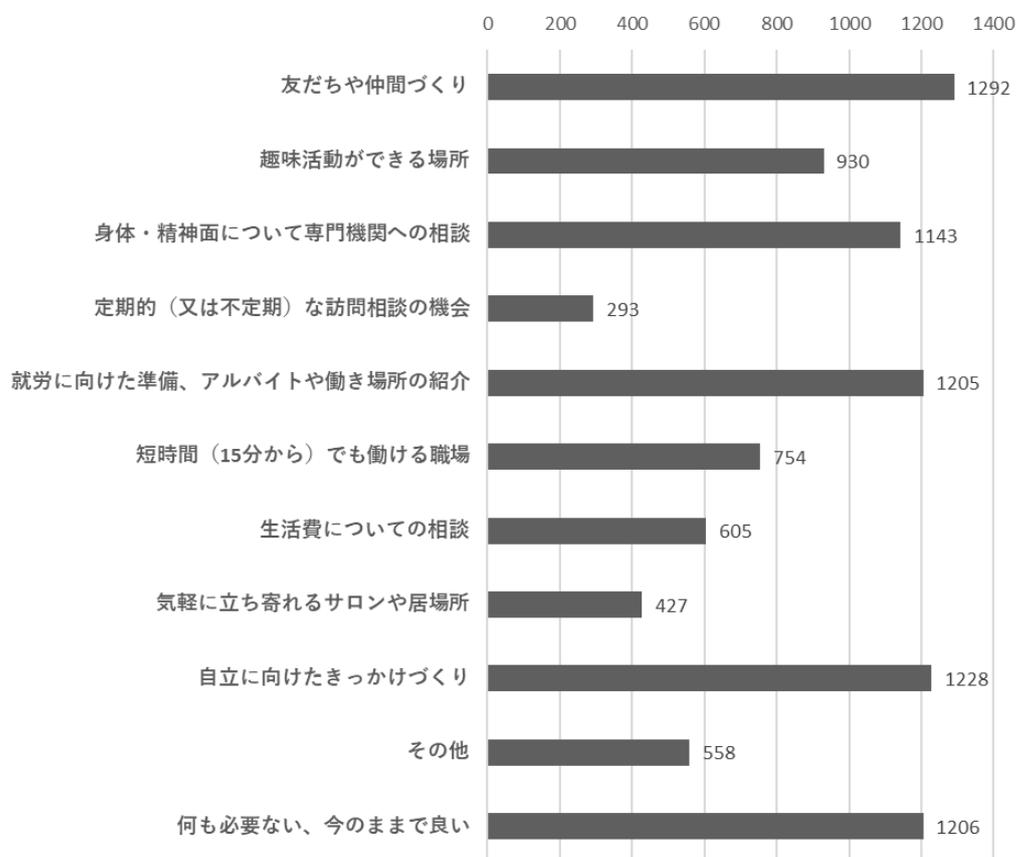
- 家族の相談相手には「兄弟姉妹」「友人・知人」が一定数含まれる。
- 20歳未満については「友人・知人」が相談相手として多くの割合を占めることがうかがえる。



3-1 ひきこもり当事者に必要と考えるもの

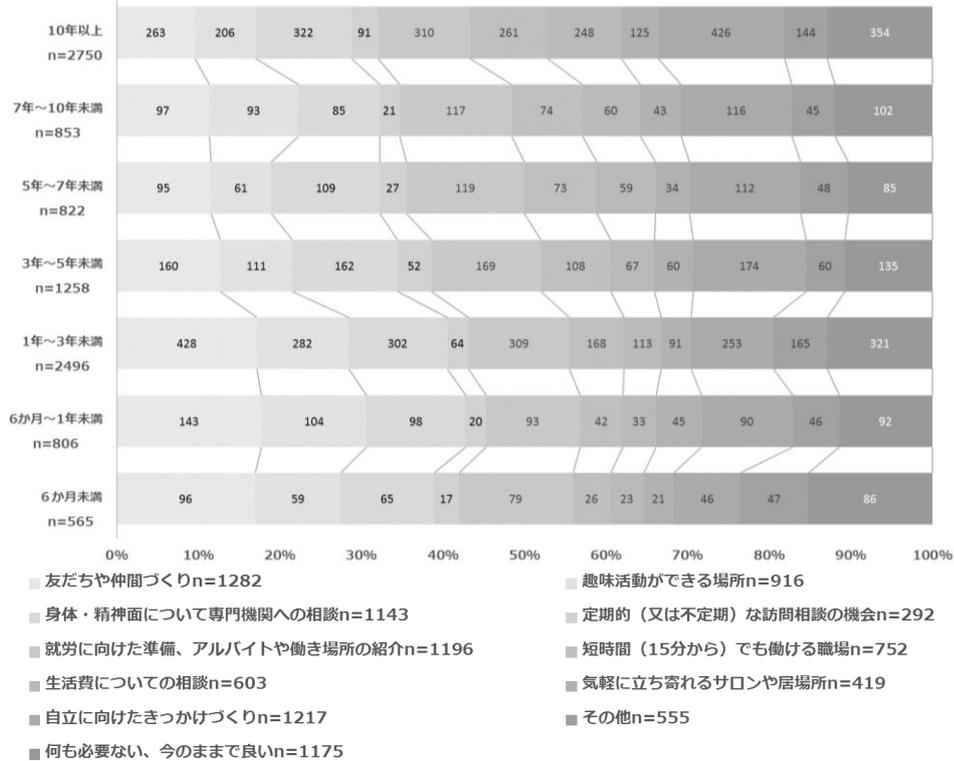
- ・最も必要と考えるものは、「就労に向けた準備、アルバイトや働き場所の紹介」「短時間（15分から）でも働ける職場」の就労に関する回答で、合わせて35%であった。

NO	項目	郵送調査	訪問調査	回答数	割合
1	友だちや仲間づくり	1,119	173	1,292	23%
2	趣味活動ができる場所	801	129	930	17%
3	身体・精神面について専門機関への相談	1,000	143	1,143	20%
4	定期的（又は不定期）な訪問相談の機会	252	41	293	5%
5	就労に向けた準備、アルバイトや働き場所の紹介	1,070	135	1,205	21%
6	短時間（15分から）でも働ける職場	681	73	754	13%
7	生活費についての相談	549	56	605	11%
8	気軽に立ち寄れるサロンや居場所	381	46	427	8%
9	自立に向けたきっかけづくり	1,105	123	1,228	22%
10	その他	506	52	558	10%
11	何も必要ない、今のままで良い	1,059	147	1,206	21%
回答者数		8,523	1,118	5,611	



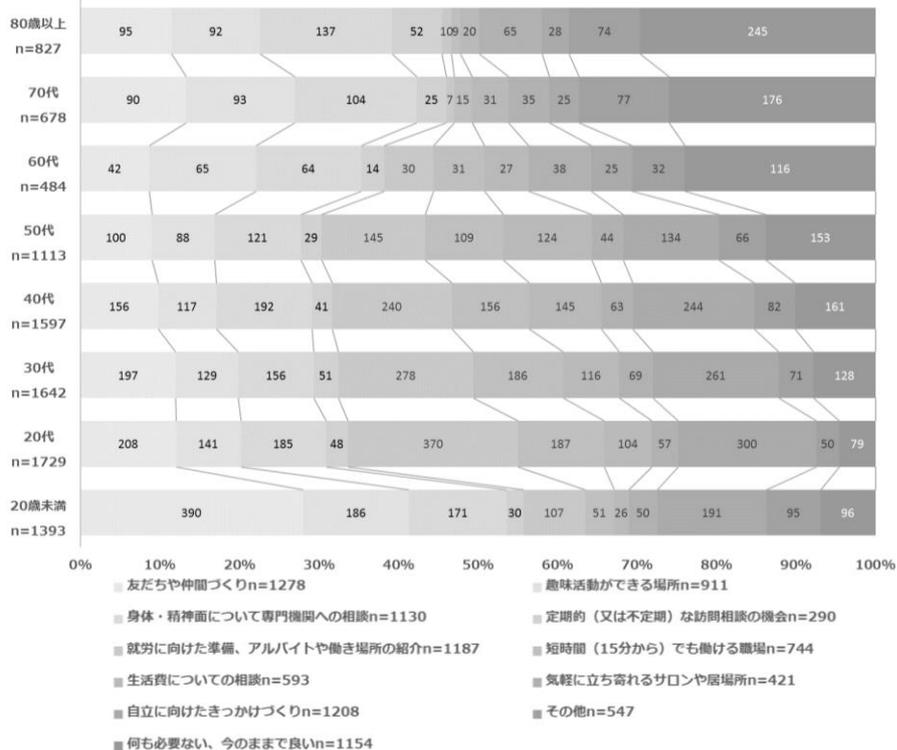
3-2 【クロス集計】「当事者に必要と考えるもの」と「期間」

- ひきこもり期間に関係なく「就労に向けた準備、アルバイトや働き場所の紹介」、「短時間（15分から）でも働ける職場が多く」の割合を占める。
- 友だちや仲間づくりはひきこもり年数が多くなるほど減少する傾向がうかがえる。



3-3 【クロス集計】「当事者に必要と考えるもの」と「当事者の年齢」

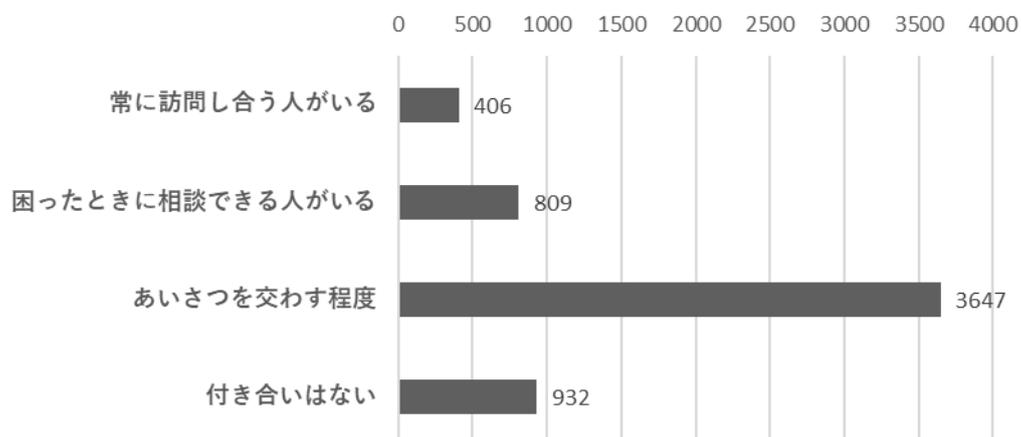
- 「何も必要ない、今のままでよい」は年数が増えるにつれ増加傾向にある。
- 当事者の年齢に関係なく「就労に向けた準備、アルバイトや働き場所の紹介」、「短時間（15分から）でも働ける職場が多く」の割合を占める。
- 当事者の年齢が若いほど「自立に向けたきっかけづくり」の割合が高く、家族は自立に向けたきっかけを探している。



4-1 家族の近所付き合い

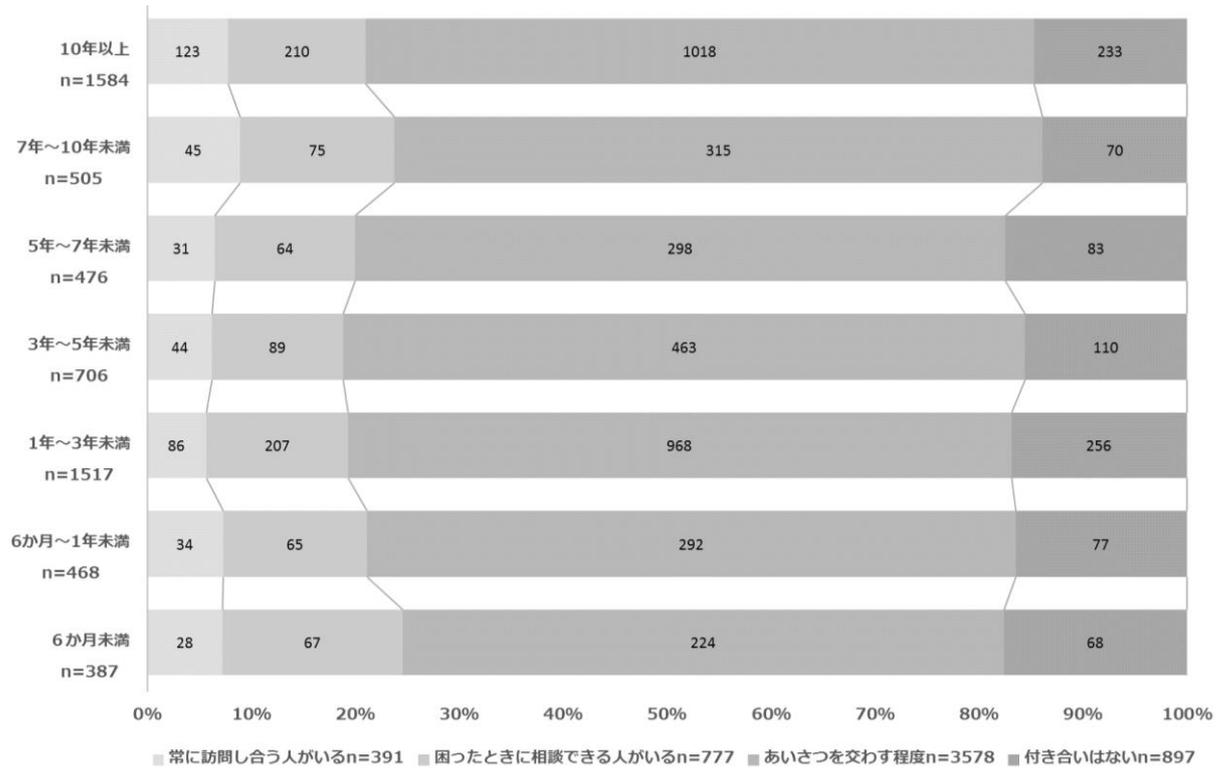
- ・「あいさつを交わす程度」が65%で最多であった。
- ・「常に訪問し合う人がある」は7%と最小であった。

NO	項目	郵送調査	訪問調査	回答数	割合
1	常に訪問し合う人がある	359	47	406	7%
2	困ったときに相談できる人がある	711	98	809	14%
3	あいさつを交わす程度	3,227	420	3,647	65%
4	付き合いはない	823	109	932	17%
回答者数		5,120	674	5,611	



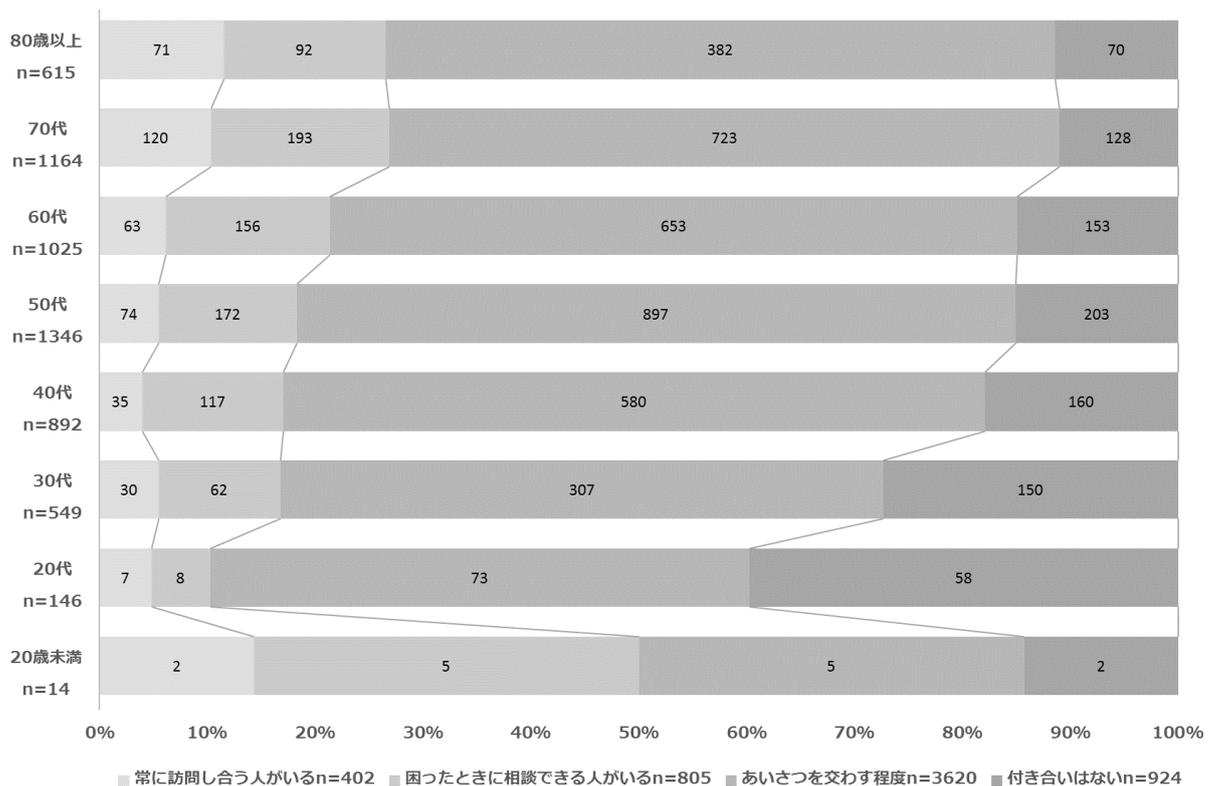
4-2 【クロス集計】「近所付き合い」と「期間」

- ひきこもり期間に関係なく近所付き合いの割合は変わらない。



4-3 【クロス集計】「近所付き合い」と「家族の年齢」

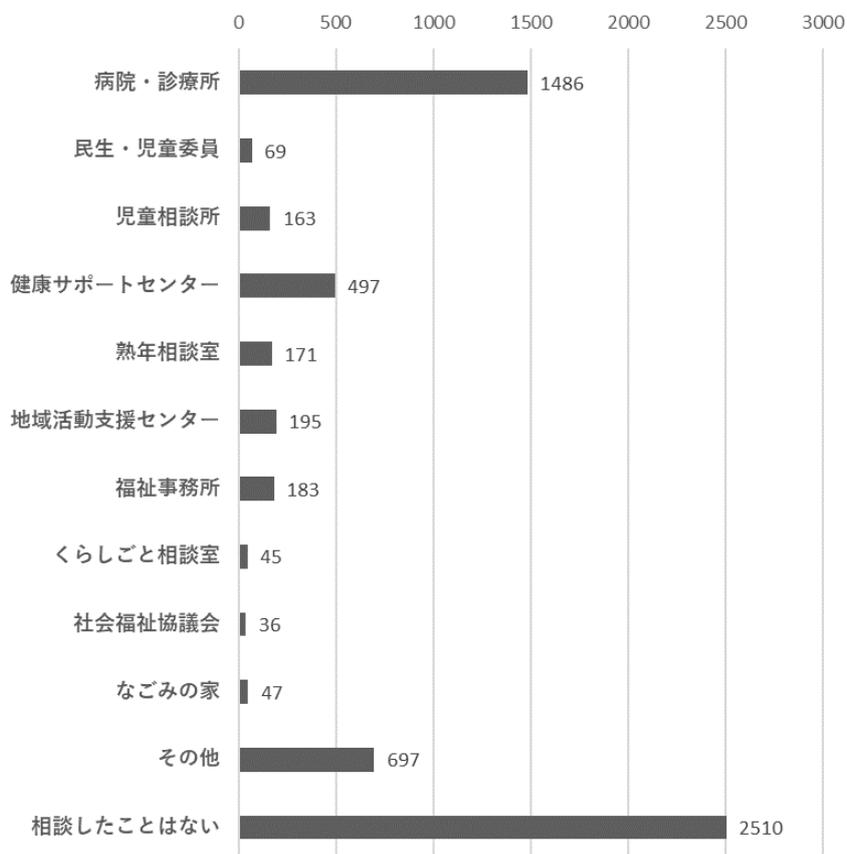
- 家族の年齢が若いほど、「付き合いはない」の割合が高くなる。
- 家族の年齢が高いほど、「困ったときに相談できる人がいる」の割合が高くなる。



5-1 家族が相談した場所

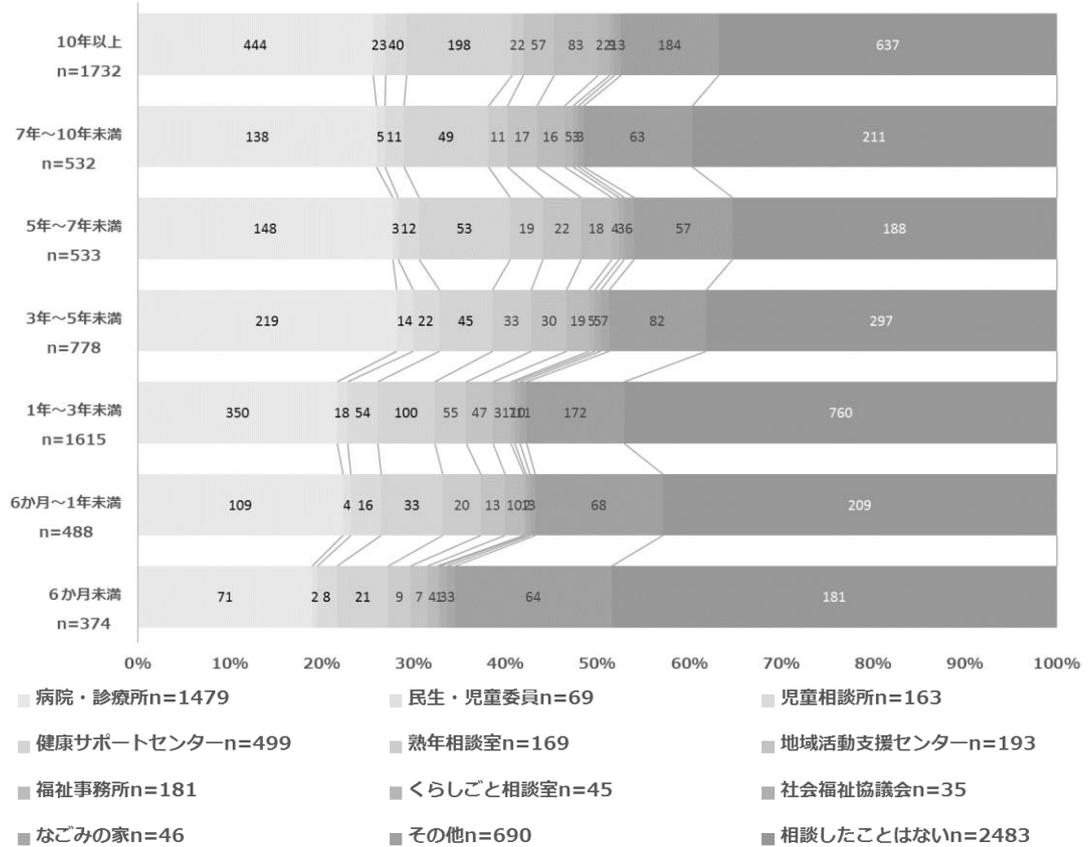
- ・「相談したことがない」が45%で最多であった。
- ・次に「病院・診療所」が26%と2番目に高かった。

NO	項目	郵送調査	訪問調査	回答数	割合
1	病院・診療所	1,315	171	1,486	26%
2	民生・児童委員	61	8	69	1%
3	児童相談所	144	19	163	3%
4	健康サポートセンター	450	47	497	9%
5	熟年相談室	148	23	171	3%
6	地域活動支援センター	181	14	195	3%
7	福祉事務所	165	18	183	3%
8	くらしごと相談室	39	6	45	1%
9	社会福祉協議会	35	1	36	1%
10	なごみの家	47	0	47	1%
11	その他	600	97	697	12%
12	相談したことはない	2,224	286	2,510	45%
回答者数		5,409	690	5,611	



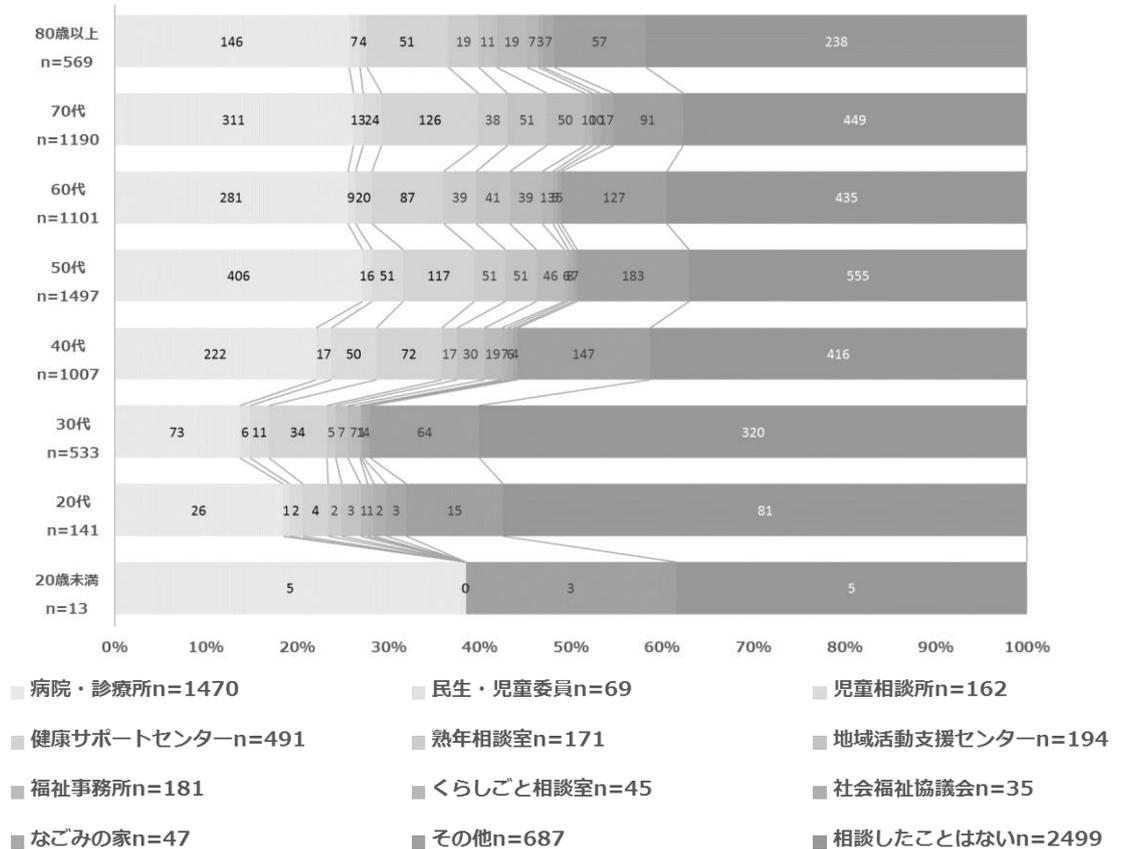
5-2 【クロス集計】「相談した場所」と「期間」

・ひきこもり期間に関係なく「相談したことはない」が最多であった。



5-3 【クロス集計】「相談した場所」と「家族の年齢」

・家族の年齢に関係なく、「相談したことはない」が最多であった。



第5節 「ひきこもり当事者」「家族」の違い

1 日常生活の不安(P.20、P.38)

ひきこもり当事者の最大の日常生活の不安は「**自分の健康**」次に「収入・生活資金」であった。

家族の最大の不安は「**家族（ひきこもり当事者）の健康**」、次に「**自分（ひきこもり当事者の家族）の健康**」であった。

ひきこもり当事者は自分の健康と収入に不安を抱えているが、**家族の最大の不安要素**は「**家族（ひきこもり当事者）の健康**」であり、**ひきこもり当事者の健康状態**を不安に感じていることがうかがえる。また、**ひきこもり当事者は「収入・生活資金」を不安に感じているが、家族は「自分（ひきこもり当事者の家族）の健康」を不安視しており、ひきこもり当事者を支える家族自身が病に陥った時等の不安を抱いている**ことがうかがえる。

2 求めているもの(P.22、P.42)

ひきこもり当事者が求めているもので1番多いのが「**就労に関するもの**」であり、2番目に「**何も必要ない、今のままで良い**」3番目に「**身体・精神面について専門機関への相談**」の順番であった。

家族がひきこもり当事者に求めているもので1番多いのが「**就労に関するもの**」であり、2番目に「**友達や仲間づくり**」3番目に「**自立に向けたきっかけづくり**」の順番であった。

ひきこもり当事者および家族が一番求めているものは「就労に関するもの」と変わりはないが、2番目にひきこもり当事者は「何も必要ない、今のままで良い」と変化を求めていないが、家族は2番目に「友達や仲間づくり」が多く、ひきこもり当事者の孤独を不安視している。

また、**当事者は3番目に「身体・精神面について専門機関への相談」と明確に医療機関の受診を求めている声が多いが、家族は3番目に「自立に向けたきっかけづくり」と当事者の自立を望んでいる声が多く、危機感を家族の方が強く感じていることがうかがえる。**

3 相談相手(P.24、P.40)

ひきこもり当事者は「**配偶者・パートナー**」「**相談する人はいない**」「**父母**」の順番であったが、家族は「**配偶者・パートナー**」「**友人・知人**」「**子ども**」の順番であった。

ひきこもり当事者・家族ともに一番の相談相手は「配偶者・パートナー」であったが、ひきこもり当事者は次に「相談する人はいない」が多い結果であった。ひきこもり当事者は誰にも相談できずに一人で苦しんでいる状況がうかがえる。

家族は「友人・知人」が2番目に多く、親族以外にひきこもりについて相談をしていることがうかがえる。

4 相談した場所(P.26、P.46)

ひきこもり当事者の約62%が「**相談したことはない**」に対して、**家族の約55%はどこかに相談した結果が分かった。当事者の知らないところで家族が相談しに行ったことがある経験があることがうかがえる。**

第6節 まとめ

本調査は、18万余の世帯を対象にし、10万余の世帯から回答があり、回答率は、57.1%にのぼる。多くの方のご協力により、区内に9,096人（P.6参照）のひきこもり当事者を把握することができた。調査結果を掛け合わせて集計することにより、ひきこもり当事者や家族の状況について考察した。これらを基に、本区におけるひきこもりに関する施策を展開するあたり調査により得られた課題を記載する。

1 ひきこもり「きっかけ」と「困りごと」の相関関係(P.14～P.18)

ひきこもり状態となった方の74%はきっかけが1個以下であるが、一度ひきこもり状態になってからの困りごとは2個以上が76%であった。**ひきこもりきっかけは少なくとも、一度ひきこもり状態になると困りごとは複数抱える**可能性が高くなる。

困りごとが多ければ、ひきこもり状態にある中での解決には困難が多く、ひきこもり状態から脱却するまでにさらに時間がかかってしまう。ひきこもり状態からの早期解決は、ひきこもりになる原因を抱えないことまたは**ひきこもり状態の初期の段階で解決に向かう手段を持つ必要がある**ことがわかった。

2 繋がりを続けること及び重層的支援の大切さ(P.16～P.28)

ひきこもり当事者・家族は現在の状態からの回復を願い案じている。誰か一人でも声を聞いてくれる人がいることでその解決の糸口が開かれていく可能性が高くなる。**ひきこもり支援は、それぞれの立場ができる範囲で緩やかに繋がりを続け、そして必要があればタイミングよく救いの手を差し伸べることでできる信頼関係を地域社会全体で一緒に築き上げていくことが必要**である。まずは、繋がること、関わりを持つこと、である。

そして、「繋がること」は当事者・家族が何を求めているのか、心の負担になっていることは何か、気持ちを吐き出すタイミングや繋がり先との心の距離感も重要である。**ここで必要なのは、一つだけの選択肢ではなく、複数の可能性を探ること**。いろいろな角度から関わられる機関があれば、繋がり先を多く持つことができる。一つの間人間関係でうまくいかないことがあっても、他の関わりで自分の気持ちが救われることを自然と身に着けていくことができる。さまざまな社会資源を活用し多くの場へと繋がる重層的な支援で関わること、である。

3 未回答者の実態がわからない(P.4～P.5)

今回の調査の結果、未回答数は77,307件、未回答率42.83%であった。

この中に、回答に興味がなく「ひきこもり」という概念自体を意識していない層、ひきこもりかもしれないが放っておいて欲しいから回答しない層、ひきこもり状態が重度で回答すらできない層が含まれていることが想定される。問題は、本当に支援が必要な状態であるにも関わらず、手を挙げられない人が含まれている可能性があることである。

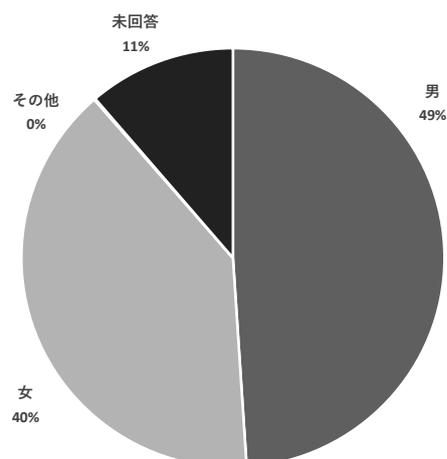
ここで見てくるのは、区のサービスも給与所得による課税も受けている人が誰一人としていない世帯が単身世帯では28,891世帯、複数世帯では6,743世帯あった。世帯の誰かが社会との繋がりを持っていれば、そこからSOSを発する手段を持つ可能性があるが、**社会と全く関わりを持つ人が誰もいない世帯はSOSを発する手段を持っていない可能性がある**。この35,634世帯に対し、**何らかの接点を持つ必要がある**。

第3章 資料編

第1節 調査回答総数

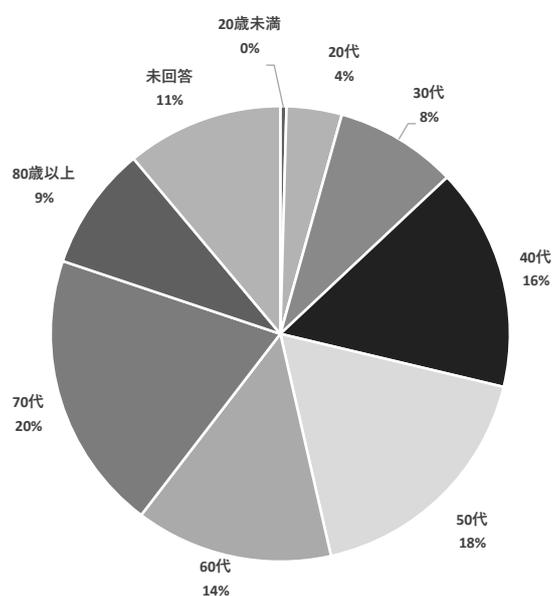
Q1. あなたの性別を教えてください

NO	項目	郵送調査	訪問調査	回答数	割合
1	男	44,148	6,383	50,531	49.0%
2	女	35,010	5,912	40,922	39.7%
3	その他	61	37	98	0.1%
4	未回答	918	10,727	11,645	11.3%
合計		80,137	23,059	103,196	100.0%



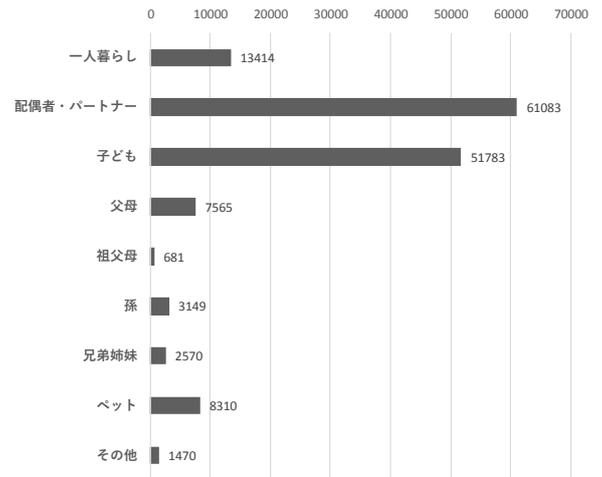
Q2. あなたの現在の年齢を教えてください

NO	項目	郵送調査	訪問調査	回答数	割合
1	20歳未満	362	83	445	0.4%
2	20代	3,026	990	4,016	3.9%
3	30代	7,275	1,616	8,891	8.6%
4	40代	13,363	2,948	16,311	15.8%
5	50代	15,228	3,049	18,277	17.7%
6	60代	12,772	1,574	14,346	13.9%
7	70代	18,975	1,483	20,458	19.8%
8	80歳以上	8,229	839	9,068	8.8%
9	未回答	907	10,477	11,384	11.0%
合計		80,137	23,059	103,196	100.0%



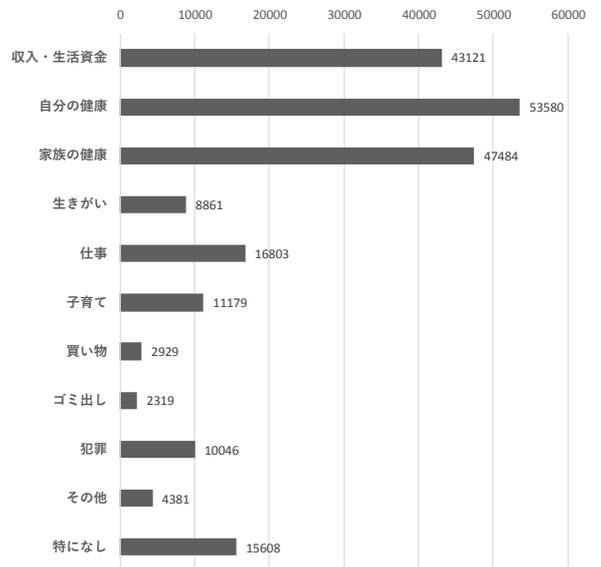
Q3. あなたは現在どなたと住んでおられますか（複数回答可）

NO	項目	郵送調査	訪問調査	回答数	割合
1	一人暮らし	11,752	1,662	13,414	13%
2	配偶者・パートナー	52,568	8,515	61,083	59%
3	子ども	44,055	7,728	51,783	50%
4	父母	6,412	1,153	7,565	7%
5	祖父母	576	105	681	1%
6	孫	2,822	327	3,149	3%
7	兄弟姉妹	2,200	370	2,570	2%
8	ペット	7,289	1,021	8,310	8%
9	その他	1,207	263	1,470	1%
回答者数		128,881	21,144	103,196	



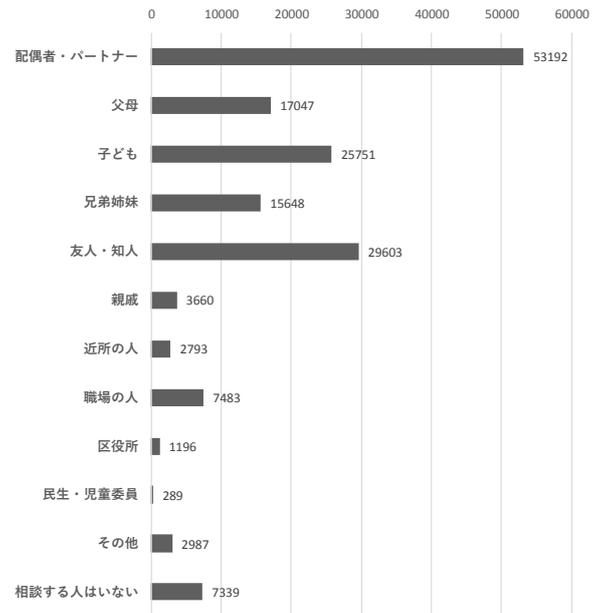
Q4. あなたが日常生活において不安に思っていることは何ですか（複数回答可）

NO	項目	郵送調査	訪問調査	回答数	割合
1	収入・生活資金	37,784	5,337	43,121	42%
2	自分の健康	47,918	5,662	53,580	52%
3	家族の健康	42,390	5,094	47,484	46%
4	生きがい	8,034	827	8,861	9%
5	仕事	14,644	2,159	16,803	16%
6	子育て	9,645	1,534	11,179	11%
7	買い物	2,639	290	2,929	3%
8	ゴミ出し	2,053	266	2,319	2%
9	犯罪	8,847	1,199	10,046	10%
10	その他	3,867	514	4,381	4%
11	特になし	12,059	3,549	15,608	15%
回答者数		189,880	26,431	103,196	



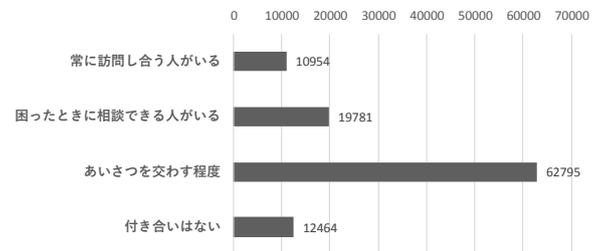
Q5. あなたは日常生活の心配ごとや悩みごとの相談を誰にしますか（複数回答可）

NO	項目	郵送調査	訪問調査	回答数	割合
1	配偶者・パートナー	45,660	7,532	53,192	52%
2	父母	13,799	3,248	17,047	17%
3	子ども	22,729	3,022	25,751	25%
4	兄弟姉妹	13,453	2,195	15,648	15%
5	友人・知人	25,058	4,545	29,603	29%
6	親戚	3,158	502	3,660	4%
7	近所の人	2,452	341	2,793	3%
8	職場の人	6,221	1,262	7,483	7%
9	区役所	1,079	117	1,196	1%
10	民生・児童委員	260	29	289	0%
11	その他	2,534	453	2,987	3%
12	相談する人はいない	6,507	832	7,339	7%
回答者数		142,910	24,078	103,196	



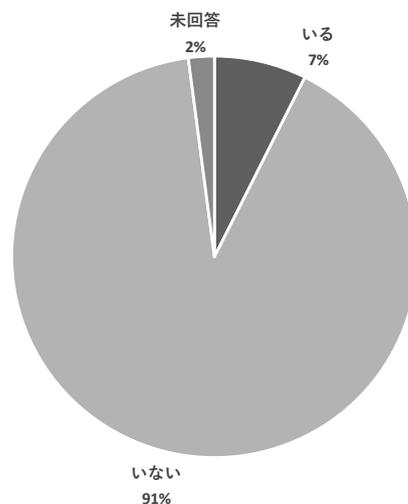
Q6. あなたのご近所のかたとの付き合い方の状況について、お聞きします（複数回答可）

NO	項目	郵送調査	訪問調査	回答数	割合
1	常に訪問し合う人がいる	9,534	1,420	10,954	11%
2	困ったときに相談できる人がいる	16,984	2,797	19,781	19%
3	あいさつを交わす程度	54,489	8,306	62,795	61%
4	付き合いはない	10,702	1,762	12,464	12%
回答者数		91,709	14,285	103,196	



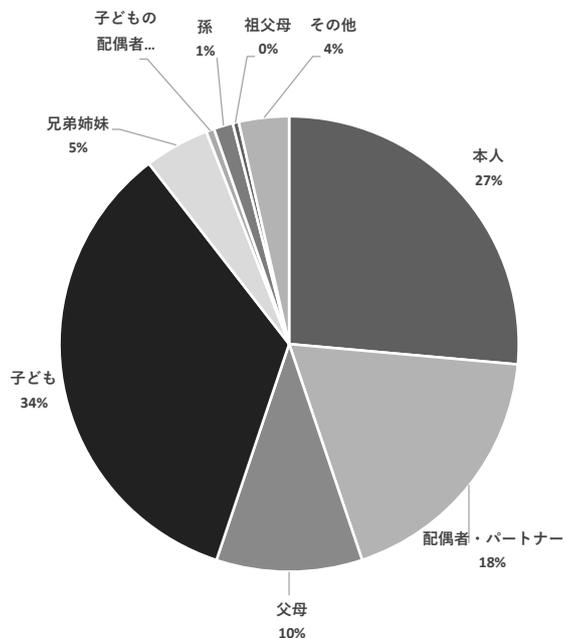
Q7. あなたのご家庭で仕事や学校等に行かず、家族以外の人との交流をほとんどしない方はいますか。

NO	項目	郵送調査	訪問調査	回答数	割合
1	いる	6,595	1,009	7,604	7.4%
2	いない	71,690	21,775	93,465	90.6%
3	未回答	1,852	275	2,127	2.1%
合計		80,137	23,059	103,196	100.0%



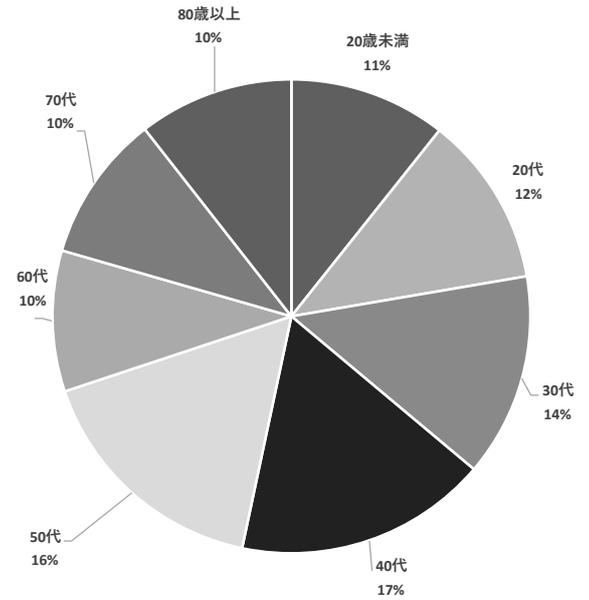
Q8. その方とあなたの続柄を教えてください。

NO	項目	郵送調査	訪問調査	回答数	割合
1	本人	1,785	208	1,993	26.4%
2	配偶者・パートナー	1,253	136	1,389	18.4%
3	父母	672	103	775	10.3%
4	子ども	2,294	302	2,596	34.4%
5	兄弟姉妹	305	40	345	4.6%
6	子どもの配偶者	40	3	43	0.6%
7	孫	97	5	102	1.4%
8	祖父母	30	2	32	0.4%
9	その他	236	30	266	3.5%
合計		6,712	829	7,541	100.0%



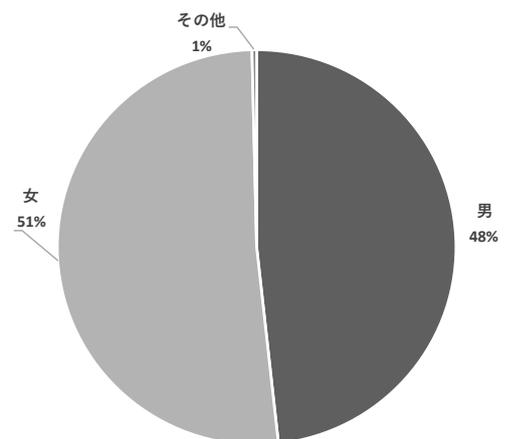
Q9. その方の年齢を教えてください。

NO	項目	郵送調査	訪問調査	回答数	割合
1	20歳未満	642	100	742	10.6%
2	20代	703	110	813	11.7%
3	30代	854	114	968	13.9%
4	40代	1,057	139	1,196	17.1%
5	50代	1,021	134	1,155	16.6%
6	60代	614	57	671	9.6%
7	70代	644	54	698	10.0%
8	80歳以上	652	81	733	10.5%
合計		6,187	789	6,976	100.0%



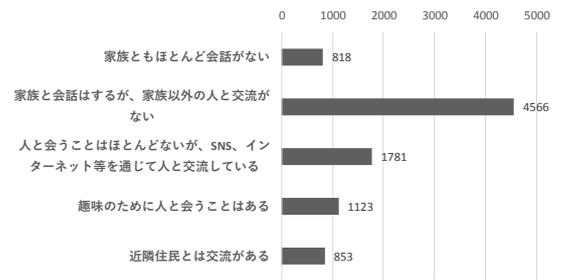
Q10. その方の性別を教えてください。

NO	項目	郵送調査	訪問調査	回答数	割合
1	男	3,098	363	3,461	48.3%
2	女	3,241	443	3,684	51.4%
3	その他	20	7	27	0.4%
合計		6,359	813	7,172	100.0%



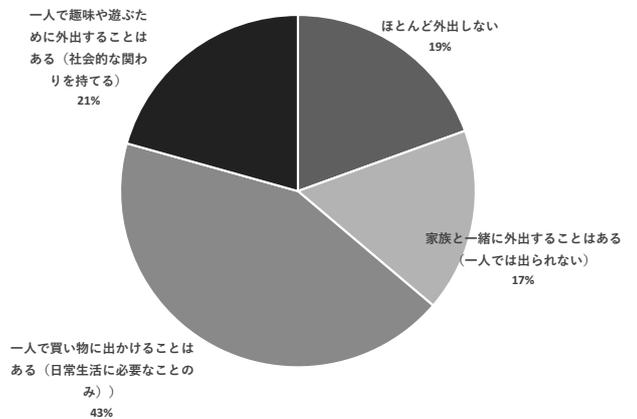
Q11. その方の交流の状況を教えてください。(複数回答可)

NO	項目	郵送調査	訪問調査	回答数	割合
1	家族ともほとんど会話がな	740	78	818	11%
2	家族と会話はするが、家族以外の人と交流がない	4,023	543	4,566	60%
3	人と会うことはほとんどないが、SNS、インターネット等を通じて人と交流している	1,549	232	1,781	23%
4	趣味のために人と会うことはある	983	140	1,123	15%
5	近隣住民とは交流がある	773	80	853	11%
回答者数		8,068	1,073	7,604	



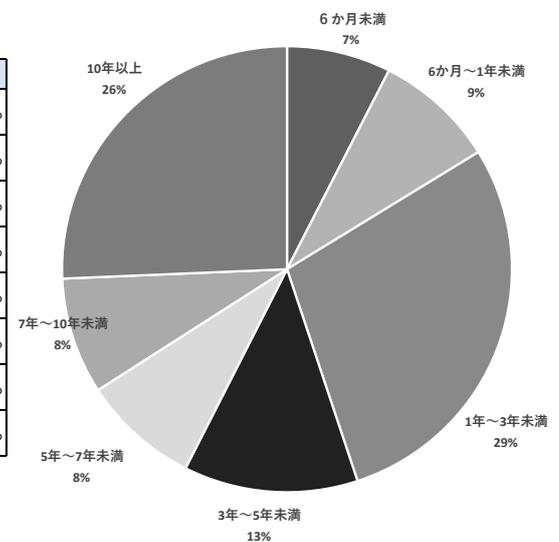
Q12. その方の外出の状況を教えてください。

NO	項目	郵送調査	訪問調査	回答数	割合
1	ほとんど外出しない	1,504	154	1,658	19.4%
2	家族と一緒に外出することはある(一人では出られない)	1,272	161	1,433	16.8%
3	一人で買い物に出かけることはある(日常生活に必要なことのみ)	3,273	404	3,677	43.1%
4	一人で趣味や遊ぶために外出することはある(社会的な関わりを持つ)	1,550	209	1,759	20.6%
合計		7,599	928	8,527	100.0%



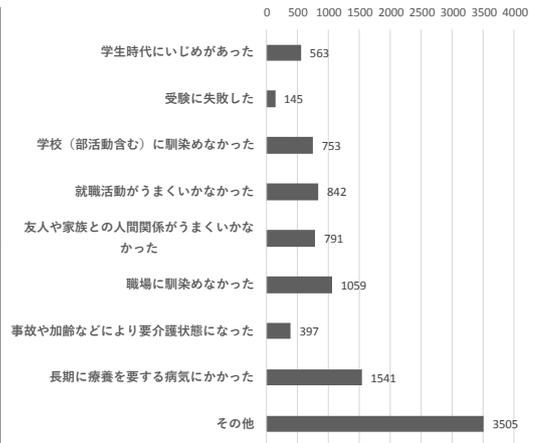
Q13. その方が現在の状況になって、どれくらい経ちますか

NO	項目	郵送調査	訪問調査	回答数	割合
1	6か月未満	458	67	525	7.5%
2	6か月～1年未満	543	67	610	8.7%
3	1年～3年未満	1,776	237	2,013	28.7%
4	3年～5年未満	776	102	878	12.5%
5	5年～7年未満	523	68	591	8.4%
6	7年～10年未満	511	81	592	8.4%
7	10年以上	1,615	184	1,799	25.7%
合計		6,202	806	7,008	100.0%



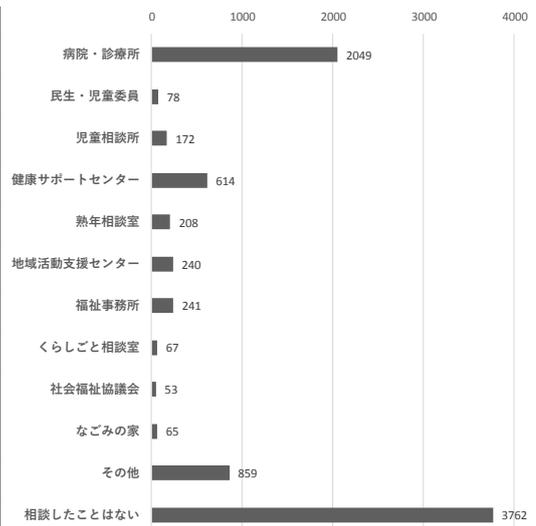
Q14. その方が現在の状況に至ったきっかけについて、お答えください（複数回答可）

NO	項目	郵送調査	訪問調査	回答数	割合
1	学生時代にいじめがあった	501	62	563	7%
2	受験に失敗した	131	14	145	2%
3	学校（部活動含む）に馴染めなかった	644	109	753	10%
4	就職活動がうまくいかなかった	752	90	842	11%
5	友人や家族との人間関係がうまくいかなかった	703	88	791	10%
6	職場に馴染めなかった	939	120	1,059	14%
7	事故や加齢などにより要介護状態になった	358	39	397	5%
8	長期に療養を要する病気にかかった	1,342	199	1,541	20%
9	その他	3,113	392	3,505	46%
回答者数		8,483	1,113	7,604	



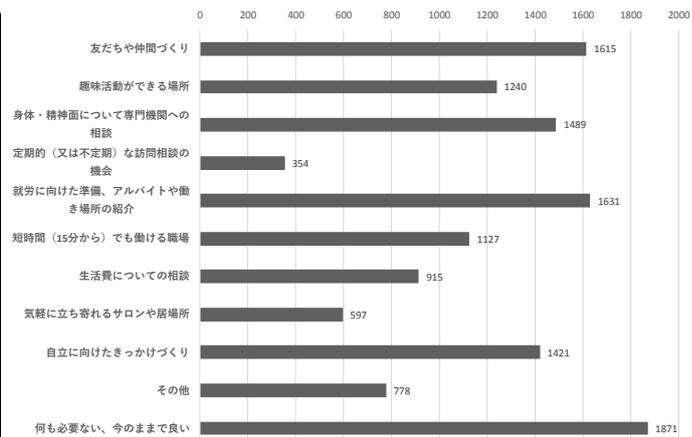
Q15. その方の状況について相談したことはありますか、またどこに相談しましたか（複数回答可）

NO	項目	郵送調査	訪問調査	回答数	割合
1	病院・診療所	1,814	235	2,049	27%
2	民生・児童委員	69	9	78	1%
3	児童相談所	153	19	172	2%
4	健康サポートセンター	552	62	614	8%
5	熟年相談室	181	27	208	3%
6	地域活動支援センター	223	17	240	3%
7	福祉事務所	217	24	241	3%
8	くらしごと相談室	59	8	67	1%
9	社会福祉協議会	49	4	53	1%
10	なごみの家	65	0	65	1%
11	その他	746	113	859	11%
12	相談したことはない	3,338	424	3,762	49%
回答者数		7,466	942	7,604	



Q16. その方にとって、これから必要と思われることはありますか（複数回答可）

NO	項目	郵送調査	訪問調査	回答数	割合
1	友だちや仲間づくり	1,410	205	1,615	21%
2	趣味活動ができる場所	1,082	158	1,240	16%
3	身体・精神面について専門機関への相談	1,308	181	1,489	20%
4	定期的（又は不定期）な訪問相談の機会	307	47	354	5%
5	就労に向けた準備、アルバイトや働き場所の紹介	1,454	177	1,631	21%
6	短時間（15分から）でも働ける職場	1,018	109	1,127	15%
7	生活費についての相談	831	84	915	12%
8	気軽に立ち寄れるサロンや居場所	538	59	597	8%
9	自立に向けたきっかけづくり	1,281	140	1,421	19%
10	その他	705	73	778	10%
11	何も必要ない、今のままで良い	1,637	234	1,871	25%
回答者数		11,571	1,467	7,604	



第2節 調査票

1 アンケート用紙



江戸川区からの調査のお願い

区民の皆さまの生活を向上させるため
調査にご協力ください



江戸川区では、区民の皆さまの生活の実態を把握し、皆さまの生活をよりよくする施策づくりをするため、アンケート調査を行うこととなりました。

調査する項目は、「ひきこもり」「ペット」「文化・スポーツ」の3項目です。

江戸川区政へのご理解、ご協力をお願いします。

1. 調査対象

住民登録情報に基づき、15歳以上の方で以下に該当する方を含む世帯

- ・給与収入により課税されていない方
- ・江戸川区の介護・障害等の行政サービスを利用していない方

2. 調査項目

- Q1～Q16・・・「ひきこもり」 悩みを抱えている家族の状況を把握し、支援施策に役立たせます。
Q17・・・「ペット」 避難所へ同行するペットを把握し、災害対策に活用します。
Q18～Q22・・・「文化・スポーツ」 区が発信する文化活動及びスポーツ情報の周知に活用します。

3. 記入方法

記入は濃い鉛筆で、口に✓をお願いします。

質問番号順にお答えください。回答は世帯のどなたが、ご記入いただいても構いません。

お答えにくい質問には、無理にお答えいただかなくても構いません。

4. 回答方法

令和3年 月 日()までに、区公式ホームページ・インターネットからご回答ください。

なお、返信用封筒に調査票を入れ切手を貼らずに投函し、回答することもできます。

江戸川区からの調査のお願い

検索



5. 問い合わせ先

江戸川区福祉部生活援護第一課調査実施本部

TEL 03-5661-4535(直通) FAX 03-3651-0295

電話受付時間 9:30～16:00(12:00～13:00、土・日・祝日、12/29～1/3を除く)

本調査票は、整理番号で世帯を把握しています。
期限内に、ご回答されていない世帯へご連絡をさせていただきます。
また、ご回答の内容によりご連絡させていただく場合があります。
結果の公表は、令和4年3月頃を予定しています。

※回答は世帯のどなたが、ご記入いただいても構いません
□に✓を付けてください

Q1 あなたの性別を教えてください

<input type="checkbox"/> 男	<input type="checkbox"/> 女	<input type="checkbox"/> その他
----------------------------	----------------------------	------------------------------

Q2 あなたの現在の年齢を教えてください

() 歳

Q3 あなたは現在どなたと住んでおられますか（複数回答可）

<input type="checkbox"/> 一人暮らし	<input type="checkbox"/> 配偶者・パートナー	<input type="checkbox"/> 子ども
<input type="checkbox"/> 父母	<input type="checkbox"/> 祖父母	<input type="checkbox"/> 孫
<input type="checkbox"/> 兄弟姉妹	<input type="checkbox"/> ペット	<input type="checkbox"/> その他

Q4 あなたが日常生活において不安に思っていることは何ですか（複数回答可）

<input type="checkbox"/> 収入・生活資金	<input type="checkbox"/> 自分の健康	<input type="checkbox"/> 家族の健康
<input type="checkbox"/> 生きがい	<input type="checkbox"/> 仕事	<input type="checkbox"/> 子育て
<input type="checkbox"/> 買い物	<input type="checkbox"/> ゴミ出し	<input type="checkbox"/> 犯罪
<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 特になし	

Q5 あなたは日常生活の心配ごとや悩みごとの相談を誰にしますか（複数回答可）

<input type="checkbox"/> 配偶者・パートナー	<input type="checkbox"/> 父母	<input type="checkbox"/> 子ども
<input type="checkbox"/> 兄弟姉妹	<input type="checkbox"/> 友人・知人	<input type="checkbox"/> 親戚
<input type="checkbox"/> 近所の人	<input type="checkbox"/> 職場の人	<input type="checkbox"/> 区役所
<input type="checkbox"/> 民生・児童委員	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 相談する人はいない

Q6 あなたのご近所の方との付き合い方の状況について、お聞きします（複数回答可）

<input type="checkbox"/> 常に訪問し合う人がいる	<input type="checkbox"/> 困ったときに相談できる人がいる
<input type="checkbox"/> あいさつを交わす程度	<input type="checkbox"/> 付き合いはない

Q7 あなたのご家庭で仕事や学校等に行かず、家族以外の人との交流をほとんどしない方はいますか

<input type="checkbox"/> いる (<input type="text"/> <input type="text"/> 人)	⇒ (Q8へ) なお、該当者が2人以上いる場合は年齢の一番低い方についてお答えください
<input type="checkbox"/> いない	⇒ (Q17へ) お進みください

整理番号

□に✓を付けてください

Q8 その方とあなたとの続柄を教えてください

<input type="checkbox"/> 本人	<input type="checkbox"/> 配偶者・パートナー	<input type="checkbox"/> 父母
<input type="checkbox"/> 子ども	<input type="checkbox"/> 兄弟姉妹	<input type="checkbox"/> 子どもの配偶者
<input type="checkbox"/> 孫	<input type="checkbox"/> 祖父母	<input type="checkbox"/> その他

Q9 その方の年齢を教えてください

() 歳

Q10 その方の性別を教えてください

<input type="checkbox"/> 男	<input type="checkbox"/> 女	<input type="checkbox"/> その他
----------------------------	----------------------------	------------------------------

Q11 その方の交流の状況について、お答えください（複数回答可）

<input type="checkbox"/> 家族ともほとんど会話がな	
<input type="checkbox"/> 家族と会話はするが、家族以外の人と交流がない	
<input type="checkbox"/> 人と会うことはほとんどないが、SNS、インターネット等を通じて人と交流している	
<input type="checkbox"/> 趣味のために人と会うことはある	<input type="checkbox"/> 近隣住民とは交流がある

Q12 その方の外出の状況について、お答えください

<input type="checkbox"/> ほとんど外出しない
<input type="checkbox"/> 家族と一緒に外出することはある（一人では出られない）
<input type="checkbox"/> 一人で買い物に出かけることはある（日常生活に必要なことのみ）
<input type="checkbox"/> 一人で趣味や遊ぶために外出することはある（社会的な関わりを持てる）

Q13 その方が現在の状況になって、どのくらい経ちますか

<input type="checkbox"/> 6か月未満	<input type="checkbox"/> 6か月～1年未満	<input type="checkbox"/> 1年～3年未満
<input type="checkbox"/> 3年～5年未満	<input type="checkbox"/> 5年～7年未満	<input type="checkbox"/> 7年～10年未満
<input type="checkbox"/> 10年以上		

Q14 その方が現在の状況に至ったきっかけについて、お答えください（複数回答可）

<input type="checkbox"/> 学生時代にいじめがあった	<input type="checkbox"/> 受験に失敗した
<input type="checkbox"/> 学校（部活動含む）に馴染めなかった	<input type="checkbox"/> 就職活動がうまくいかなかった
<input type="checkbox"/> 友人や家族との人間関係がうまくいかなかった	
<input type="checkbox"/> 職場に馴染めなかった	<input type="checkbox"/> 事故や加齢などにより要介護状態になった
<input type="checkbox"/> 長期に療養を要する病気にかかった	<input type="checkbox"/> その他

整理番号

に✓を付けてください

Q15 その方の状況について相談したことはありますか、またどこに相談しましたか(複数回答可)

<input type="checkbox"/> 病院・診療所	<input type="checkbox"/> 民生・児童委員	<input type="checkbox"/> 児童相談所
<input type="checkbox"/> 健康サポートセンター	<input type="checkbox"/> 熟年相談室	<input type="checkbox"/> 地域活動支援センター
<input type="checkbox"/> 福祉事務所	<input type="checkbox"/> くらしごと相談室	<input type="checkbox"/> 社会福祉協議会
<input type="checkbox"/> なごみの家	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 相談したことはない

Q16 その方にとって、これから必要と思われることはありますか(複数回答可)

<input type="checkbox"/> 友だちや仲間づくり	<input type="checkbox"/> 趣味活動ができる場所
<input type="checkbox"/> 身体・精神面について専門機関への相談	
<input type="checkbox"/> 定期的(又は不定期)な訪問相談の機会	
<input type="checkbox"/> 就労に向けた準備、アルバイトや働き場所の紹介	
<input type="checkbox"/> 短時間(15分から)でも働ける職場	<input type="checkbox"/> 生活費についての相談
<input type="checkbox"/> 気軽に立ち寄れるサロンや居場所	<input type="checkbox"/> 自立に向けたきっかけづくり
<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 何も必要ない、今のままで良い

Q17 ペットと住んでいる(飼っている)方は、一緒に住んでいる種類と数をお答えください(①～⑥は複数回答可)

① <input type="checkbox"/> 犬	⇒ <input type="checkbox"/> 1匹	<input type="checkbox"/> 2匹～5匹	<input type="checkbox"/> 6匹以上
② <input type="checkbox"/> 猫	⇒ <input type="checkbox"/> 1匹	<input type="checkbox"/> 2匹～5匹	<input type="checkbox"/> 6匹以上
③ <input type="checkbox"/> 犬猫以外の哺乳類	⇒ <input type="checkbox"/> 1匹	<input type="checkbox"/> 2匹～5匹	<input type="checkbox"/> 6匹以上
④ <input type="checkbox"/> 鳥類	⇒ <input type="checkbox"/> 1羽	<input type="checkbox"/> 2羽～5羽	<input type="checkbox"/> 6羽以上
⑤ <input type="checkbox"/> 爬虫類	⇒ <input type="checkbox"/> 1匹	<input type="checkbox"/> 2匹～5匹	<input type="checkbox"/> 6匹以上
⑥ <input type="checkbox"/> ①～⑤以外	⇒ <input type="checkbox"/> 1匹	<input type="checkbox"/> 2匹～5匹	<input type="checkbox"/> 6匹以上

※この設問の回答内容は、江戸川区で飼っているペットの頭数統計調査のため健康部と情報共有させていただきます。

Q18 あなた(または家族)が参加している活動はありますか(複数回答可)

<input type="checkbox"/> 文化活動
<input type="checkbox"/> スポーツ活動
<input type="checkbox"/> ボランティア活動
<input type="checkbox"/> 特になし

} 質問は以上です
ご協力ありがとうございました
⇒ (Q19へ)

※この設問から最後の設問までの回答内容は、「誰もが文化活動・スポーツを楽しめる環境整備」のため文化共育部と情報共有させていただきます。

整理番号

□に✓を付けてください

Q19 現時点で活動されていない理由は何ですか（複数回答可）

<input type="checkbox"/> きっかけがない	<input type="checkbox"/> 金銭的・時間的余裕がない
<input type="checkbox"/> 体調を崩している	<input type="checkbox"/> 興味がない
<input type="checkbox"/> どのような活動（団体）があるか分からない	

Q20 以下のうち興味のある文化活動はありますか（複数回答可）

<input type="checkbox"/> 講師等から指導を受ける講座・教室・習い事	
<input type="checkbox"/> 共通の趣味の仲間と活動を楽しむサークル	
<input type="checkbox"/> コンサートや美術展のような観覧型イベント	
<input type="checkbox"/> 個人でも楽しめる創作活動	
<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 興味がない

Q21 興味のある運動・スポーツ活動ありますか（複数回答可）

<input type="checkbox"/> ウォーキングや体操など健康維持のための運動	
<input type="checkbox"/> 野球やテニスなど競技スポーツ	
<input type="checkbox"/> トップアスリートが活躍するスポーツの観戦	
<input type="checkbox"/> スポーツを支えるボランティア活動	
<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 興味がない

Q22 活動始めるきっかけになりそうな方法は何ですか（複数回答可）

<input type="checkbox"/> インターネットの検索サイトや SNS 等による情報提供
<input type="checkbox"/> 電話相談
<input type="checkbox"/> 窓口での対面相談
<input type="checkbox"/> ご自宅での訪問相談
<input type="checkbox"/> 郵送によるチラシ、広報誌等での案内

文化活動情報
検索サイト



スポーツ情報
検索サイト



※文化活動情報・スポーツ情報は右の検索サイトでご覧いただけます。

【質問は以上で終了です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。】

アンケートは
インターネットで回答できます



整理番号

2 訪問用ちらし

訪問日時：令和 3 年 月 日 時 分ごろ

「江戸川区からの調査のお願い」ご回答のお願い

先日、江戸川区より「江戸川区からの調査のお願い」を送付いたしました。
本日は、ご回答のお願いに参りましたが、ご不在でしたので、本紙を投函させていただきます。

大変お手数ですが、以前送付している調査票にご記入いただき、返信用封筒による郵送または下記の二次元コードからご回答をお願いします。すでにご回答いただいている方につきましては、行き違いとなり、誠に申し訳ございません。

なお、調査票がお手元がない場合は、下記の【調査票の問い合わせ先】までお電話にてご連絡をいただきたく存じます。

江戸川区内には、ひきこもりの状態にあって、社会とのつながりを望みながらも苦しさを抱えている方がいます。江戸川区は、困難を抱えている方の思いや意見が尊重され、人々が互いに支え合い、誰もが安心して自分らしく暮らせる社会を目指しています。ひきこもりの状態にあり、困難を抱えている方が必要とする支援につなげるためにも、その実態を把握すべく、本調査を実施しています。ひきこもりの状態であっても、このままそっとしておいてほしいということでしたら、特に何かを求めるものではありません。

もし助けが必要な場合や、ご近所またはお知り合いの方の中に救いを求めている方がいる場合には、ひきこもり施策係へご連絡ください。ひきこもりの状態にある方やそのご家族に寄り添いながら、一緒に解決方法を考えていきます。

二次元コード

整理番号
※個人情報についてはこの調査以外で使用されることはありません

【調査票の問い合わせ先】

江戸川区福祉部生活援護第一課調査実施本部
〒133-0041
江戸川区上一色 2-6-10（上一色コミュニティセンター内）
電話：03（5661）4535（直通）

【ひきこもりに関するご相談】

江戸川区福祉部生活援護第一課ひきこもり施策係
〒132-0021
江戸川区中央 1-3-17
電話：03（5662）0363（直通）

参考：「江戸川区からの調査のお願い」 発送対象世帯

- ・ 15 歳以上で、給与収入による課税がされていない方を含む世帯
例）高校生、大学生、お勤めをされていない主婦の方、自営業主、不動産収入所得者など
- ・ 15 歳以上で、障害、介護、生活保護等の江戸川区からのサービスを受けていない方を含む世帯

3 訪問用ちらし（まん延防止等重点措置用）

投函日時：令和4年 月 日 時 分ごろ

「江戸川区からの調査のお願い」ご回答のお願い

令和3年8月に江戸川区より「江戸川区からの調査のお願い」を送付いたしました。ご回答がなかった世帯へ、再度、ご回答のお願いに参りました。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大変恐縮ではございますが、本紙を投函させていただきます。

ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

回答方法ですが、以前送付している調査票にご記入いただき、返信用封筒による郵送または下記の二次元コードからご回答をお願いします。すでにご回答いただいている方につきましては、行き違いとなり、誠に申し訳ございません。

なお、調査票がお手元がない場合は、下記の【調査票の問い合わせ先】までお電話にてご連絡をいただきたく存じます。

江戸川区内には、ひきこもりの状態にあつて、社会とのつながりを望みながらも苦しさを抱えている方がいます。江戸川区は、困難を抱えている方の思いや意見が尊重され、人々が互いに支え合い、誰もが安心して自分らしく暮らせる社会を目指しています。ひきこもりの状態にあり、困難を抱えている方が必要とする支援につなげるためにも、その実態を把握すべく、本調査を実施しています。ひきこもりの状態であっても、このままそつとしておいてほしいということでしたら、特に何かを求めるものではありません。

もし助けが必要な場合や、ご近所またはお知り合いの方の中に救いを求めている方がいる場合には、ひきこもり施策係へご連絡ください。ひきこもりの状態にある方やそのご家族に寄り添いながら、一緒に解決方法を考えていきます。

二次元コード

整理番号
※個人情報についてはこの調査以外で使用されることはありません

【調査票の問い合わせ先】

江戸川区福祉部生活援護第一課調査実施本部
〒133-0041
江戸川区上一色 2-6-10（上一色コミュニティセンター内）
電話：03（5661）4535（直通）

【ひきこもりに関するご相談】

江戸川区福祉部生活援護第一課ひきこもり施策係
〒132-0021
江戸川区中央 1-3-17
電話：03（5662）0363（直通）

参考：「江戸川区からの調査のお願い」発送対象世帯

- ・15歳以上で、給与収入による課税がされていない方を含む世帯
例）高校生、大学生、お勤めをされていない主婦の方、自営業主、不動産収入所得者など
- ・15歳以上で、障害、介護、生活保護等の江戸川区からのサービスを受けていない方を含む世帯

本報告書に関する留意点

- **表記について**

ひきこもり当事者については、「ひきこもり当事者」と表記している。

ひきこもり当事者の家族や親族については、「家族等」と表記している。

- **回答の重複について**

本調査は調査票での郵送回答およびインターネット回答を実施した。よって、郵送とインターネット複数の回答がある場合は、整理番号から判断し直近の回答を有効回答とした。

- **一部未回答の調査用紙の処理について**

調査用紙に一部未回答の項目があった場合においても、回答のあった項目については有効な回答として取り扱っている。そのため、各質問項目によって回答者数が異なっている場合がある。なお、それぞれの未回答者数は記載していない。(Q1・Q2を除く)

- **図表の単位について**

報告書に掲載した図表の単位のうち、単位の記載のないものは、「件」(回答数)をあらわしている。また、回答比率(%)は小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがある。

- **集計について**

単純集計 : 回答結果の全体の傾向を捉えるため、単純集計を行い、その特徴を記述している。

クロス集計 : 異なるグループ間での回答傾向を捉えるために、クロス集計を行い、その考察を記述している。



令和3年度
江戸川区ひきこもり実態調査の結果報告書

発行 令和4年3月
発行者 江戸川区

事務局：江戸川区福祉部生活援護第一課ひきこもり施策係
〒132-0021 東京都江戸川区中央1丁目3番17号
TEL 03-5662-9027 FAX 03-3656-5869

(あの人、困ってるかも。でも…)

ひきこもり

ってどこに相談するの？



江戸川区には、

ひきこもり

相談窓口

があります。



お困りの方がいれば、

ぜひご案内ください。

窓口、電話、相談フォーム

からご相談できます。

お気軽にお問合せください。

江戸川区役所 生活援護第一課

ひきこもり施策係

■受付時間：平日8:30～17:00

03-5662-0363

■住所：江戸川区中央1-3-17

(生活援護第一課内)

相談フォーム

